

提案型協働事業
事例集

平成30年度～令和7年度

「こんなことができたら、姫路のまちがもっとよくなるのに」
その想い、姫路市と手を組んで実現する事業です。

姫路市（令和8年10月発行）

はじめに

姫路市では、市民一人ひとりが主役の市政という基本的な考えのもと、市民参画と協働のまちづくりを進めています。こうした取り組みの一つとして、地域社会の課題解決に向けた行政との協働事業である“姫路市提案型協働事業”を実施しています。

この事業は、市民活動団体の持つ特性を活かした市民サービスを提供するため、市民活動団体から協働事業の提案を募り、公益性や実効性を審査したうえで、採用団体に対して補助を行う事業です。

これまで、平成１８年度のモデル実施及びその後の本格実施を経て、令和７年度末現在で延べ２５５件の提案があり、そのうち２０２件の事業を採択し、取り組みが行われました。

この度、これまでに蓄積されたノウハウなどを有効に活用し、地域社会の課題解決に向けて取り組んでいくため、過去に実施された取り組み（平成３０年度から令和７年度まで）を紹介し、市民活動団体の活動の参考にしていただけるよう、事例集に取りまとめました。

市民活動団体をはじめ、多くの皆さんに活用いただければ幸いです。

目　次

１　提案型協働事業の実施状況

■　事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
平成３０年度提案型協働事業の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
令和元年度提案型協働事業の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
令和２年度提案型協働事業の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
令和３年度提案型協働事業の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
令和４年度提案型協働事業の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
令和５年度提案型協働事業の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
令和６年度提案型協働事業の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
令和７年度提案型協働事業の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

２　各提案事業の概要

■　平成３０年度
生演奏でつくるおんがくのまち「ほのぼのさんと音楽劇でわくわく！」・・・１９
地域活動拠点の充実をめざした地域協働組織づくり事業
　「城の西みらい構想プロジェクト」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０
ママ防災士による乳幼児を子育て中のママのための減災セミナー
　～あなたの大切なご家族を守るために～・・・・・・・・・・・・・・・・・２１
わがまち太市の未来予想図Ⅱ～空から見ようわたしたちのまち・・・・・・・２２
めざそう健康寿命「認知症予防で元気な高齢者」・・・・・・・・・・・・・・２３
「認知症高齢者にやさしいまちづくり～認知症になっても集える居場所、
　魅力ある認知症サロンにむけて　推進事業」・・・・・・・・・・・・・・・２４
姫路市蝶ジャコウアゲハプロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
不登校・ひきこもり・若年無業者等支援機関が繋がるプロジェクト・・・・・２６
「また訪れたくなる姫路城」を発信するガイド事業・・・・・・・・・・・・２８
認知症になっても安心して暮らせるまちづくり・・・・・・・・・・・・・・２９
『村の記憶』を書き継ぐ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
姫路市産材活用・広域連携事業「杉活」・・・・・・・・・・・・・・・・・３１
■　令和元年度
第３回　大津ふれあい音楽祭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
姫音祭（姫路ミュージック＆ダンスフェス）・・・・・・・・・・・・・・・３４
太市　まちの担い手づくり事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５
３つのエコシステムによる「城の西　みらい構想」実践事業・・・・・・・・３６
地産地消ひめじバル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３７
「日本一～認知症高齢者にやさしいまちづくり姫路～宣言事業」・・・・・・３８
ママ防災士による『ファミリー減災クッキング教室』
　～地域のみんなで災害対策について考えよう～・・・・・・・・・・・・・３９

国際女性フェスタ 2020・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
紙芝居を活かした消費者被害防止による安心安全まちづくり・・・・・・・・４１
地域の誰もが安心して暮らせる姫路市づくり・・・・・・・・・・・・・・・４２
姫路キッズ・ビッグアートプロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・・４４
地域の歴史を伝える―中学校と連携して-・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
「2019 飾磨街道フェス
　～日本遺産「播但貫く、銀の馬車道　鉱石の道」」・・・・・・・・・・・・４６
姫路おでんといえば◯◯！実現プロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・４７
■ 令和２年度
姫路城　中曲輪バタフライガーデン創造事業・・・・・・・・・・・・・・・４８
非薬物療法を活かした「ストップ・ザ軽度認知障害」プロジェクト・・・・・４９
ワンあぼしプロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５０
地域で取り組む国際交流・国際理解
　～共に生きるこころ豊かなふるさとをつくる力の醸成～・・・・・・・・・５１
お互いさまのまちづくり（地域共生社会）・・・・・・・・・・・・・・・・５２
国際女性フェスタはりま 2021「災害と女性・子ども」・・・・・・・・・・５３
居場所と相談マルシェ事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５４
シェフたちのオーケストラ～食と市民の交響曲～・・・・・・・・・・・・・５６
パラスポーツフェスはりま　２０２０・・・・・・・・・・・・・・・・・・５７
子育て真っ最中のママ達による『エクスチェンジ』プロジェクト・・・・・・５８
もっと知りたい　いろんな仕事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６０
STAY LOCAL
　～地域のレジリエンスを高める「城の西　みらい構想」実現事業・・・・・６１
ふるさとマップを描く－昭和の記憶を残す－・・・・・・・・・・・・・・・６２
子供達、高齢者、市民で作ろうおんがくのまち
　「ほのぼのさんと歌で繋がろう！コロナに負けないぞ！」・・・・・・・・・６３
■ 令和３年度
音楽で楽しく健康のつどい（地域社会のための音楽）・・・・・・・・・・・６４
第１回ストリートダンス＆バンドマンコラボレーション
　―第４回姫音祭（姫路ミュージック＆ダンスフェス）―・・・・・・・・・６５
島民自身が計画する、目指す島の将来像・・・・・・・・・・・・・・・・・６７
地域で取り組む国際理解と多文化共生
　～共に生きる「ふるさと姫路」を創る力の醸成～・・・・・・・・・・・・６８
国際女性フェスタはりま 2022・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６９
住まいと暮らし―その変化をたどる―・・・・・・・・・・・・・・・・・・７１
ジョブタネ２０２１　まちのシゴト、まちのオトナを●●スル（仮称）・・・７２
みんなで作ろう！！「歌のサプリメント」コロナ編・・・・・・・・・・・・７４
子育て・発達障がい児者支援
　「のびのびセミナー・プレイルームわくわく」・・・・・・・・・・・・・７５
姫路駅西エリアに火を灯そう！集まれなかま！！・・・・・・・・・・・・・７６
播磨の古道―増位山　随願寺―俳諧と姫路藩の道・・・・・・・・・・・・・７７
「実験で知る光と音の性質」体験事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・７８
アクティブ系スポーツ　普及事業
　～オリンピック新競技　NEW スポーツとは～・・・・・・・・・・・・・７９
Music Meets　～Thank you!文化センター～・・・・・・・・・・・・・・・８０
■ 令和４年度

衣と食―ハレの日とケの日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８１
SDGs2022 Himeji 城育 SHIRO-IKU
～姫路城下のもと　うまれる未来教育～・・・・・・・・・・・・・・・・・８２
不登校・ひきこもりの子供を持つ親たちへの「適切な対応と援助」を
支援する事業～親の会を中心とした共生・協働による温かみのある
地域社会づくりに向けて～・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８４
「こころが繋がるこの１冊」事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８５
ブレストアウェアネス（乳房を意識する生活）啓発事業の実施・・・・・・８７
女子高校生 SDGs サミット 2022(仮) ・・・・・・・・・・・・・・・・・８９
オリヒメジプロジェクト～次のパイロットはきみだ～・・・・・・・・・・９１
ＳＤＧｓで育む＜城の西＞シビックプライド・・・・・・・・・・・・・・９２
姫路の民話の読み聞かせによる地元文化の伝承事業・・・・・・・・・・・９３
Keep Smile Project・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９４
SMILE　FESTA～地球も姫路も笑顔に～・・・・・・・・・・・・・・・・・９５
「ものづくり参加型企画」
メイキング　ドリーム　オブ　ハーモニー
みんなのステージをみんなで作ろう！・・・・・・・・・・・・・・・・・９６
Himeji　BeautyPlus+　Fes・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９７
■　令和５年度
姫路城世界遺産登録 30 周年記念事業
「ワクワクは、天・空・奏・想（そら）にある」
～SDGs2023　温故知新　learning new from the past ～・・・・・・９８
地域で取り組む国際理解・国際交流
～外国にルーツを持つ子供達を核とする多文化共生の地域づくり～・・・・９９
「和太鼓体験企画」第１回　集まれ！音ともだち
「ありがとう！歌のこころ、和のこころ」・・・・・・・・・・・・・・・１００
地産地消ひめじバル復活祭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０１
「千姫の小径」ライトアップ事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０３
「ふるさとの道」調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０４
町家・古民家で感じる姫路の歴史、楽しむ姫路の食文化プロジェクト
～姫路の生きた歴史・文化・魅力を城周辺の町家・古民家再生で体感
しよう～・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０５
全市エリアミュージアム化構想Ⅰ「香寺まるごとエリアミュージアム」・・１０６
町家等調査（姫路城下町西部地区）・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０７
オリヒメジプロジェクト
～ノーマライゼーションな姫路を目指して～・・・・・・・・・・・・・１０８
旧市のきさき朝市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０９
姫路駅西空き資源活用プロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１０
はなまる元気塾 ～楽しく健康寿命を延ばそう～・・・・・・・・・・・・１１１
こどもの ASOBIBA ひめじ基地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１２
こどもまんなか子育て推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１３
■　令和６年度
姫路歴史偉人伝・制作伝承プロジェクト
～地域の歴史を彩った人物たち～・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１４
「香寺文化語り部 QR」活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１６
「千姫の小径」拡大ライトアップ事業・・・・・・・・・・・・・・・・・１１７

頭と体を同時に使う「コグニサイズ」を活かした「ふれあいサロン」の
　活性化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１８
歴史の道を歩く・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１９
姫路城築城石持道の情報発信による観光地域づくり事業・・・・・・・・・１２０
家島フォトクエスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２１
元料理割烹「丸安」の飾磨まち歩き拠点化事業・・・・・・・・・・・・・１２３
観光地の集団的孤立を防ぐエリアミュージアムネットワーキング
　プロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２４
HIMEJI　Maniacs プロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２５
「手柄桜」普及プロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２６
駅西まち歩きで地域と親子のふれ合い創出・・・・・・・・・・・・・・・１２７
移動こども食堂・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２８
はろべび project・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２９
■　令和７年度
sounds kitchen 姫アニ DISCO・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３０
ONE DANCE in 姫音祭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３１
（仮）冊子「船場川を美しくする会　活動の軌跡」刊行・・・・・・・・・１３３
「男山、あかりの魅力アップ事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３４
クリーンアップ・コミュニティ～“好き”をみつけよう～・・・・・・・・１３５
「ムラに残る民具と暮らし」の調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・１３６
えーえむあーる　ｉｎ　ぷちフェス・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３７
「スマホとコラボした「飾磨まち歩きマップ」製作・配布拡大事業」・・・・１３８
ＮＰＯ法人心魂プロジェクト　ミュージカル公演 in 姫路
　～命と心が響き合う瞬間をあなたに～・・・・・・・・・・・・・・・・１３９
ボランティア活動等での施設利用ハンドブックの作成・配布・・・・・・・１４１
漫画「姫路ゆかりの偉人たち」伝承プロジェクト・・・・・・・・・・・・１４２
通信制・定時制高校　学校説明会事業・・・・・・・・・・・・・・・・・１４４
「ひきこもり支援ハンドブック勉強会・交流会」・・・・・・・・・・・・１４５
hello!「みらい」へ project・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４６
ぐるりお譲り広場・地域交流の輪・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４７

３　索引

実施団体別事業名索引・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４９
テーマ別事業名索引・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５２

1 提案型協働事業実施状況

事業概要

各年度の提案型協働事業の実施状況

（平成３０年度～令和７年度）

事業概要

１　提案型協働事業とは

姫路市では、市民一人ひとりが主役の市政という基本的な考えのもと、市民参画と協働のまちづくりを進めています。こうした取り組みの一つとして、地域や社会の課題解決に向けた行政との協働事業を、市民の視点から、市民公益活動団体の皆さんに提案していただき、市民ニーズや社会的課題に沿ったものであるか、公益性が高いものであるか、事業計画の実行性・事業効果・先駆性があるか、等について評価を行い客観的に審査し、その事業の対象経費について補助を実施するものです。

「こんなことができたら、姫路のまちがもっとよくなるのに」

その想い、姫路市と手を組んで実現する事業です。

２　事業の枠組み

（１）助成対象事業

姫路市の様々な分野における社会的及び地域的な課題の解決に取り組む事業で次に掲げるもののうち、市長が適当と認めた事業

①テーマ設定事業

姫路市が設定したテーマに基づき、助成対象団体が提案した事業

②自由テーマ事業

助成対象団体が自由なテーマで提案した事業

③地域資源活用事業

本市における地域の歴史、文化、自然等の資源（地域資源）の価値を改めて見直し、地域資源を活用して当該地域の魅力を高めること又は地域資源を未来に継承することを目的とした事業

④新規団体活動支援事業（令和３年度～）

設立の日から起算して３年を経過していない団体で、これまでに姫路市提案型協働事業の助成を受けたことのない団体が自由なテーマで提案した事業

（２）助成対象団体

姫路市内に活動拠点を有する次のいずれかに該当する団体

①特定多数の利益の増進を目的とする公益活動を行う非営利の団体

②前号に掲げる団体の共同体

（３）助成対象経費

助成対象事業に要する経費のうち市長が必要と認める経費に相当する額

（助成限度額）　①テーマ設定事業・②自由テーマ事業・③地域資源活用事業　　５０万円

※事業に要する経費は１０万円以上であることとする。

④新規団体活動支援事業　　２０万円

※事業に要する経費は５万円以上であることとする。

（４）募集・審査等

募集：毎年４月中旬から５月下旬に実施（※事前に協働する関係課と調整が必要）

審査：審査会において事業提案説明会（プレゼンテーション）を行い、委員の意見を踏まえ、市長が事業認定を行う

※④新規団体活動支援事業は書類審査のみ

平成３０年度提案型協働事業の実施状況

１　実施状況

⑴ 事業募集

① 募集期間　　平成３０年４月２３日（月）～平成３０年５月２２日（火）

② 応募件数　　１４件

（内訳）　テーマ設定事業：３件（音楽-２件　市民共治-１件）

自由テーマ事業：９件

地域資源活用事業：２件

⑵ 第１次審査（書類審査）

書類の不備等について事務局が審査。　　審査通過件数　　１４件

⑶ 第２次審査（プレゼンテーションによる評価結果を参考に審査）

提案発表会の概要

【開催日時】　平成３０年６月３０日（土）１０：００～

【会場】　　姫路市市民会館　４階　第６会議室

【参加団体】　上記第１次審査通過団体

【評価委員】　姫路市提案型協働事業評価会評価員　５名

⑷ 事業認定の通知（平成３０年７月４日）

２　実施事業

１２件

（内訳）　テーマ設定事業：２件（音楽１件、市民共治１件）

自由テーマ事業：８件

地域資源活用事業：２件

	テーマ	提案事業名	提案団体	掲載頁
１	音楽	生演奏でつくるおんがくのまち 「ほのぼのさんと音楽劇でわくわく！」	ほのぼのさん	１９
２	市民 共治	地域活動拠点の充実をめざした地域協働組織づくり事業「城の西みらい構想プロジェクト」	城の西エリアマネジメント準備会	２０
３	自由	ママ防災士による乳幼児を子育て中のママのための減災セミナー～あなたの大切なご家族を守るために～	ひめじキッズスマイル	２１
４	自由	わがまち太市の未来予想図Ⅱ～空から見ようわたしたちのまち	（特非）姫路コンベンションサポート	２２
５	自由	めざそう健康寿命「認知症予防で元気な高齢者」	認知症予防教室　一輪会	２３
６	自由	「認知症高齢者にやさしいまちづくり～認知症になっても集える居場所、魅力ある認知症サロンにむけて　推進事業」	青山１０００人会	２４

7	自由	姫路市蝶ジャコウアゲハプロジェクト	姫路ジャコウアゲハ倶楽部	25
8	自由	不登校・ひきこもり・若年無業者等支援機関が繋がるプロジェクト	（特非）コムサロン二十一	26
9	自由	「また訪れたくなる姫路城」を発信するガイド事業	言葉でつながっていこう会	28
10	自由	認知症になっても安心して暮らせるまちづくり	（特非）はなのいえ	29
11	地域資源	『村の記憶』を書き継ぐ	香寺歴史研究会	30
12	地域資源	姫路市産材活用・広域連携事業「杉活」	（一社）ひとネットワークひめじ	31

令和元年度提案型協働事業の実施状況

１　実施状況

⑴ 事業募集

① 募集期間　　平成３１年４月２２日（月）～令和元年５月２１日（火）

② 応募件数　　２１件

（内訳）　テーマ設定事業：５件（文化芸術-３件　市民共治-２件）

自由テーマ事業：１１件

地域資源活用事業：５件

⑵ 第１次審査（書類審査）

書類の不備等について事務局が審査。　　審査通過件数　　２１件

⑶ 第２次審査（プレゼンテーションによる評価結果を参考に審査）

提案発表会の概要

【開催日時】　令和元年６月３０日（日）９：４５～

【会場】　　姫路市市民会館　４階　第６会議室

【参加団体】　上記第１次審査通過団体

【評価委員】　姫路市提案型協働事業評価会評価員　５名

⑷ 事業認定の通知（令和元年７月５日）

２　実施事業

１４件

（内訳）　テーマ設定事業：　４件（文化芸術２件、市民共治２）

自由テーマ事業：　６件

地域資源活用事業：４件

	テーマ	提案事業名	提案団体	掲載頁
１	文化芸術	第３回　大津ふれあい音楽祭	姫路市大津まちづくり協議会	３３
２	文化芸術	姫音祭（姫路ミュージック＆ダンスフェス）	ひめじあかり実行委員会	３４
３	市民共治	太市　まちの担い手づくり事業	（特非）姫路コンベンションサポート	３５
４	市民共治	３つのエコシステムによる「城の西　みらい構想」実践事業	城の西エリアマネジメント準備会	３６
５	自由	地産地消ひめじバル	赤ちょうちん屋台の会	３７
６	自由	「日本一～認知症高齢者にやさしいまちづくり姫路～宣言事業」	青山１０００人会	３８
７	自由	ママ防災士による『ファミリー減災クッキング教室』～地域のみんなで災害対策について考えよう～	ひめじキッズスマイル	３９

８	自由	国際女性フェスタ 2020	国際女性フェスタ実行委員会	４０
９	自由	紙芝居を活かした消費者被害防止による安心安全まちづくり	認知症予防教室　一輪会	４１
10	自由	地域の誰もが安心して暮らせる姫路市づくり	（特非）はなのいえ	４２
11	地域資源	姫路キッズ・ビッグアートプロジェクト	水上夢倶楽部	４４
12	地域資源	地域の歴史を伝える―中学校と連携して-	香寺歴史研究会	４５
13	地域資源	「2019 飾磨街道フェス～日本遺産「播但貫く、銀の馬車道　鉱石の道」」	「銀の馬車道」飾磨街道活性化委員会	４６
14	地域資源	姫路おでんといえば◯◯！実現プロジェクト	（特非）コムサロン二十一	４７

令和２年度提案型協働事業の実施状況

１　実施状況

⑴ 事業募集

① 募集期間　　令和２年４月２１日（火）～令和２年５月２１日（木）

② 応募件数　　１８件

（内訳）　テーマ設定事業：３件（観光-１件　福祉-１件　文化芸術-１件）

自由テーマ事業：１４件

地域資源活用事業：１件

⑵ 第１次審査（書類審査）

書類の不備等について事務局が審査。　　審査通過件数　　１８件（うち１件取下げ）

⑶ 第２次審査（プレゼンテーションによる評価結果を参考に審査）

提案発表会の概要

【開催日時】　令和２年６月２０日（土）１０：００～

【会場】　　姫路市総合福祉会館　５階　第１会議室

【参加団体】　上記第１次審査通過団体

【評価委員】　姫路市提案型協働事業評価会評価員　５名

⑷ 事業認定の通知　令和２年６月２９日

２　実施事業

１５件（うち件１事業中止）

（内訳）　テーマ設定事業：　　３件（観光１件　福祉１件　文化芸術１件）

自由テーマ事業：　１１件

地域資源活用事業：　１件

	テーマ	提案事業名	提案団体	掲載頁
１	観光	姫路城　中曲輪バタフライガーデン創造事業	中曲輪バタフライガーデン創造実行委員会	４８
２	自由	非薬物療法を活かした「ストップ・ザ軽度認知障害」プロジェクト	認知症予防教室一輪会	４９
３	自由	ワンあぼしプロジェクト	（特非）あぼしまちコミュニケーション	５０
４	自由	地域で取り組む国際交流・国際理解～共に生きるこころ豊かなふるさとをつくる力の醸成～	姫コアネット５	５１
５	自由	お互いさまのまちづくり（地域共生社会）	青山 1000 人会	５２
６	自由	国際女性フェスタはりま 2021「災害と女性・子ども」	国際女性フェスタはりま実行委員会	５３
７	自由	観光ワーキングカフェ（仮称）の実施事業	（特非）姫路コンベンションサポート	事業中止

８	福祉	居場所と相談マルシェ事業	（特非）コムサロン二十一	５４
９	自由	シェフたちのオーケストラ～食と市民の交響曲～	（一社）日本医食促進協会	５６
10	自由	パラスポーツフェスはりま　２０２０	パラスポーツフェスはりま実行委員会	５７
11	自由	子育て真っ最中のママ達による『エクスチェンジ』プロジェクト	はこミュニティ	５８
12	自由	もっと知りたい　いろんな仕事	ライフスパイス	６０
13	自由	STAY LOCAL～地域のレジリエンスを高める「城の西　みらい構想」実現事業	城の西エリアマネジメント準備会	６１
14	地域資源	ふるさとマップを描くー昭和の記憶を残すー	香寺歴史研究会	６２
15	文化芸術	子供達、高齢者、市民で作ろうおんがくのまち「ほのぼのさんと歌で繋がろう！コロナに負けないぞ！」	ほのぼのさん	６３

令和３年度提案型協働事業の実施状況

１　実施状況

⑴ 事業募集

① 募集期間　　令和３年４月２０日（火）～令和３年５月２０日（木）

② 応募件数　　１７件

（内訳）　テーマ設定事業：０件（文化芸術-０件）
自由テーマ事業：１２件
地域資源活用事業：３件
新規団体活動支援事業：２件

⑵ 第１次審査（資格要件審査）

書類の不備等について事務局が審査。　　審査通過件数　１７件（うち１件取下げ）

⑶ 第２次審査（提案内容審査）

テーマ設定事業・自由テーマ事業・地域資源活用事業：プレゼンテーション審査
新規団体活動支援事業：書類審査

＜提案発表会（プレゼンテーション審査）の概要＞

【開催日時】　令和３年６月２６日（土）１０：００～
【会場】　　姫路市市民会館　３階　第２会議室
【参加団体】　上記第１次審査通過団体
【評価委員】　姫路市提案型協働事業評価会評価員　４名（１名欠席）

⑷ 事業認定の通知　令和３年７月７日

２　実施事業

１４件

（内訳）　テーマ設定事業：０件（文化芸術０件）
自由テーマ事業：９件
地域資源活用事業：３件
新規団体活動支援事業：２件

	テーマ	提案事業名	提案団体	掲載頁
１	自由	音楽で楽しく健康のつどい（地域社会のための音楽）	comodo 姫	６４
２	自由	第１回ストリートダンス＆バンドマンコラボレーション ―第４回姫音祭（姫路ミュージック＆ダンスフェス）―	ひめじあかり実行委員会	６５
３	地域資源	島民自身が計画する、目指す島の将来像	家島空き家対策協議会	６７
４	自由	地域で取り組む国際理解と多文化共生 ～共に生きる「ふるさと姫路」を創る力の醸成～	姫コアネット５	６８

5	自由	国際女性フェスタはりま2022	国際女性フェスタはりま実行委員会	６９
6	地域資源	住まいと暮らし―その変化をたどる―	香寺歴史研究会	７１
7	自由	ジョブタネ２０２１　まちのシゴト、まちのオトナを●●スル（仮称）	ライフスパイス	７２
8	自由	みんなで作ろう！！「歌のサプリメント」コロナ編	ほのぼのさん	７４
9	自由	子育て・発達障がい児者支援「のびのびセミナー・プレイルームわくわく」	姫路獨協大学医療保健学部　子育て・発達障がいサポート運営委員会	７５
10	自由	姫路駅西エリアに火を灯そう！集まれなかま！！	姫路駅西地区まちづくり協議会	７６
11	地域資源	播磨の古道―増位山　随願寺―俳諧と姫路藩の道	（特非）おはなしくれよん	７７
12	自由	「実験で知る光と音の性質」体験事業	（特非）あかりの街ひめじ	７８
13	新規	アクティブ系スポーツ　普及事業 ～オリンピック新競技　NEW スポーツとは～	播州アクティブスポーツ協会	７９
14	新規	Music Meets　～Thank you!文化センター～	Mr.moon	８０

令和４年度提案型協働事業の実施状況

１　実施状況

⑴ 事業募集

① 募集期間　　令和４年４月１５日（金）～令和４年５月１３日（金）

② 応募件数　　１５件

（内訳）　テーマ設定事業：９件

（ＳＤＧs‐４件、文化芸術-１件、孤独・孤立対策‐４件）

自由テーマ事業：３件

地域資源活用事業：２件

新規団体活動支援事業：１件

⑵ 第１次審査（資格要件審査）

書類の不備等について事務局が審査。　　審査通過件数　１５件

⑶ 第２次審査（提案内容審査）

テーマ設定事業・自由テーマ事業・地域資源活用事業：プレゼンテーション審査

新規団体活動支援事業：書類審査

＜提案発表会（プレゼンテーション審査）の概要＞

【開催日時】　令和４年６月１９日（日）１０：００～

【会場】　　姫路市市民会館　４階　第６会議室

【参加団体】　上記第１次審査通過団体

【評価委員】　姫路市提案型協働事業評価会評価員　５名

⑷ 事業認定の通知　令和４年６月３０日

２　実施事業

１３件

（内訳）　テーマ設定事業：８件

（ＳＤＧs‐４件、文化芸術-０件、孤独・孤立対策‐４件）

自由テーマ事業：２件

地域資源活用事業：２件

新規団体活動支援事業：１件

	テーマ	提案事業名	提案団体	掲載頁
１	地域資源	衣と食―ハレの日とケの日	香寺歴史研究会	８１
２	ＳＤＧs	SDGs2022 Himeji 城育 SHIRO-IKU ～姫路城下のもと　うまれる未来教育～	（一社）Social Eight	８２
３	孤独・ 孤立対策	不登校・ひきこもりの子供を持つ親たちへの「適切な対応と援助」を支援する事業 ～親の会を中心とした共生・協働による温かみのある地域社会づくりに向けて～	姫路マザーハーブの会	８４

4	孤独・孤立対策	「こころが繋がるこの１冊」事業	（特非）コムサロン二十一	８５
5	自由	ブレストアウェアネス（乳房を意識する生活）啓発事業の実施	ピンクリボンひめじ	８７
6	ＳＤＧs	女子高校生 SDGs サミット 2022(仮)	（特非）姫路コンベンションサポート	８９
7	孤独・孤立対策	オリヒメジプロジェクト～次のパイロットはきみだ～	障害者差別解消法ネットワーク	９１
8	ＳＤＧs	ＳＤＧｓで育む＜城の西＞シビックプライド	城の西エリアマネジメント準備会	９２
9	地域資源	姫路の民話の読み聞かせによる地元文化の伝承事業	認知症予防教室一輪会	９３
10	孤独・孤立対策	Keep Smile Project	＃ひめじでごみひろい	９４
11	ＳＤＧs	SMILE　FESTA～地球も姫路も笑顔に～	（公社）姫路青年会議所	９５
12	自由	「ものづくり参加型企画」 メイキング　ドリーム　オブ　ハーモニー みんなのステージをみんなで作ろう！	ほのぼのさん	９６
13	新規	Himeji　BeautyPlus+　Fes	BeautyPlus+	９７

令和５年度提案型協働事業の実施状況

１　実施状況

⑴ 事業募集

① 募集期間　　令和５年４月１７日（月）～令和５年５月１５日（月）

② 応募件数　　１７件

（内訳）　テーマ設定事業：４件

（姫路城世界遺産登録 30 周年記念事業-３件、

町家・古民家の流通を促進する事業-１件）

自由テーマ事業：５件

地域資源活用事業：５件

新規団体活動支援事業：３件

⑵　第１次審査（資格要件審査）

書類の不備等について事務局が審査。　　審査通過件数　１７件（うち１件取下げ）

⑶　第２次審査（提案内容審査）

テーマ設定事業・自由テーマ事業・地域資源活用事業：プレゼンテーション審査

新規団体活動支援事業：書類審査

＜プレゼンテーション審査（提案発表会）の概要＞

【開催日時】　令和５年６月１８日（日）１０：００～

【会場】　　姫路市市民会館　４階　第６会議室

【参加団体】　第１次審査通過団体

【評価委員】　姫路市提案型協働事業評価会評価員　５名

⑷　事業認定の通知　令和５年６月２８日

２　実施事業

１５件

（内訳）　テーマ設定事業：４件

（姫路城世界遺産登録 30 周年記念事業-３件、

町家・古民家の流通を促進する事業-１件）

自由テーマ事業：４件

地域資源活用事業：４件

新規団体活動支援事業：３件

	テーマ	提案事業名	提案団体	掲載頁
1	世界遺産登録 30 周年	姫路城世界遺産登録 30 周年記念事業「ワクワクは、天・空・奏・想（そら）にある」～ SDGs2023　温故知新　learning new from the past ～	（一社）Social Eight	９８

2	自由	地域で取り組む国際理解・国際交流 ～外国にルーツを持つ子供達を核とする多文化共生の地域づくり～	姫コアネット５	９９
3	自由	「和太鼓体験企画」 第１回　集まれ！音ともだち 「ありがとう！歌のこころ、和のこころ」	ほのぼのさん	１００
4	自由	地産地消ひめじバル復活祭	赤ちょうちん屋台の会	１０１
5	世界遺産登録30周年	「千姫の小径」ライトアップ事業	（特非）あかりの街ひめじ	１０３
6	地域資源	「ふるさとの道」調査事業	香寺歴史研究会	１０４
7	世界遺産登録30周年	町家・古民家で感じる姫路の歴史、楽しむ姫路の食文化プロジェクト ～姫路の生きた歴史・文化・魅力を城周辺の町家・古民家再生で体感しよう～	シェフネットひめじ	１０５
8	地域資源	全市エリアミュージアム化構想Ⅰ「香寺まるごとエリアミュージアム」	（特非）スローソサエティ協会	１０６
9	町家・古民家の流通促進	町家等調査（姫路城下町西部地区）	姫路・町家再生塾	１０７
10	自由	オリヒメジプロジェクト ～ノーマライゼーションな姫路を目指して～	オリヒメジプロジェクト実行委員会	１０８
11	地域資源	旧市のきさき朝市	旧市のきさき朝市運営委員会	１０９
12	地域資源	姫路駅西空き資源活用プロジェクト	姫路駅西地区まちづくり協議会	１１０
13	新規	はなまる元気塾 ～楽しく健康寿命を延ばそう～	はなまる元気塾	１１１
14	新規	こどもの ASOBIBA ひめじ基地	旧モノレールあそび場制作委員会	１１２
15	新規	こどもまんなか子育て推進事業	子育てサロン KonoKono	１１３

令和６年度提案型協働事業の実施状況

１　実施状況

⑴ 事業募集

① 募集期間　　令和６年４月８日（月）～令和６年５月７日（火）

② 応募件数　　２０件

（内訳）　テーマ設定事業：５件

（大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭に向けた観光地域づくり事業-４件、
男女共同参画社会の推進に関する事業-１件）

自由テーマ事業：８件

地域資源活用事業：７件

新規団体活動支援事業：０件

⑵ 第１次審査（資格要件審査）

書類の不備等について事務局が審査。　　審査通過件数　２０件

⑶ 第２次審査（提案内容審査）

テーマ設定事業・自由テーマ事業・地域資源活用事業：プレゼンテーション審査

新規団体活動支援事業：書類審査

＜プレゼンテーション審査（提案発表会）の概要＞

【開催日時】　令和６年６月９日（日）９：４５～

【会場】　　姫路市市民会館　３階　第２会議室

【参加団体】　第１次審査通過団体

【評価委員】　姫路市提案型協働事業評価会評価員　５名

⑷ 事業認定の通知　令和６年６月２４日

２　実施事業

１４件

（内訳）　テーマ設定事業：３件

（大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭に向けた観光地域づくり事業-３件）

自由テーマ事業：４件

地域資源活用事業：７件

新規団体活動支援事業：０件

	テーマ	提案事業名	提案団体	掲載頁
１	地域資源	姫路歴史偉人伝・制作伝承プロジェクト～地域の歴史を彩った人物たち～	（一社）Social Eight	１１４
２	地域資源	「香寺文化語り部 QR」活動	姫路市香寺文化協会	１１６

3	地域資源	「千姫の小径」拡大ライトアップ事業	（特非）あかりの街ひめじ	１１７
4	自由	頭と体を同時に使う「コグニサイズ」を活かした「ふれあいサロン」の活性化	認知症予防教室一輪会	１１８
5	地域資源	歴史の道を歩く	香寺歴史研究会	１１９
6	観光地域づくり	姫路城築城石持道の情報発信による観光地域づくり事業	築城石持道研究会	１２０
7	観光地域づくり	家島フォトクエスト	家島観光まちづくり協議会	１２１
8	地域資源	元料理割烹「丸安」の飾磨まち歩き拠点化事業	飾磨ひろめ隊	１２３
9	地域資源	観光地の集団的孤立を防ぐエリアミュージアムネットワーキングプロジェクト	（特非）スローソサエティ協会	１２４
10	観光地域づくり	HIMEJI　Maniacs プロジェクト	ライフスパイス	１２５
11	地域資源	「手柄桜」普及プロジェクト	見野古墳群保存会	１２６
12	自由	駅西まち歩きで地域と親子のふれ合い創出	旧モノレールあそび場制作委員会	１２７
13	自由	移動こども食堂	（特非）菜の花企画	１２８
14	自由	はろべ project	子育てサロン KonoKono	１２９

令和７年度提案型協働事業の実施状況

１　実施状況

⑴ 事業募集

① 募集期間　　令和７年４月１１日（金）～令和７年５月１５日（木）

② 応募件数　　２２件

（内訳）　テーマ設定事業：４件

（ブランドメッセージ＆ロゴ-３件、ＡＭＲ-１件）

自由テーマ事業：１１件

地域資源活用事業：６件

新規団体活動支援事業：１件

⑵　第１次審査（資格要件審査）

書類の不備等について事務局が審査。　　審査通過件数　２２件

⑶　第２次審査（提案内容審査）

テーマ設定事業・自由テーマ事業・地域資源活用事業：プレゼンテーション審査

新規団体活動支援事業：書類審査

＜プレゼンテーション審査（提案発表会）の概要＞

【開催日時】　令和７年６月２２日（日）１０：００～

【会場】　　姫路市総合福祉会館　５階　第２会議室

【参加団体】　第１次審査通過団体

【評価委員】　姫路市提案型協働事業評価会評価員　５名

⑷　事業認定の通知　令和７年７月１日

２　実施事業

１５件

（内訳）　テーマ設定事業：３件

（ブランドメッセージ＆ロゴ-２件、ＡＭＲ-１件）

自由テーマ事業：７件

地域資源活用事業：４件

新規団体活動支援事業：１件

	テーマ	提案事業名	提案団体	掲載頁
１	自由	sounds kitchen 姫アニDISCO	sounds kitchen universal 実行委員会	１３０
２	自由	ONE DANCE in 姫音祭	キミレバ・ワン	１３１
３	地域資源	（仮）冊子「船場川を美しくする会　活動の軌跡」刊行	船場川を美しくする会	１３３

4	ブランドメッセージ&ロゴ	「男山、あかりの魅力アップ事業」	（特非）あかりの街ひめじ	１３４
5	ブランドメッセージ&ロゴ	クリーンアップ・コミュニティ～“好き”をみつけよう～	ひめじ西里山サポート倶楽部	１３５
6	地域資源	「ムラに残る民具と暮らし」の調査事業	香寺歴史研究会	１３６
7	AMR	えーえむあーる ｉｎ ぷちフェス	ひめじSubかるフェスティバル実行委員会	１３７
8	地域資源	「スマホとコラボした「飾磨まち歩きマップ」製作・配布拡大事業」	飾磨ひろめ隊	１３８
9	自由	ＮＰＯ法人心魂プロジェクト　ミュージカル公演 in 姫路 ～命と心が響き合う瞬間をあなたに～	マザーリーフ	１３９
10	自由	ボランティア活動等での施設利用ハンドブックの作成・配布	姫路ティラノレース実行委員会	１４１
11	地域資源	漫画「姫路ゆかりの偉人たち」伝承プロジェクト	（一社）Social Eight	１４２
12	自由	通信制・定時制高校　学校説明会事業	（特非）コムサロン二十一	１４４
13	自由	「ひきこもり支援ハンドブック勉強会・交流会」	（特非）テンペラーレ	１４５
14	自由	hello!「みらい」へ project	子育てサロン KonoKono	１４６
15	新規	ぐるりお譲り広場・地域交流の輪	ぐるりお譲り広場・地域交流の輪	１４７

2 各提案事業の概要

生演奏でつくるおんがくのまち「ほのぼのさんと音楽劇でわくわく！」

実 施 団 体　　ほのぼのさん
市の協働部署　　文化国際課

■ 事業の目的

未来を担う子供達に、音楽を通して達成する喜び、創り上げる喜びを感じてもらい、音楽、芸術を好きになってもらうとともに、子供達に交流の場を設け、音楽をツールとして繋がる世界を体感してもらうことを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標

知らないお友達同士が集まっていましたが、どんどん横のお友達と話をするようになり、１月現在、毎週日曜日に通うクラブ活動のような雰囲気がある。
親同士も横のつながりが出来てきて、一つのものを作り上げる連帯感が生まれてきた。

■ 事業概要

・９月から姫路市全域の小学生対象に「音楽劇」参加の呼びかけの結果、申込者７０名、１０月２４日にオーディションの結果、４２名の参加者となった。
・１１月１８日から、本番までの２月２４日までの間に、演劇表現、音楽練習１６日間を経て、本番「音楽劇　わくわくの森へ行こう」を開催

■ 事業総括・感想

１歳から小学６年生までのお友達が、姫路市の各所から集まり、そして、友情を深め、一つの「音楽劇わくわくの森へ行こう」を協働で創り上げた。
大人も子どもも毎週毎週、通い続けた姫路市演劇練習所。
１人もかけることなく、本番２月２４日は４２名。
全員の音楽劇に対する思いが大きなうねりとなって、
観客の皆さまへ熱いメッセージを送ることとなった。
今回参加してくれた４２名は、きっと、いつかまた
このメンバーと一緒に音楽劇を作りたいと思ったと思う。
未来を担う子どもたちが約５か月間をかけて、
また一緒に頑張りたい、仲間に会いたい、
音楽をやってみたいという気持ちになり、
芸術というものに触れる最初の一歩。
この成果が、子どもたちが音楽や芸術を好きになる
きっかけとなり、「音楽のまち・ひめじ」プロジェクト
の目指す「地域の文化力の向上、交流機会の創出、
次世代を担う子どもたちの育成」にもつながると考える。



地域活動拠点の充実をめざした地域協働組織づくり事業「城の西みらい構想プロジェクト」

実 施 団 体　　城の西エリアマネジメント準備会
市の協働部署　　市民活動推進課

■　事業の目的
・20 年後の城の西エリアを見すえ、地域課題を浮かび上がらせ社会的包摂のかたちをさぐる
・地域内経済の循環、エネルギー自給、みどりのマネジメントなど多様な観点から地域の自立のかたちをさぐり、その拠点となる施設の在り方を描く
・民間の活力を生かした公民連携による地域経営のあり方をさぐる

■　期待される効果又は達成目標
城の西のみらいを考えたとき、日々の暮らし、子ども達、お年寄り、経済、交流、安心など、色々なテーマがあり、どれも大切でどれも不安がある。持続可能なまちを実現していくための、「社会」「環境」「経済」の３つのエコシステムを改めて点検した結果から、「自治会活動の担い手不足を解消する新たな社会基盤の構築」、「公園の里山化を通じた地域活動に子育て世代の取り込み」「地域への参画の裾野を拡げる地域経済循環活動の確立」が必要であると提案した。

■　事業概要
・社会エコシステム「城の西パートナーシップ」
既存の地域事業の協働化を進める上で、地域活動の姿についての自治会アンケートを実施
・環境エコシステム「城の西パークマネジメント」
グリーンウォーキング、コミュニティスポーツ、野菜づくり・収穫、緑肥とヒマワリオイルのためのひまわり栽培、ヒマワリオイル搾り体験、堆肥づくりなどを行った。
・環境エコシステム「城の西オイコノミア」
地域内循環経済を意識したイベント「城の西サバイバル」を開催し、地域内で経済を循環させるための工夫と意識を向上させた。また「地域内経済を考えるシンポジウム」を開催した。
・「城の西みらい構想」提言書作成
上記３項目全体と、これからの地域協働組織づくりを踏まえた提言書を作成した。

■　事業総括・感想
誰もが未来のまちのために気軽に参画できることとしては、「経済」のエコステムである。「城の西サバイバル」で買い物行動を調べるチャレンジを行った結果、予想以上に金額ベースの地域自給率が低いことを発見し、地域乗数効果を高める購買活動にシフトしなければならないことが分かった。何を必要とするのかを表す買い物は地域への投票であり、地域経済の漏れバケツの穴を塞ぐ活動につながることが常々意識できる有効な活動であると感じた。

ママ防災士による乳幼児を子育て中のママのための減災セミナー～あなたの大切なご家族を守るために～

実施団体　　ひめじキッズスマイル
市の協働部署　　危機管理室

■　事業の目的
・姫路の災害リスクについて知り、対策の必要性を感じ、実行に移す“きっかけ”作りとサポート。
・“自分の命は自分で守る”＝「自助」意識の向上
・各家庭での災害対策の推進。
・「地域防災力」の必要性の啓発。
・何事もなく過ごせる日常に“感謝”する気持ちを育む。

■　期待される効果又は達成目標
普段、災害対策について考える機会が少ない子育て世代に良いきっかけをご提供できたかと思います。参加者様より「セミナーで聞いた内容を基に、帰ってから家族会議をしました。」「非常持ち出し袋や備蓄の見直し・補充を行いました。」等のお声を多数頂戴し、各ご家庭での災害対策を１歩でも前に進め、姫路の地域防災力を向上する一助となれたかと思っております。

■　事業概要
11/1（木）第１クール第１回目　大人 28 名・子ども 24 名参加、11/15（木）第１クール第２回目　大人 30 名・子ども 24 名参加、12/6（木）第１クール第３回目　大人 26 名・子ども 20 名参加、1/20（日）第２クール第１回目　大人 24 名・子ども 23 名参加、2/2（土）第２クール第２回目　大人 29 名・子ども 29 名参加、2/17（日）第２クール第３回目　大人 26 名・子ども 22 名参加、６回合計で延べ大人 163 名・子ども 142 名にご参加いただきました。

■　事業総括・感想
参加者様より、「主催者が同じ子育て中のママたちなので、子どもが泣いたりぐずっても、焦ることなく安心して受講できました。」「災害対策について勉強したいと思いつつ、子連れで受講できる講座がなかなか見つからなかったのでうれしかったです。」等の嬉しいご感想を多くいただき、同じ「乳幼児を子育て中のママ」という私達ならではの強みを活かした事業にできたのではと思っております。今後も１つでも多くのご家庭の災害対策が実行に移されるお手伝いを続けていきたいと思っております。



わがまち太市の未来予想図Ⅱ～空から見ようわたしたちのまち

実 施 団 体　　特定非営利活動法人　姫路コンベンションサポート
市の協働部署　　都市計画課

■ 事業の目的
姫路市内でも特に過疎化が進む太市校区では、駅前の地区計画を策定するために、29 年度は太市まちづくり協議会を作り、子どもたちに「住みよいまち太市」を引き継ぐための計画をしてきた。この活動を引き継ぎ、子どもたちに地元愛を育んでもらう活動を目的とする。高いビルなど全くない太市のまちを「係留気球」という非日常空間から見ることで、子どもたちへの刺激も与える。

■ 期待される効果又は達成目標
「気球に乗る」ことは子どもたちを刺激し、他の授業にも様々な形で気球に関することや太市のまちについて考える時間が取り入れられた。またオープンスクールで全校生徒が搭乗したことで、子ども同志だけでなく保護者や地域の大人と子どもたちに共通の話題ができ、家庭や地域で考えるきっかけとなり得たと考える。自分たちの町を大切に思い、愛着を持つ子どもの思いに触れ、大人の「まちづくり」に対し意識に変化をもたらすことが出来たと考える。

■ 事業概要
ワークショップ（全３回）
子どもたちに加え、保護者もいっしょに太市の全体像をとらえ、太市の良さと太市の抱える課題、子どもたちが考える問題点などをあげ、共有する。そこから未来に残したいもの、未来にあったらいいなと思うものを取り出し、人生ゲームを作りあげる。

■ 事業総括・感想
子どもたちは大人が思う以上に豊かな自然や歴史遺産に誇りと愛着を持ち、さらにまち全体が「便利」で住みやすいと思える町にしたいと考えていた。そんな子どもの思いに触れ、「太市の町に気球が来た」ことでまち全体に共通の話題が出来、地域が一つになれ、大人の中にも「まちづくり」に対して意識変化が生まれたと感じた。多世代が「まちづくり」に関わり
様々な意見が少しずつでも取り入れられるよう今後も継続的に関わりたいと考える。



めざそう健康寿命「認知症予防で元気な高齢者」

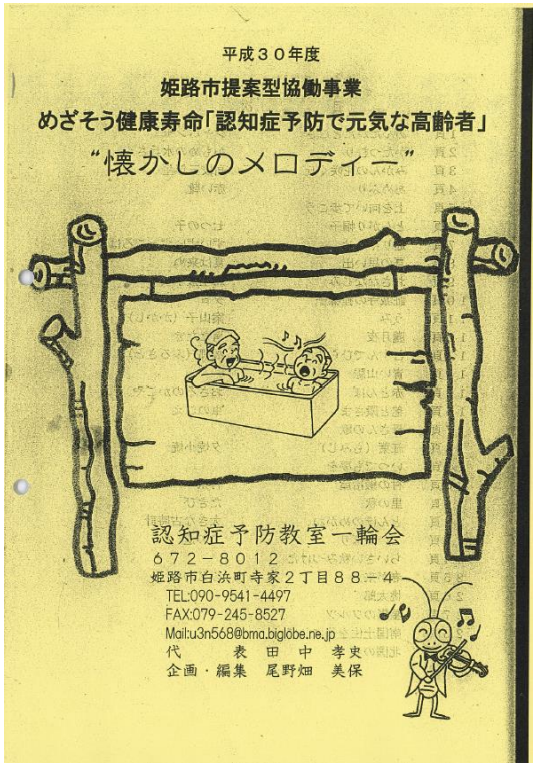
実 施 団 体　　認知症予防教室一輪会
市の協働部署　　地域包括支援課

■ 事業の目的
現在、社会問題となっている高齢者（６５歳以上）の認知症問題である。その予防法として、副作用の少ない非薬物療法として注目されている回想法と音楽療法に着目。それにより、地域では「めざそう健康寿命・認知症予防で元気な高齢者」というテーマで事業を開始する。

■ 期待される効果又は達成目標
各会場ともに共通して、笑顔いっぱいの会場が多く見受けられました。再度の開催を望む声が多かったです。

■ 事業概要
①回想かるたや昔の写真等を見ながらの回想法を知ってもらい、笑顔溢れる会場とする。
②音楽療法として、キーボードの生演奏による童謡唱歌を昔を思い出しながら参加者全員で合唱していただく。

■ 事業総括・感想
今回の事業を始めたことで、プログラムの新鮮味が受け入れられ、自然発生的にめざそう健康寿命にノックできたと喜んでいます。



「認知症高齢者にやさしいまちづくり~認知症になっても集える居場所、魅力ある認知症サロンにむけて　推進事業」

実 施 団 体　　青山１０００人会
市の協働部署　　地域包括支援課

■ 事業の目的

姫路市内には、237 カ所の認知症サロンがあります。サロン活動の定義がなく、団体組織、活動プログラム、運営費、専門家との連携、活動時間、スタッフスキルなど各サロンが手探り状態で活動している。認知症サロンを対象にアンケート調査を実施し、現状と課題を把握し、関係機関が共有認識し、課題解決に向けて提案する。

■ 期待される効果又は達成目標

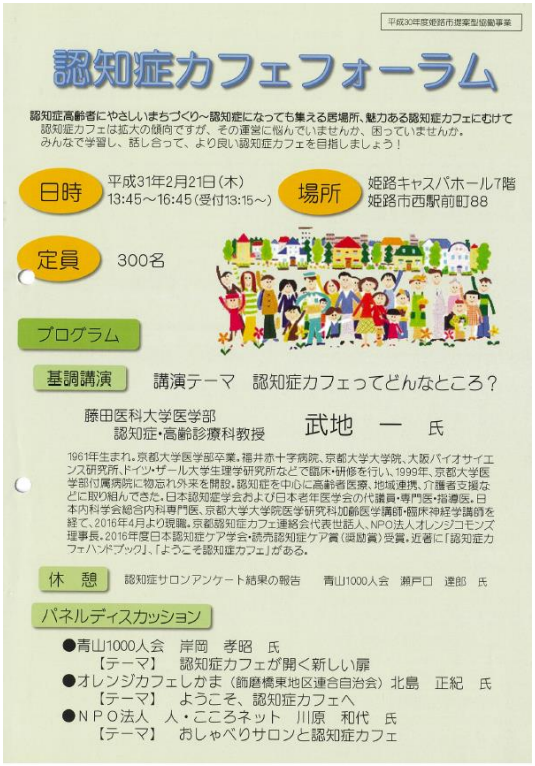
・認知症サロン運営上の課題が把握できた。
・認知症サロン運営者が活動のふりかえりの機会になった。
・認知症サロン運営上の様々な課題解決に向けての機運がある。
・認知症サロン運営についてフォーラム参加者が認識できる機会を提供できた。

■ 事業概要

・市内の地域包括支援センターで認知症サロンの運営に対する意識調査。
・認知症サロン運営者代表者を対象にアンケート調査。
・認知症カフェフォーラム開催「認知症カフェってどんなところ？」
・姫路市認知症カフェアンケート報告書（現状把握・課題・課題解決政策提言・・・）

■ 事業総括・感想

市内の「認知症サロン」の現状が把握できた。
運営代表者が活動をふりかえり、認知症カフェが関係者にとって居心地のいい居場所になれば高齢者にやさしいまちづくりになると思います。
青山１０００人会が運営する「オレンジカフェあおやま１号店」「オレンジカフェあおやま２号店」が市民に受け入れられるモデルになるような「認知症カフェ」として活動したい。



姫路市蝶ジャコウアゲハプロジェクト

実施団体　　姫路ジャコウアゲハ倶楽部
市の協働部署　　学校指導課、姫路駅周辺整備室

■ 事業の目的

次代の担い手である子どもたちに理科教育・教材として姫路市教育委員会・姫路市環境政策室と連携して取り組んでいる「生き物に学ぶ生物多様性プロジェクト～ジャコウアゲハを育てよう」の実施校が昨年度より９校増えて４９校・１２３クラス・３，６１４名の児童が飼育・観察をすることになりました。姫路ジャコウアゲハ倶楽部としても共催事業として姫路市の歴史や文化また自然の素晴らしさを学習して自然環境保護の意識を養うとともに、生命の神秘と生命の尊さをこの体験によって考える機会を提供します。

■ 期待される効果又は達成目標

特に今年度のサミットで発表するために、ジャコウアゲハの飼育・観察に取り組んだ白鷺小中学校の３年生はジャコウアゲハに限らず普通のアゲハ蝶も飼育していろいろな蝶が飛び交うバタフライガーデンづくりに取り組み校庭の南側の歩道を散歩される校区の人々に蝶が飛び交う様子を楽しめるようにとの思いで社会実験を試みました。また、蝶が蜜を吸うための色々な花の種類もみんなで調べました。サミットでの発表では２７名の生徒が登壇しました。

■ 事業概要

飼育・観察に取り組む小学校にジャコウアゲハの幼虫の食草ウマノスズクサの苗を届けて校内にジャコウアゲハが生息できる環境を整備し、身近でその生態を学ぶことができるようにして生命の誕生に触れる機会をつくり、生命の尊さを学ぶとともに姫路の文化と歴史を学びながら郷土愛を育む魅力のある姫路のまちづくりを考えていきます。



■ 事業総括・感想

今年度は、自己資金の不足により事業計画を縮小した活動になりました。しかし、白鷺小学校の先生や中学部の先生の熱意により、子どもたちがジャコウアゲハに限らずアゲハ蝶など全般の蝶に興味を持ち、その中でジャコウアゲハがお百姓さんにとって害虫でないことを認識し、今までの学校に比べてよりジャコウアゲハが大好きになったようで、今までの活動に比べて中身の濃い飼育や観察ができたことは本当に新しい発見です。そのことが私たちにとって知恵と工夫をすることの大切さを知るきっかけとなったことは今後の活動のための大きな収穫であり、成果になりました。

不登校・ひきこもり・若年無業者等支援機関が繋がるプロジェクト

実 施 団 体　特定非営利活動法人コムサロン二十一
市の協働部署　労働政策課、保健所健康課、地域福祉課、総合教育センター育成支援課、
くらしと仕事の相談窓口

■ 事業の目的

子ども若者育成支援推進法（平成 21 年法律第 71 号）の概要には、困難を抱えている子ども・若者について、子どもの貧困、児童虐待、いじめ、不登校児の問題は相互に影響しあい、複合性・複雑性を有していることが顕在化していると書かれています。１つの相談窓口だけでは解決が困難なケースが多々あり、支援機関同士の密な連携を求められています。本事業においてこれまでに構築してきた連携をよりスムーズに繋がるように、又、維持・拡大していく為に、協働相手方等の支援機関と支援の事例検討を行った上で、「姫路版つながるカード」を作成し、姫路市の不登校・ひきこもり・若年無業者・発達障害者支援に寄与することを目的とします。

■ 期待される効果又は達成目標

①本事業を通じて、ネットワークの維持が継続できたこと
②効果的な支援について、多職種間で協議・検討ができたこと
③今後も継続してネットワークの維持と拡大を行っていきたい

■ 事業概要

①不登校ひきこもり支援冊子に掲載されている機関への紹介方法について考えます。話し合うプロセスを経てネットワークの構築と支援者レベルの向上に努めます。
お互いの支援機関の内容や強みを共有すると共に、他機関の支援が必要なクライエントを確実に繋げるための方法を検討します。
対人援助のスキルアップを図る事はもちろんですが、関係機関同士、顔の見える化を行いネットワークをより深めていきます。
②事例検討から出てくる課題等を整理し、「姫路市版相談カード」を作成し、連携を図りやすくするツールを開発します。

■ 事業総括・感想

本事業を受託し、ひきこもりや不登校、若年無業者等を支援する機関が集まり、機関と機関を繋ぐ連携シートの作成を通じてネットワークの維持構築を図った。
作成物を通じ、それぞれどのような支援を実施しているか深く知ることができた。
参加者からも、支援内容について具体的に共有する機会も滅多になので良かったという意見も頂いた。
個人情報の取り扱いやシートを運用するルール作りは頭を悩ませた。
正解が無い中で、姫路版として活用する形を求めて話し合った。

繋がるシートとして形作り運用も行った。今後も関係機関と協力しシートのブラッシュアップを図っていく。
ネットワークは生き物のようで、一度形成しただけでは廃れてしまう。
今後も発展していく為、関係機関と共に姫路市の不登校やひきこもり、若年無業者等への支援に寄与していく。

つなげる＋つながる

不登校・ひきこもり 支援ネットワーク ひめじ

不登校・ひきこもりのセーフティネットワークとして
下記11機関でご本人並びに家族支援・世帯支援を行います。

1つの相談窓口だけでは解決が難しい問題がある場合、支援機関同士の密な連携が必要となってきます。姫路市では、労働・保健福祉・教育行政とそれぞれの分野でそれぞれの子ども・若者支援を展開していますが、分野を越えた連携をすることで困難なケースでも適切な支援につなぐことが可能になってきます。
私たち11機関はネットワークで相談に来られる方の目線に立った支援を志します。

ネットワーク機関

①姫路市立総合教育センター 育成支援課
②姫路市保健所
③兵庫ひきこもり相談支援センター播磨ブランチ
④ひめじ若者サポートステーション
⑤姫路市障害者相談支援センター「りんく」
⑥ひょうご発達障害者支援センタークローバー上郡ブランチ
⑦姫路市わかものジョブセンター
⑧姫路市労働政策課
⑨姫路市生活援護室 くらしと仕事の相談窓口
⑩姫路市社会福祉協議会　地域福祉課　相談窓口
⑪兵庫県立こどもの館　子育て電話相談



自由　　平成３０年度

「また訪れたくなる姫路城」を発信するガイド事業

実 施 団 体　　言葉でつながっていこう会
市の協働部署　　姫路城総合管理室、姫路城管理事務所

■ 事業の目的

平成の大修理後、姫路城を訪れる外国人（韓国人）観光客は増加の一途をたどっている。一方習得した韓国語を生かし、国際交流の輪を広めたいという韓国語学習者も増えている。この２つの事柄を融合させ、よりレベルアップしたガイド育成をし、私たちの姫路城をまた訪れたいと思える観光地にしたい。

■ 期待される効果又は達成目標

・これまで韓国語を学んできた学習者の語学力をさらにレベルアップすることができた。
・新たに作成した姫路城韓国語ガイドブックを利用して学習者たちがより早くガイドレベルに到達することができる。

■ 事業概要

① 韓国語学習者たちの実力アップ（川柳、４行詩、作文を韓国語で）
② 「エンジョイ韓国語」イベントで姫路城の韓国語ガイド実地体験
③ 旧ガイドブックを改訂し、現在のニーズにあった姫路城韓国語ガイドブック１０００冊作成

■ 事業総括・感想

今回教科書だけでなく、姫路城の川柳、４行詩、作文、ガイドブック作りなど、多様な勉強方法を取り入れ、学習者たちの実力アップにつながった。
すでに活動しているガイドチームの人だけでなく、多くの人が姫路城韓国語ボランティア活動に興味を示し、将来やってみたいという方が増えました。



認知症になっても安心して暮らせるまちづくり

実 施 団 体　　特定非営利活動法人　はなのいえ
市の協働部署　　地域包括支援課

■ 事業の目的

認知症になっても安心できる地域をつくるためには、地域にある企業の理解と協力が必要です。市が十分にアプローチしきれない一般民間企業に対してアプローチを行います。
具体的には、認知症見守り活動推進企業への登録、認知症サポーター養成講座、認知症高齢者の捜索訓練実施のサポートを行います。同時に、市が実施している見守り・ＳＯＳネットワークへの登録を促し、地域包括支援センターと協働した取り組みを行い、適切な情報共有につなげたいと考えています。これにより、地域で支え合う仕組みづくりに企業が加わり、さらに広がることを目的とします。

■　期待される効果又は達成目標

「認知症サポーター養成講座と認知症高齢者声掛け模擬訓練セミナー」の開催にあたり、事前に広報活動を行ったことで、企業・行政・地域包括・地域住民と様々な方にご参加いただきました。これを機会に企業での模擬訓練の打ち合わせもさせていただく事になり、企業にＳＯＳネットワークに参加していただく事への扉が開きました。企業の方にも、認知症高齢者の捜索活動に企業が参加する必要性を理解していただくことができたと思います。
また、認知症高齢者声掛け模擬訓練が地域で行われるようになってきています。



■ 事業概要

・一般企業への啓発、講座、訓練実施サポート
・認知症高齢者の捜索模擬訓練や地域サロンの啓発活動

■ 事業総括・感想

認知症になっても安心できる地域をつくるためには、地域住民の理解と協力、そして地域にある企業のサポートが必要です。まず、姫路のほとんどの企業が登録している商工会議所に趣旨の説明を行い、協力を求めました。企業へのアプローチの第一歩として、この取り組みを知ってもらうために、全企業に「認知症サポーター養成講座と認知症高齢者声掛け模擬訓練セミナー」のリーフレットを作成し、配布させていただきました。そのうえで、実際にセミナーに参加していただくためにピンポイントで数社の企業に参加要請をさせていただきました。次にＳＮＳを利用して一般の方にも広報を行い、地域住民にはランダムにポスティングを行う等の広報活動を行ったことで、平日の昼間にも関わらず、企業・行政・地域包括・地域住民と様々な方にご参加いただき、有意義なセミナーになりました。これを機会に、企業での模擬訓練の打ち合わせをさせていただく事になり、企業への扉が開きました。今後は、認知症見守り活動推進企業への登録・市の見守り・ＳＯＳネットワークへの登録を促すなど各企業ごとの強みを活かした支援をしていただけるよう進めていきたいと思っています。また、地域サロンのホームページとの情報共有にもつなげていけるようにしていきたいと考えています。

地域資源　　平成３０年度

『村の記憶』を書き継ぐ

実施団体　　香寺歴史研究会
市の協働部署　　企画政策推進室、香寺中学校

■ 事業の目的

町民の書いた『香寺町史　地域編』を書き続けることで、地域の歴史遺産を再発見し、地域づくりに活かしていきたい。書き続けるためにはその担い手を育てることが必要である。書き継ぐ会を続けることで、その一端を担いたいと考えている。また、書くだけでなく、次の世代に直接話すことで、ムラの歴史を伝えたいと地域の中学校と連携を図っている。書き手であり、語り部でもあることで私たち世代に課せられた役割を果たしていきたい。

■ 期待される効果又は達成目標

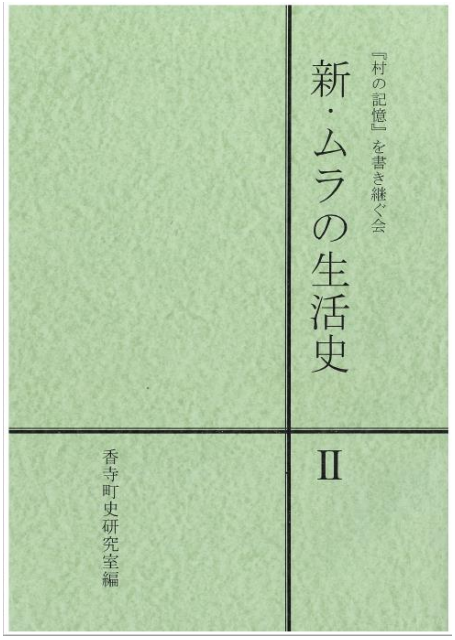
１．活動報告会を開いて、町民に広く『村の記憶』を書き続けることの意義を伝えることができたこと。
２．中学生に直接村の暮らしと地域の歴史を話すことで、地域への関心を高めることができたこと。
３．山と暮らし調査により、忘れられようとしている山と暮らしについて記録ができたこと。

■ 事業概要

１．『村の記憶』を書き継ぐ会を継続し、『新・ムラの生活史　Ⅱ』の編集刊行。
２．全町内の山の地名を調査し、かつての山と暮らしの関わりを記憶する。
３．中学生への出前授業（「地域の歴史と暮らし」について）を行う。

■ 事業総括・感想

住民が書いた町史『村の記憶』を書き継ぐ試みが形となり、『新・ムラの生活史　Ⅱ』が発行できたこと。次いで参加者の活動が力となって、大字誌を編纂する自治会の動きが具体化し、今年、犬飼・中仁野・行重で編纂委員会が発足したことで一定の成果が得られたと感じることができた。一方で、次の世代に伝える活動として、中学生に授業をする機会が与えられ、自分でも地域の事を調べてみたいと思ったという感想を聞くことが出来て、大きな励ましとなった。



姫路市産材活用・広域連携事業「杉活」

実施団体　　一般社団法人ひとネットワークひめじ
市の協働部署　　企画政策推進室、農林整備課、産業振興課中心市街地活性化推進室

■ 事業の目的

姫路市が平成 18 年に合併をおこない、新たに姫路市となった「安富町」。そこには山間部が広がり、資源が豊富であり林業行う会社もある。その安富町の自然の資源である木材の価値を見直し、木材と安富町の魅力向上、資源の消費の喚起、PR を実施することにより、地域資源と安富町及び周辺地域を未来への継承に寄与することを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標

PR パネルの展示やイベントの実施などで、一般市民に向けた「とみす杉」の発信が出来、認知してもらえた。地域資源を今後発展させていくために、認知は重要なので、イベントに参加した市民が SNS などで「とみす杉」を拡散してくれた事により、少しでも多くの人に存在を知ってもらえ、効果があったと考察する。
什器制作によって、とみす杉の活用、消費が微々たるものだが促され、環境保全に微力ながら貢献できた。併せて制作した什器を駅前で活用していくことで、イベントをする者、またイベントに来る者、双方に発信ができる。重要なツールを作成できた。

■ 事業概要

・姫路市産材「とみす杉」を活用した什器の制作、及び什器の活用による PR
・市民に向けた「とみす杉」の PR 活動（杉のリースづくり WS）の実施
・安富地区住民へのアンケート

■ 事業総括・感想

今回の事業を通じ２つの可能性が見えてきた。
１つは、とみす杉という資源をしっかりと活用することで、姫路の観光やブランドとしての価値の可能性はまだまだあるという可能性である。杉のリースづくりの WS を通して、「とみす杉」を知ってもらえるきっかけも出来たことも重要だが、本来もみの木で作るものが、杉であってもしっかりとリースとして成立し、市産材での製品が価値を持つことがわかった。併せて、什器を作成、活用していく中で一般市民向けではないかもしれないが、マルシェなどの運営主体や小売の出店者には好評で、デザイン性、利便性、可搬性など、もっと精度を上げていくと商品としての価値も需要も出てくると感じた。展開も幅が広くまだまだ多岐にわたり可能性のある資源だと強く感じた。
もう１つは、住民との連携による地域ブランディングの可能性である。安富地区に住む方へのアンケートを実施して、住民が魅力として自然の豊かさをあげているのだが、アイデアとしてはその自然という資源を活用して地域を活性化させようという意見はなかったのが印象的だった。他の地域（県外で林業を売りにしている地域）では山奥だからこその自然、林業を活かして様々な取り組みで成功している事例もある。地域住民も巻き込みながら林業の振興を行うことで地域の活性化や地

域の環境保全など、今まで取り組んでいなかった取り組みができる可能性があると感じた。地域住民が感じる地域の魅力を、地域の住民と共に考えることが重要になると思うので、これからは地域ならではの取り組みを地域の住民とともに実施していきたい。アイデアにないということが提案する意味を持つのではないかと考える。安富地区の林業関係者（地域住民ではない）は同様の考えを持っていたので、連携した取り組みに発展しうる可能性があると感じた。



第　３　回　大　津　ふ　れ　あ　い　音　楽　祭

実 施 団 体　　姫路市大津まちづくり協議会
市の協働部署　　文化国際課

■　事業の目的

地域住民を主対象に、音楽を通じた親睦と交流を図ってもらうと同時に、普段では聴くことがない生演奏が子供たちの豊かな感性の糧となり地域住民の心の潤いとなることを目的とする。

■　期待される効果又は達成目標

チラシとポスターによる周知の効果が大きく、地元の関心が高かった。
前回よりはるかに多い地元の方に来ていただき、特に、小さな子供や車いすの方が多くみられた。
校区内なので、子供たちだけで来られた方も目立った。

■　事業概要

地域の団体による演奏とプロ音楽家による、生演奏による音楽祭。

■　事業総括・感想

小学校の全校生徒と自治体の各戸にチラシを配布したことで、昨年を大きく上回る地方の方に音楽を楽しんでいただけたと実感している。昨年事業実施後、事業のお知らせがなかったというお叱りを受け、今年度は各戸に１枚ずつチラシを配布するなどして改善した。
予想を上回る来場者数であったため、準備していたプログラムの数が足りなかったのはうれしい誤算である。



姫音祭（姫路ミュージック＆ダンスフェス）

実施団体　　ひめじあかり実行委員会
市の協働部署　　文化国際課

■ 事業の目的

市民ボランティアが主体となって結集した実行委員会により音楽・ダンスイベントを企画運営し、幅広いジャンルの音楽の発表の機会をつくることで、音楽によるまちの活性化に繋げる。街なかのステージで観覧無料とすることで市民の目に触れやすくし音楽・ダンスを愉しむ機会を増やす。「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトの一環を担うことにより、姫路市の文化芸術の質の向上に寄与する事業として育てる。

■ 期待される効果又は達成目標

出演者・観客数とも昨年の第１回を上回り、また姫路初の「ストリートピアノ」設置について、事前告知、事後の新聞・テレビ報道などで採り上げられた。特筆すべきとして、YouTuber として著名な「よみぃ」「ゆゆうた」お二人の出演により、直後にネット上にアップされた関連動画の再生回数は 100 万回を超え、姫音祭、また「音楽のまち・ひめじ」事業の認知度向上により寄与する結果となった。

■ 事業概要

ミュージック部門 66 組、ストリートダンス部門 45 組、その他ダンス部門９組の出演により、特設箇所含む計８つの会場で観覧無料のステージを繰り広げた。
飲食出店（25 店舗）、スタンプラリー等、参加者が街歩きを楽しみながら出来るよう、駅からお城の周りの回遊性にも着目した企画も同時に展開した。

■ 事業総括・感想

街をステージとすることで、音楽・ダンスの発表の機会を設け、更に多くの市民の目に触れやすくするという当初の目的は大いに達成されたと考えられる。事後の反響も想定を超える大きな手応えが、特にネット上で強く感じられた。
しかし毎年の継続事業として捉えると行政との連携のみならず、市民主体の実行委員会としての継続的な組織運営体制の確立が急務である。ひいては観光政策との両輪で考えられるような将来的なビジョンの策定まで含めて、実行委員会で担えるようになることが理想である。



太 市　　ま ち の 担 い 手 づ く り 事 業

実 施 団 体　　特定非営利法人姫路コンベンションサポート
市の協働部署　　市民活動推進課

■　事業の目的
太市駅周辺を中心に、まちづくりを担う世代（30～40 代）の発掘と組織づくりを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標
2019 年度 1 年では成果を上げることはできなかったが、自治会と連携を取り、顔の見える関係性を作った。これによって 30 代～50 代が来年度以降の事業展開への参加することを打診でき、太市のまちづくりをする上で、後継者が見えたと考える。

■ 事業概要
太市のまちづくりを担う人の可視化を行う。現在の太市の課題を抽出し、緊急性かつ重要度が高いものの共有を図り、その課題解決に取り組むための組織づくりを行う。
令和元年 8 月より 5 回に渡るワークショップを重ねた。後半の 2 回は、自治会役員とも課題の共有を図り、事業が今後も継続できるように姫路市各部署とも連携をとった。

■ 事業総括・感想
今回のフィールドとなった太市だけではなく、53 万人都市姫路市でも、人口減少のために地域の担い手不足が深刻となった地域は多くある。現在の地域の担い手は「組織」に属する人が多い。それでは地域の担い手は減少する一方である。
今回上がった大きな地域課題は、「生活インフラの整備」「小学校の存続」の 2 点であった。
人口減少社会を迎えた地域が願うのは、「地域を元気にする人を増やしたい」「地域に関わりを持つ人を増やしたい」ということである。住民を増やすことを目的にするのではなく、地域活動に参加してくれる人を多く作る必要があろう。目まぐるしく変わる状況の中で、地域の担い手を見つけることは一朝一夕でできることではない。地域の繋がりが濃くなれば、生活インフラの不足も補える地域になるかもしれない。2019 年度の「太市まちの担い手づくり事業」が今後の太市のまちづくりに貢献できることを願う。

３つのエコシステムによる「城の西　みらい構想」実践事業

実 施 団 体　　城の西エリアマネジメント準備会
市の協働部署　　市民活動推進課

■ 事業の目的
２０年後の＜城の西＞エリアを見すえ、社会・環境・経済の３つの観点から持続可能な地域の仕組み（エコシステム）づくりを提唱・実践する。
そのために最適化された地域運営組織のあり方と、それを支える地域拠点施設の機能や再配置などもふくめた「城の西 みらい構想」推進の策定をすることで、社会包摂的地域システムのモデルの一つとなりうる「わたしたちのまちのかたち」を提言する。

■ 期待される効果又は達成目標
小さな循環作りは定着し、作業をしていれば周りにいる子どもたちが寄ってくるようになった。また、蓄積された堆肥がブルーベリーガーデンづくりの資材になるなど次のテーマへのつながりもできるようになった。初開催のマルシェ開催については、そこで数時間過ごす人が多かったり、売り切れの店が出たり、子どもが子どもらしく遊ぶ様子が見られるなど、住民憩いの空間がこれまでなく、その重要性が明らかとなった。

■ 事業概要
（１）「社会エコシステム」
　自治会活動への参画形態など新たな社会基盤の構築と、地域活動拠点設置の調査研究
（２）「環境エコシステム」
　公園の里山化やみどりのインフラづくりを通じた多世代交流や地域活動への次世代の取り込み
（３）「経済エコシステム」
　地域への参画の裾野を拡げる地域経済循環活動の確立

■ 事業総括・感想
上記３つのエコシステムを実現し、誇りあるまち〈城の西〉の住民自治組織を機能させるための象徴的な建物が必要であることがさらに明確になった。住民主体のマルシェ、こどもの遊び場、大人のくつろぎの場、高齢者のやりがいの場、地域で生み出し使えるエネルギー創出の場など、社会・環境・経済的なよりどころであり、地域のレジリエンスを高めることができる空間を地域に作れるように進めていきたい。



地　産　地　消　ひ　め　じ　バ　ル

実 施 団 体　　赤ちょうちん屋台の会
市の協働部署　　農政総務課

■ 事業の目的

姫路市内でとれる野菜や魚介、姫路和牛、姫路ポーク、桃色吐息、播州地鶏といった地元産食材を使った料理や地酒、特産品を観光客や姫路市民に提供する食のイベント「地産池消ひめじバル」を開催し、観光客や姫路市民に姫路の食について再認識してもらうとともに、日頃利用しない店を知ってもらう。同時に参加店が新たな特産品を開発し、中心市街地や飲食店の活性化を図る。

■ 期待される効果又は達成目標

参加者は、姫路やその周辺でとれる様々な食材、特産品を使った料理を味わうことができ、それぞれの飲食店の工夫や味を実際に自分で感じることにより、姫路で様々な食材が生産されていることがわかり、地産地消について実感できるイベントとなった。初めて参加店に訪れた方も多く、来店の良いきっかけとなった。参加店を紹介するバルマップは、バルが終わった後も各店のガイドブックとして活用されており、バルを通じた新たな顧客の獲得につながった。

■ 事業概要

姫路の中心街で地元産の食材を使った一品が楽しめる「地産地消ひめじバル」を９月 23 日、開催した。姫路駅前などの繁華街にある飲食店 32 店舗が参加し、参加店ごとに地元産の食材を使った自慢の一品と播磨の地酒などのドリンクをセットし、バル参加者約 1000 人に提供した。
バル参加者はあらかじめ、参加証となるリストバンド（500 円）を購入していただき、同時に参加店とバルメニューが紹介された冊子状のバルマップを提供した。
バルメニューの価格は 300 円～1,500 円と、それぞれの店舗により異なり、開催時間も各店で違い、一部の店ではランチタイムから実施した。
参加店は、約１万６千人のメンバーで構成されるフェイスブックの「姫路ランチ＆ディナー」グループメンバーから推薦を受け、決定した。

■ 事業総括・感想

32 店舗の参加店の募集について、フェイスブックの「姫路ランチ＆ディナー」グループメンバーから推薦を受けて決定したため、ファンの応援も受けられ、自分たちで盛り上げていく参加型のバルとなったことが、成功の要因と考えられる。ＳＮＳや参加店を通じて口コミ等の効果で、当初の計画通り約 1000 人が参加していただき、盛況に終えることができた。
日頃行きたくてもなかなか行けないと多くの人が思っている店も地産地消というキーワードに賛同いただき、バルに参加してもらえ、店も参加者も喜んでもらえる結果となったことに主催者として、年２回程度のペースで継続実施していける手ごたえを感じた。

「日本一～認知症高齢者にやさしいまちづくり姫路～宣言事業」

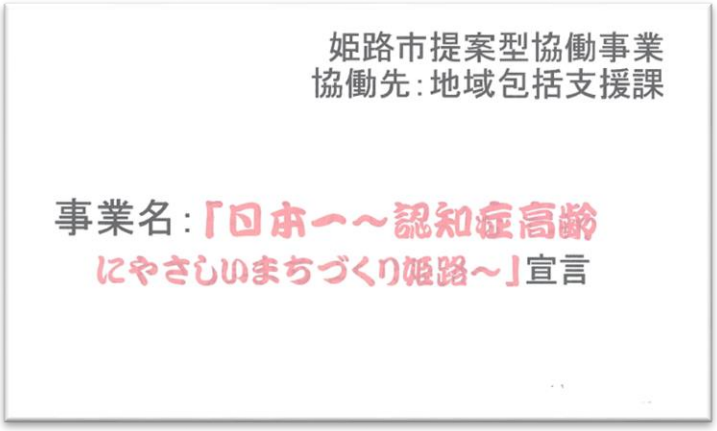
実 施 団 体　　青山 1000 人会
市の協働部署　　地域包括支援課

■ 事業の目的
平成３０年度に調査した認知症カフェアンケートから、把握した課題を関係機関と共有認識し現在活動している認知症カフェをより充実させ、認知症高齢者等が地域で通い続けられる場にすることで、認知症になっても安心し暮らし続けられる地域づくりを構築する。課題解決施策を市長に提言する。

■ 期待される効果又は達成目標
・認知症カフェ運営上の課題が共有できた。
・認知症カフェ運営者等が活動のふりかえる機会になった。
・認知症カフェの持続可能な施策を市長に提言できた。
・認知症カフェ運営について研修会参加者が認識できる機会を提供できた。

■ 事業概要
・市内２３地域包括支援センターを訪問し認知症カフェの課題を提供する。
・認知症カフェ運営責任者を対象に課題を提供し解決に向けて意見交換会を開催する。
・認知症カフェ運営スタッフ研修会を開催し、カフェ運営者を養成する。
・認知症カフェ運営の施策提言を市長にする。

■ 事業総括・感想
・市内の「認知カフェ」の課題解決には関係機関と市民が市民活動の意義を再考する必要があると認識しました。市民活動は、市民と行政の信頼関係の上で成り立ち、互いに距離感を持つことで成長していくと再認識しました。
・弊団体が運営する「オレンジカフェあおやま１号店」「オレンジカフェあおやま２号店」が市民に受け入れられモデルになるような「認知症カフェ」として活動したい。



ママ防災士による『ファミリー減災クッキング教室』～ 地域のみんなで災害対策について考えよう～

実 施 団 体　　ひめじキッズスマイル
市の協働部署　　危機管理室

■ 事業の目的
・姫路市内各地で減災クッキング教室を開催することにより、地域毎の参加者同士の交流を深め、地域のみんなで災害対策を考える“きっかけ”作りをし、「地域防災力」の向上につなげる。
・災害クッキングを体験することで、災害時を乗り切るスキルを身に付ける。
・クッキングの合間に“自分の命は自分で守る”＝「自助」の大切さや、各家庭での災害対策を啓発する講座を行う。

■ 期待される効果又は達成目標
・災害対策について考える“きっかけ”になる。
・災害対策の実践的なスキルと具体的な知識の習得。
・各家庭での災害対策の促進。
・「地域防災力」の向上。

■ 事業概要
２回シリーズ型の減災講座を秋（11 月・12 月）、冬（1 月～3 月）の２クール開催する。
第１回『 姫路市危機管理室によるファミリー向け減災セミナー 』
第２回『 ファミリー減災クッキング教室 』

■ 事業総括・感想
3 年目の採択ということに加えて、「市民活動・ ボランティアサポートセンター開設 10 周年記念フォーラム」のパネラー登壇や、メディアに取り上げていただいたことなどで、「ひめじキッズスマイル」の認知度・信頼度が上がったことを実感できた 1 年でした。それに伴い、更に責任感を持ち、より良い講座にしていきたいとの想いが一層強まったことが何よりも大きな成果かと思っております。

国　際　女　性　フ　ェ　ス　タ　２　０　２　０

実 施 団 体　　国際女性フェスタ実行委員会
市の協働部署　　男女共同参画推進課

■ 事業の目的

女性が輝く社会の実現と、地域活性化を目指し、すべての女性が豊かな人生を送るべく、家庭のみならず職場でも女性の生き方を男女ともに考える機会を創出し、女性の活躍を推進する

■ 期待される効果又は達成目標

新型コロナ感染拡大予防のため、イベントは中止になったが、実行委員会の中で議論を重ねた結果、4 月以降に分科会のテーマに沿った勉強会を開催できることは意義があったと感じる。イベントをすることに注力しがちであったが、中止にしたことで、啓発の仕方を模索するきっかけができよかった。

■ 事業概要

3月8日は国際女性デー。
「自分の人生を自分で選べる、自律した女性を一人でも多く増やしたい」と2回目の実施。今回のテーマは「結婚」。キャリアを妨げると思われている「結婚」について、その課題を挙げ、「結婚」の課題と新しい形、既成概念に一石を投じるものにしたいとイベントを開催する。

日程　令和2年3月8日（日）10時から17時
場所　BIZ SPACE HIMEJI
内容　基調講演のほか、グループトークができる分科会や、企業ブース、食ブース
　　なども配置し、自由な出入りができるイベント内容とする。

7月より12回に渡り実行委員会を実施。3月8日のイベントに合わせた啓発活動を検討してきたが、中止となった。

■ 事業総括・感想

結婚観は年代で大きく異なる。少子化対策のための「結婚」ではなく人間として尊重できるつながりが結婚であると考える人を増やせければという意見が多くでた。結婚に適齢期はないが、妊娠出産には適齢期がある。結婚だけではなくライフスタイルとどう向き合うのかも、大切なことだと感じた。実行委員会で取り組んだ内容は、小冊子にし、来年の国際女性デーイベントで配布予定とする。

紙芝居を活かした消費者被害防止による安心安全まちづくり

実 施 団 体　　認知症予防教室一輪会
市の協働部署　　地域包括支援課、消費生活センター

■ 事業の目的
地域（朝日校区）の小規模公民館等に集っていただき、特に高齢者に対する消費者被害を防ぐ手法の一つとして紙芝居（題材は消費者被害）５作品を鑑賞していただき、消費者被害を意識することで、結果的には安心安全まちづくりに寄与する。

■ 期待される効果又は達成目標
今回の予定は、１５会場でしたが、クチコミ効果からか、地域サロン３７会場、福祉施設６施設で鑑賞していただく結果となりました。姫路市以外からも嬉しい要望の声がありました。

■ 事業概要
消費者被害対策として企画・制作した紙芝居を楽しく鑑賞していただく。後半には会場の雰囲気を盛り上げる意味から、全員でキーボード生演奏により昭和歌謡を、合唱参加者にはシール「でんわのむこうは誰」と消費生活センターからの資料を配布した。

■ 事業総括・感想
今回は、提案型協働事業に採択されまして、アンケート集計結果から見ても大正解だったと思いますとともに、事業を終了するのではなく、継続事業と位置付けてボランティア活動の中に取り組んでいきます。

地域の誰もが安心して暮らせる姫路市づくり

実施団体　　特定非営利活動法人はなのいえ
市の協働部署　　地域包括支援課

■ 事業の目的

地域共生社会の実現には、制度や分野ごとの“縦割り”や“支え手”・“受け手”という関係性を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、誰もが安心して暮らせる地域を作っていくことが必要だと思います。地域包括支援体制が進み、「地域サロン」・「生き生き百歳体操」等の活動は進んできましたが、「1 人で外出できない」「行きたいけど参加し難い」等、最も支援が必要な人に届いていないのが現状です。
それらを解決していくために、「出前ふれあいサロン食堂」を実施したいと考えています。
具体的には、市内にある公営住宅の集会所等で、定期的にカレー等の軽食を 100 円程度で提供する出前食堂を実施していきたいと考えています。食べると言うキーワードは、どの人にも響き易く、参加したいと考える方も増えると思っています。また、それをきっかけに、安否確認・交流のきっかけ作り・ひきこもりの予防等にも繋がっていく事を想定しています。
また、平行して SOS ネットワークへの参加企業の発掘・登録の推進・捜索模擬訓練実施の継続を行っていきます。昨年、作成した企業向けのリーフレットを配布し、企業が持つそれぞれの強みを生かした支援をしていく事で、見守りや捜索の機会が増えていき、捜索模擬訓練を地域や企業で行っていくことで、認知症高齢者が外出して行方不明になる事に対しての理解者も増え、この活動が将来的には、防災対策にも繋がっていくと考えています。

■ 期待される効果又は達成目標

少子高齢化が進み、住民同士の交流も少なく、孤独死も増えてきている社会環境の中で求められているのは、地域での交流の場作りである。しかし、住民が自ら作っていくのは難しいと思う。今回の事業を行った事で、これまで顔を合わす事が少なかった住民同士が、お互いを気にするようになり、体調の悪い方を気遣ったりする場面もあり、本来の目的のきっかけ作りができたと思っている。また、1 か所を始めた効果から、見学者があちこちから来るようになり、各自治体や公営住宅が、少しずつ必要性を感じ始めているように思った。

■ 事業概要

地域のいろんな人が、普段から顔の見える関係づくりを行ったり、いざという時に相談し合えたり、お互いに支え合えたりする姫路市を目指しています。そんな人が姫路にたくさん増えるように下記の事業を実施します。地域の民間企業の理解と協力を得ることで、地域でお年寄りを支える仕組みづくりがさらに広がることを期待します。また地域サロンの活用方法の幅が広がることで、既存のサロンがより活発で継続的になることを期待します。
①出前ふれあいサロン食堂の実施
・公営住宅及び近隣住民を対象に、カレーなどの軽食を100円程度で提供する機会をつくります。生活圏域の住民同士が顔を合わせる事で顔なじみを増やし、また引きこもりがちな方が地域の場に

参加できるきっかけとして取組んでいきます。
②見守り・ＳＯＳネットワーク構築の促進と捜索模擬訓練の普及・啓発
・認知症になっても安心できる地域をつくるためには、地域にある企業の理解と協力が必要です。前年度に引き続き、市が十分にアプローチしきれていない、一般民間企業に対してアプローチを行います。また、認知症サポーター養成講座や認知症高齢者の捜索模擬訓練を実施するサポートを行い、市が実施している見守り・SOSネットワークへの登録を促し、地域包括支援センターと協働した取り組みが行えるように支援を行っていきます。
③認知症高齢者の捜索模擬訓練や地域サロンの啓発活動
・これまで制作したツールを最大限に活用して市民や企業に対し、継続的な啓発活動を行います。

■ 事業総括・感想
始めに開催する場所の選定に時間がかかりましたが、住民の方々も喜んで頂き、毎回楽しみにして頂き良かったと思っています。固定で参加される方や新しく参加される方、ご近所の方まで参加して頂けるようになり、見学にも来られて興味を持たれる方が増えているのでこのまま増えていくといいなーと思っています。また、住民の方が「〇〇さんって人を連れて来てあげたいんやけど・・」と相談して下さったり、楽しそうに参加して下さっているのが良かったと思っています。ここまでは成功ですが、今後もっと広げていけるようになり、いろんな所で開催できるようにしていきたいと思っている。

姫路キッズ・ビッグアートプロジェクト

実施団体　　水上夢倶楽部
市の協働部署　　企画政策推進室

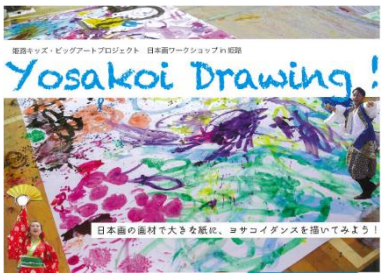
■ 事業の目的

日本の伝統を学ぶ

1．姫路の伝統文化である「古典的鹿膠」や「素材」について学ぶ
2．日本画について学ぶ。（武蔵野美術大学日本画教授内田あぐり先生を迎える）
3．巨大な日本画制作「大好きな姫路」と「Yosakoi Drowing」を描き創造力豊かな心を育む
4．第７回みずかみキャンドルナイトの会場で展示する。

■ 期待される効果又は達成目標

1．日本画を子ども達に伝承できた。（内田あぐり教授）
2．姫路の伝統文化「古典的な膠」についての周知が出来た。
　子ども達に絵具と膠を混ぜることの楽しみや、踊りを感じながら巨大アートを描くなど驚きと達成感を感じると共に、喜びをわかちあう。
3．第７回みずかみキャンドルナイトのろうそくの灯りの会場に展示することで、姫路市民に作品を見ていただくことができる。
4．たくさんの方々に感動と癒しを与える。
5．川の清掃でゴミのポイ捨てなど環境問題について考える。



■ 事業概要

日本の伝統文化を体験し、周知する。

1．姫路の古典的膠について（市川での川漬け脱毛の皮を使った鹿膠）
2．絵具について学ぶ（水干絵具・顔料の説明、膠の使い方説明、絵具の作り方、混ぜ方を学ぶ。）
3．日本画の制作指導（姫路について、よさこいを踊る姿を大きな紙に描く（ドローイング））
4．地域のまつり「第７回みずかみキャンドルナイト2019」で、日本画を展示する。

■ 事業総括・感想

日本画を楽しく描くことが、様々な日本の伝統文化を同時に学ぶことに繋がった。そして、踊りを見て、心や体で感じたことを日本画の画法で表現できた。子どもも大人も筆で描く以外にも手足で描いたりと、日常ではできないことから新しい感覚が生まれていきました。素敵な時間でした。
また、参加者みんなで作った作品は、日常では絶対にない船場川の特設展示場で公開でき、たくさんの方々に日本画の作品を見ていただくことができました。キャンドルナイトは、松本先生、清元市長にも参加いただき、5,000 個の灯りと日本画の競演は素敵な時間となりました。
令和元年度姫路市提案型協働事業として、メンバーや地域のたくさんの方々の協力により、盛大に事業が進みました。
本当にありがとうございました。

地域の歴史を伝える－中学校と連携して－

実施団体　　香寺歴史研究会
市の協働部署　　企画政策推進室、学校指導課、姫路市立香寺中学校

■ 事業の目的

本会は町民の書いた『香寺町史　村の記憶』を書き続けることで、地域の歴史遺産を再発見し、地域づくりに活かしていきたい、と活動を続けている。地域で次の世代に歴史を伝えることが難しくなっている現在、地域の中学校と連携をして、中学生による地域調べ学習に協力することで、新しい伝える場を生み出したい模索している。そしてこの地域調べ学習で、中学生が地域の一員として生きていることを自覚してくれることを期待している。

■ 期待される効果又は達成目標

1．活動報告会を開いて、地域で地域の歴史を伝えることの意義を広く伝えることができたこと。
2．中学生が村の暮らしと地域の歴史を地域へ入って調べることで、地域への関心を高めることができたこと。
3．川と暮らし調査により、忘れられようとしている川と暮らしについて記録できたこと。

■ 事業概要

1．全町内の「川と地名・暮らし」を調査し、かつての川と暮らしの関わりを記録する。
2．中学生への出前授業（「地域の歴史と文化」について）を行う。
3．中学生の「地域調べ学習」に協力する。
4．会員と中学生の研究成果を共に収録する『新・ムラの生活史　Ⅲ』を発行する。

会員は夏から秋にかけてそれぞれの地域で川と暮らしの関わりを調査し、伝える内容を豊かにする。夏休み前に会員が中学生の地域調べ学習の手引となるように、出前授業を行う。夏休みに入ると、生徒は興味を持ったテーマをもって地域に入り、会員など地域の人にインタビューをし、さらに研究を深める。2月に報告会を開いて、会員と生徒それぞれがまとめた研究成果を発表し、公開した。それぞれの研究成果は記録し後世に伝えるために、報告書として『新・ムラの生活史　Ⅲ』を発行する。

■ 事業総括・感想

地域の歴史を次の世代に伝えることが難しくなっている現在、中学生が地域調べをすることに協力することで、直接伝える場ができたことは何よりうれしいことである。今まで模索しても得られなかったことであり、地域の力で生徒が育ってほしいという校長の願いがあってのことであった。中学校との連携を来年以降も継続したいものである。

「2019　飾磨街道フェス～日本遺産「播但貫く、銀の馬車道　鉱石の道」」

実 施 団 体　　「銀の馬車道」飾磨街道活性化委員会
市の協働部署　　企画政策推進室

■ 事業の目的

姫路城外堀の「飾磨津門」から南にほぼ直線で４ｋｍ、飾磨津に通じる古くからの街道「飾磨街道」が日本遺産「播但貫く、銀の馬車道　鉱石の道」として認定されてはや２年をすぎようとしている。しかし、朝来・神河等に比べ飾磨では「銀の馬車道」のルートすらまだ誤解されていて、日本遺産認定を地元地域活性化にいかせていない。このイベントを開催することで、古くから姫路城下の外港としてまた「北前船寄港地」としても栄えた「飾磨津」の歴史を、「飾磨まち歩きマップ」配布を通じて、次世代の子供達にも地元の魅力を伝え、誇りと自信をもって地元地域を元気にしていきたい。

■ 期待される効果又は達成目標

偶然にも「ブラタモリ」放送（姫路城＆飾磨津をブラリ）翌日の「飾磨街道フェス」開催となり、ポニー馬車スタンプウォーク出発地点の飾磨津物揚場赤レンガ塀付近には、小学生を含む約 40 人が集まり、「飾磨まち歩きマップ（歴史フィルタ付）」を配布しながら、飾磨津・銀の馬車道の話をし、参加者から「勉強になりました」との声を多く聞いた。飾磨橋東公民館では、「歴史講話」を開催、約 40 人を前に①銀の馬車道②飾磨津と日本遺産について、約１時間写真を交えて説明し好評を得た。メイン会場では、ポニー馬車到着時には境内を多くの方が埋め尽くし、イベントや物販でにぎわった。ここでも「飾磨まち歩きマップ（歴史フィルタ付）」を配布し、イベントの合間に、司会者や当会副代表が、マップ作成目的と使い方のポイントを説明し理解を得た。イベント前後を通して、「飾磨まち歩きマップ（歴史フィルタ）」を約 800 部配布することが出来た。このマップを片手に飾磨津を散策し、我が町の歴史と文化を学び、自分の言葉で情報発信して、地域活性化に繋げていってもらいたい。

■ 事業概要

１．ポニー馬車スタンプウォーク：飾磨津物揚場赤レンガ塀からポニー馬車と一緒に飾磨街道を北上し、途中橋東公民館を経由、メイン会場亀山本徳寺を終着点とするスタンプウォークする。
２．姫路市立橋東公民館にて、歴史講話を実施する。①銀の馬車道　②飾磨津と日本遺産
３．本徳寺特設ステージと境内にて、コーラスや紙芝居、フリーマーケットと沿線特産販売する。



■ 事業総括・感想

飾磨地区の皆様と手柄地区の会員が共に、楽しめた催事であったと思います。
次なる機会では、定着した地域コミュニティ活性化事業として発展していくものと希望します。

姫路おでんといえば〇〇！実現プロジェクト

実施団体　　特定非営利活動法人　コムサロン二十一
市の協働部署　　企画政策推進室、産業振興課

■ 事業の目的

ご当地グルメ「姫路おでん」を更に普及定着させてゆくために、食べ方の名物から、おでん店でも提供しやすい新たな魅力あるおでん種を市民からアンケートを集め、人気のおでん種を決定し、更にそのメニューを各お店でも提供していただき、観光客も楽しんでいただけるように、市民参加型プロジェクトで名物おでん種づくりに取り組んでいく。

■ 期待される効果又は達成目標

姫路市民の勧めおでん種として、アンケートを募集し、市民の姫路おでんに対する関心を、今一度高めることができた。また、決定したおでん種「かんべえレンコン棒」を市民が選んだお勧めおでん種として PR し、姫路おでん加盟店５店舗でも提供いただけるようになり、姫路の名物おでんダネとして基盤拡充、普及定着への取り組みに貢献できた。

■ 事業概要

しょうが醤油で食べるおでんがご当地グルメ「姫路おでん」として有名になったが、観光客にとっても魅力ある、姫路固有のおでん種を再発見し、具材の魅力でもPRできるようになれば姫路おでんの魅力も更に高めることができると取り組みました。市民に、自分がすすめる姫路のおでん種として、アンケートを集め、人気投票等によって市民に選ばれた具材をPRし、また、姫路おでんの加盟店でも取り扱っていただくことができるように呼びかけ、試食会を開催し、普及させていきます。決定したおでん種と取り扱い加盟店は、姫路おでんの公式サイトに掲載し、観光客のおでん店への誘導も図り、姫路の観光客へのサービスとおでん店の振興につなげていきます。

■ 事業総括・感想

「静岡おでんの黒はんぺん」、「沖縄おでんのテビチ（豚足）」など、有名ご当地おでんでは、おでんの具材でも、魅力あるものがあるなかで、姫路おでん市民が選んだお勧めおでん種「かんべえレンコン棒」として、PR できることは、姫路城の黒田官兵衛とともに相乗効果もあって実施意義がありました。



姫路城中曲輪バタフライガーデン創造事業

実施団体　　中曲輪バタフライガーデン創造実行委員会
市の協働部署　　観光推進課、学校指導課、白鷺小中学校

■ 事業の目的
姫路城中曲輪の南部エリアの白鷺小中学校やしらさぎの小径に蝶の生態観察ができるバタフライガーデンを設け、SNS 等で情報発信をする。
また中曲輪内の各所に食草ポイントを配置することで蝶の飛び交う空間を創造し、姫路城周辺にも蝶が飛び交うための仕掛けをつくる。

■ 期待される効果又は達成目標
姫路城中曲輪にある学校・諸団体・企業・行政・自治会の協働のもと地域が一体となって地域貢献を行う、姫路市初めての取り組みができたのではないかと思う。
また学校と協働することで若者たちの情報発信力を期待していきたい。

■ 事業概要
中曲輪内にある学校や諸団体・民間企業・行政機関等と協働し、食草ポイントのための植栽やプランターの設置をすることで、姫路城を中心に市蝶ジャコウアゲハの飛び交う空間を創造する。
各学校と協働することで若者の情報発信力を期待すると同時に将来の地域活性化の担い手としての意識をたかめてもらう。

■ 事業総括・感想
この度の補助金を活用して、姫路城中曲輪にある主な団体と協働して、ジャコウアゲハの食草ポイントを設けることができた。順調に食草が成長すれば来年の夏ごろには姫路城の周辺をジャコウアゲハが飛び交うものと思われる。
県立高校や私立高校にも設置することができたので、さらなる若者たちからの姫路城周辺の情報発信も期待したい。また生徒さんの学習教材としても活用していただけるとありがたい。
引き続き SNS の活用・看板の設置・観光案内所等を活用し定期的な情報発信を行い、さらに広く『姫路』と『市蝶』について知ってもらいたい。

非薬物療法を活かした「ストップ・ザ軽度認知障害」プロジェクト

実 施 団 体　　認知症予防教室一輪会
市の協働部署　　地域包括支援課

■　事業の目的

地域の小規模公民館や集会所に少しでも多くの地域高齢者に集まって頂き、出会いの場づくりと、社会参加に導き軽度認知障害（MCI）を予防するプログラムとして、楽しく遊びの要素を取り入れた学習療法・音楽療法（よみ・かき・ソロバン・音楽）により、認知機能を新たに刺激を与え、発症を少しでも遅らせようとすることを目的とする。名付けて「令和の寺子屋」

■ 期待される効果又は達成目標

本事業のプログラムは、非薬物療法として注目されている「学習療法と音楽療法」を、令和の寺子屋スタイルに企画。これを理解・実践・消化して頂く結果として、医療専門分野ではなく民間ボランティアのチカラで予防のための健康的行動として、積極的な社会参加の誘導につながり、地域住民のお互いの見守り効果も生まれ、我々の目指した「ストップ・ザ軽度認知障害」プロジェクトの意味するところは大であった。
今回の内容が知られ、来年度に３～５回シリーズでの「回想法スクール」の開講依頼が届いていまして、大変うれしく活動の励みとなっています。

■　事業概要

活動内容
各会場ともに、配布資料（読み・書き・計算）による学習療法
　　配布資料（歌集）と、キーボード生演奏による音楽療法
用意した小学低学年に対応したレベルの問題（難題だと取組に問題が生じるため）を５～７問提供の上、回答して頂こうとしました。音楽に関しては歌集（童謡・唱歌と昭和を思い出す歌謡曲）を参加者に配布の上、キーボードによる生演奏に楽しい時間を共有して頂こうとしました。今回も、音楽のコーナーを設けたのは、認知症予防、軽度認知障害予防には欠かせない重要で最適だとの考えからです。

■　事業総括・感想

年齢にかかわらず、認知症問題を他人事と考えず、それでも「私に限っては大丈夫。しかし将来が不安だ」。物忘れに関しては、圧倒的に「時々物忘れすることがある」。これらから、加齢から来る「物忘れ」より軽度認知障害（MCI）の入り口を意識する行動を日常生活で積極的に取り組んでほしい。アンケート最後の項目で「軽度認知障害（MCI）を機会があれば学びたい」との回答が、総数から 74.3%の高い数字から、これをキッカケにして、今後各地で認知症予防軽度認知障害予防をプログラム化した活動をやっていきたいです。
現に、市内外からは３～４回のスクールとして、３件の要望が届いています。

自由　　令和２年度

ワ　ン　あ　ぼ　し　プ　ロ　ジ　ェ　ク　ト

実 施 団 体　　NPO 法人あぼしまちコミュニケーション
市の協働部署　　観光推進課、文化財課、まちづくり指導課

■ 事業の目的

古来より揖保川や瀬戸内海の舟運と廻船業で栄え、「銀の馬車道」に匹敵する文化的価値を持っている町「網干」の魅力をホームページを通して発信します。
また、例年の「まちなかあるき」に加え、サブカルチャーイベントを定期的に開催することで、幅広い世代の人達に足を運んでもらい、西姫路エリアの活性化につなげることを目的とします。

■ 期待される効果又は達成目標

ホームページ開設準備期間中にあぼしまち交流館で開催されたイベントについては、SNS での告知を行ったり YouTube での動画配信を行い、網干に来られたことのない地域や若い世代の方にもお越しいただきました。
まちなみや風景も素晴らしく、何より触れ合った人たちが優しい方ばかりだったという嬉しい意見も頂きました。
事前に情報を開示していることで、商店街のお店への紹介もスムーズに行えたと思います。

■ 事業概要

「あぼし」のホームページを制作することで、世代や地域をこえた人達向けの発信を行います。
自治会を通した地域の情報やイベント情報も発信し、若い世代の方達に興味を持っていただけるように SNS を駆使した方法で、「網干」の魅力を伝えたいと思います。

■ 事業総括・感想

新型コロナ感染症対策の影響で当初の計画通り進みませんでしたが、各自治会長方々や「網干歴史ロマンの会」の皆さんのご助言やご協力を得ましてホームページを完成させることができました。
例年行われている「網干まちなかあるき」にサブカルイベントを同時開催し、コスプレの参加者が網干のまちなかを歩いたり写真撮影をするイベントでは、フェイスブックやインスタグラム、ツイッター等で告知や集客を行い、当日の様子を YouTube で動画配信するなど、SNS を駆使したことで今まで網干に来たことのない方や若い世代の人たちに来て頂く事が出来ました。
このホームページをより活用してもらうために、たくさんの人に携わっていただく内容を構築していきたいと考えております。

地域で取り組む国際交流・国際理解～共に生きるこころ豊かなふるさとをつくる力の醸成～

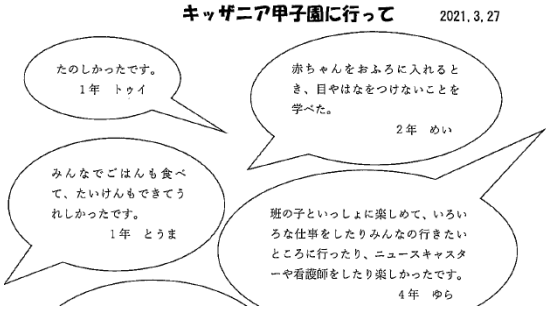
実施団体　　姫コアネット５
市の協働部署　　文化国際課、国際交流センター

■ 事業の目的
姫路市には、ベトナムなど外国にルーツを持つ子供達（以下、外国人の子供達）が多く在住している。中には日本の文化や習慣、人間関係などに溶け込めず、孤立し、自分の将来に希望が持てないなどの子供達がいる。その多くが、学習や進学、就職をはじめ生活の中で厳しい現実と向き合っている。
活動を重ねて分かってきたことがある。それは、彼らのアイデンティティの確立に最も重要なことは、自尊感情を高め、将来の夢に向かって努力し、自己実現を可能にする学力とキャリア形成に向けた情報と体験の獲得である。そこで、小学生、中・高校生の発達段階に応じた彼らのキャリア形成に係る具体的な支援活動を行う。

■　期待される効果又は達成目標
日本の未来を拓く外国人の子ども達のキャリア形成に係る課題を明らかにし、発達段階に応じた具体的な支援を行うことにより、彼らが自分の将来をあきらめることなく、夢や希望を見つけて自己実現をしようとする動機付けを促すとともに、親や家族及び地域社会の意識変革など、周りの環境づくりについても確かな成果を得た。

■　事業概要
本会は、外国人の子供達が身近な地域社会において逞しく生きていくため、自らの将来に夢と希望を持ち、逆境にも負けず、自らのキャリアを切り拓くため、次の支援活動を行った。
① 地元会社訪問（姫路に在住する外国人の中・高校生を対象）
② キッザニア甲子園仕事体験（姫路に在住する外国人の小学生を対象）

■ 事業総括・感想
姫路に住む外国籍の子供達が、自身の将来に夢と希望をもって自己実現を図ることができる具体的な支援が求められている。今回の成果から、姫路市は、民間やＮＰＯなどと連携を強化し、互いの文化やアイデンティティを尊重し、人と人、人と地域の繋がりを大切にしながら、身近な多様性を地域の豊かさに転換していく多文化共生の施策を、より一層、積極的に講じることが大事だと考える。



お互いさまのまちづくり（地域共生社会）

実施団体　　青山 1000 人会
市の協働部署　　地域包括支援課

■ 事業の目的
・認知症に関する住民理解度をアンケート調査し、課題を把握して次の活動に繋ぐ。
平成 28 年度と概ね同内容のアンケート調査をした。これまでの活動結果の効果を確認するとともに、地域で認知症の高齢者やその家族を考えるうえでの、課題を明らかにし、今後の地域づくりに役立てることとしたい。
・地域共生社会に向けて住民主体のまちづくりについて住民意識を高める。

■ 期待される効果又は達成目標
・認知症に関する理解度は、平成 28 年度から若干向上したが、今回の調査から住民の理解度をより高めることが必要である。
・「お互いさまのまちづくり」について理解度が向上した。地域のキーパーソンを発掘する。
・住民主体の事業を住民が主体的に活動するには、生活支援コーディネータとの関係を明確化して頂きたい。

■ 事業概要
・「認知症に関するアンケート調査」を 600 人に実施し前回調査と比較し課題を明らかにする。
・「お互いさまのまちづくり」活動をしているＡ地区をモデルに、活動プログラムや課題を参加者と共有し、各地区の福祉課題を考える機会とする。

■ 事業総括・感想
・新型コロナ禍で若干活動内容を変更したが、初期の目的は達成できた。
・認知症の理解度を高め「誰もが住み慣れた地域で一日も長く住める」地域づくりを目指し、今後も住民主体のまちづくりを推進していきたい。
・生活支援体制整備事業を関係機関が連携して住民に「見える化」して目標値を掲げて活動していただきたい。
・画期的な住民説明ではなく、地域特性を理解し福祉に強いキーパーソンを発掘する。

国際女性フェスタはりま 2021「災害と女性・子ども」

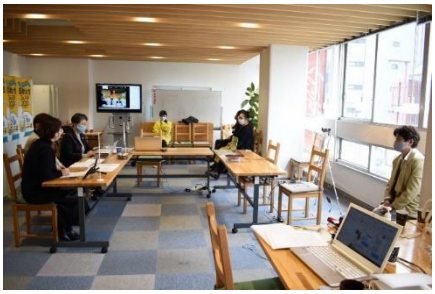
実 施 団 体　　国際女性フェスタはりま実行委員会
市の協働部署　　男女共同参画推進課

■ 事業の目的
女性が輝く社会の実現と、地域活性化を目指し、すべての女性が豊かな人生を送るべく、家庭のみならず職場でも女性の生き方を男女ともに考える機会を創出し、女性の活躍を推進する

■ 期待される効果又は達成目標
コロナ禍であるため、できるだけ啓発事業に力をオンラインで入れたのと、飲食店でのオリジナルメニュー展開を開催したところ、非常に好評であった。大手前通りのタペストリーも約１か月にわたり掲出できるなど、周知することができよかった。
オンラインセミナーにしたことで、東京からの参加者もあるなど、より多くの人に届いたのではないかと思う。



■ 事業概要
以下の２事業を実施した。
① 啓発事業
<1>大手前通りでのタペストリー掲出
大手前通りの該当へのタペストリー掲出を行った。
期間　２月２０日から３月２０日までの１カ月
枚数　８６枚
<2>飲食店でのオリジナルメニューの提供
当委員会の趣旨に賛同いただいた市内飲食店９店舗により、国際女性デーオリジナルメニューを開発、提供をいただいた。



②イベント
開催日　　２０２１年３月７日（土）１３時半から１５時半
場所　　コワーキングスペース電博堂
開催方法　ZOOM によるオンライン配信
参加者数　25 名
講師・コメンテーター　勝木洋子（姫路日ノ本女子短期大学　学長）
内容　実行委員会メンバーによるコロナ禍と女性たちの現状発表

■ 事業総括・感想
実施当初より、コロナ禍での開催についてはオンラインを想定していたが、実施よりも当日までの準備のほうが課題が多かった。オンライン会議では限界があることや、一人に事務負担が多くなることなど、運営にはかなりの戸惑いを感じた。

居　場　所　と　相　談　マ　ル　シ　ェ　事　業

実 施 団 体　　特定非営利活動法人コムサロン二十一
市の協働部署　　総合福祉会館

■ 事業の目的
姫路市において、ひきこもり状態にある方が必要とする支援機能とその運営のありかたについて、公民協働によるモデル事業の実施と効果の検証を通じて検討・研究を深めることを目的とする。
また検討会については、行政や関係機関、民間の支援関係者の参加のもと、ひきこもり状態にある当事者やそのご家族等に対する公的支援の在り方を検討することを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標
姫路市及び周辺自治体に居住するひきこもり状態の方の困りごとが支援に繋がるように、公民協働による実践により、行政サービスと地域福祉をトータルに見た支援の形成が期待できる。

■ 事業概要
ひきこもり状態の方や無業者が一歩踏み出し社会へ繋げる就労支援は、ハローワークやひめじ仕事支援センター、くらしと仕事の相談窓口、ひめじ若者サポートステーションなど、当事者の状態に応じた支援体制の構築が図られてきた。その一方で、ひきこもり状態や無業状態から脱出し、何かしなければいけないと思いつつ気力体力が乏しい方にとって、就労支援ではハードルが高くなかなか次の一歩が踏み出せない方も存在する。
ひきこもり状態にある方の支援の現状は、保健師やひきこもり相談支援センター播磨ブランチによる訪問支援等によって社会との繋がりはあるが、個別支援から集団支援への移行となる次のステップが社会的に不足しており、就労支援の一歩を踏み出す場ではなく、半歩を踏み出せる居場所のような機能が求められていると考える。したがって、本事業を通じて、①ひきこもり支援検討会議、②居場所の試行、③関係機関のネットワーク構築を実施し、姫路市として令和３年度に向けた「ひきこもり支援のあり方」について、公民が協働し検討を行う。

■ 事業総括・感想
平成 30 年度より本事業の助成を受け、行政と民間の協働によるネットワーク会議の開催を行ってきました。令和２年度はひきこもり状態や無業状態の方の外出先として、居場所の提供を試行的に実施しました。
これまで「就労」を目的とする場の提供は国や姫路市の委託を受けて実施してきましたが、就労を目的としない場の提供は初めての試みかと思います。保健、福祉、障害、労働等の狭間で悩みを抱えておられるいわゆるグレーゾーンの方が居場所に参加して頂き、これまで行政サービス・支援の手が行き届きにくかった方へサービス提供できたことは大きな意義があったと思います。そして、本事業を通じて、令和３年度より新規事業としてひきこもり状態の方へ居場所支援事業を、行政として実施していたくことも決定し、姫路市提案型協働事業の目的に合致する取り組みができたと思

っています。
ネットワーク構築に関しても意義ある取組ができました。コロナ禍の中、姫路市保健所健康課、兵庫県精神保健福祉センターの保健師に感染症対策を指導して頂くと共に、オンラインとオフラインの同時並行でイベント（相談マルシェ）を開催し、100 名以上の方にご参加頂きました。また、相談マルシェは、姫路市内及び播磨圏域の相談支援従事者へも参加を呼びかけました。民生委員も含む市内相談支援従事者には、総合福祉会館が姫路市の相談機関の中枢として認識を強めて頂くと共に、市内の相談支援機関がどのような取組をしているのか知って頂く機会になったのではないかと思います。播磨圏域の方には、姫路の取組みを見て頂く事で、不登校やひきこもり、無業状態の方の支援の在り方の 1 つとして、各自治体で取り組む参考になることも期待しています。
これら姫路市の取組みは市内だけではなく、周辺自治体への支援にも繋がります。姫路市と播磨圏域を支えていく取組みとして、今後も連携と協働をお願いしつつ、私達も積極的に活動していく所存です。

シェフたちのオーケストラ～食と市民の交響曲～

実 施 団 体　　一般社団法人　日本医食促進協会
市の協働部署　　観光推進課

■ 事業の目的

音楽祭に集まったミュージシャンや市民が交流する中で、地域のシェフが「ひめじ弁当」を提供。なかでも最近疲れやすいと感じる人たちに食べてもらって、メディシェフレシピ（地産地消と医食同源をテーマとした食事）を体験してもらいます。そして、動画での情報配信を通じて、姫路の食文化を「ひめじの豊かさや健康な生活」に結びつけて、魅力あるひめじ地域を発信していきます。

■ 期待される効果又は達成目標

参加者が姫路の豊かな食文化に興味を持ち、食に関わる人や地域の食材、オリジナル料理を提供する飲食店にも愛着を持つようになった。合わせてイベントを支援する仲間たちのつながりや、食に対する発信力が強化されることで、姫路の活性化が進んだ。

■ 事業概要

①グルメマップ作成（姫路市内）
②姫路オードブル（点心）の製造（18 店舗協働）
③食育講座の配信（地域内、食育関連団体とも連携 YouTube）

■ 事業総括・感想

音楽でココロを！！食でカラダを健康に！！というスローガンで、コロナ禍にも関わらず、当初事業をやり抜いた経験は大きい。特に 18 店舗のシェフが主体的に関わったことで、フードビジネスを盛り上げるイベントでもあった。
今回のノウハウをこれからの姫路の賑わいづくりにつなげたい。



パ ラ ス ポ ー ツ フ ェ ス は り ま ２ ０ ２ ０

実 施 団 体　　パラスポーツフェスはりま実行委員会
市の協働部署　　スポーツ振興室

■ 事業の目的
障害者の運動促進と生きがい、やりがいづくり、またパラリンピックに向けての障害者スポーツの普及活動としても場を提供していく。

■ 期待される効果又は達成目標
障害者スポーツをとおして障害当事者のやりがいや生きがいづくりのサポートができた。
また学生ボランティアや健常者の方にも障害者スポーツの楽しさを伝えることができたと思います。

■ 事業概要
障害者スポーツであるボッチャやフライングディスクの周知を目的として姫路市内で体験会を行い、10 月にはパラスポーツフェスはりま２０２０という大きなイベントを開催しました。（参加人数≒150 人）

■ 事業総括・感想
コロナ禍にありながらも万全の対策のもと各大学、障がい者福祉施設が集まる事ができました。例年にない書家パフォーマンスやダンス、音楽といった新たな取り組みも導入できた事は来年度以降への可能性につながっていくと思います。
普段コミュニケーションが苦手な方もボッチャ体験を通じて違う顔をみる事ができました。（本大会）
交流の手段として、新たな可能性を見出せました。（体験会）



自由　　令和２年度

子育て真っ最中のママ達による『エクスチェンジ』プロジェクト

実 施 団 体　　はこミュニティ
市の協働部署　　こども支援課、こども家庭総合相談室

■ 事業の目的

『エクスチェンジ』で、ママを「つなぐ」
①母親同士が定期的に集まれるきっかけづくり
安心して子育てができる心のつながり＆環境づくり
⇒「ママ」と「人・情報・モノ・コミュニティ」をつなぐ
②産後鬱、児童虐待、ネグレクトの兆候を早期発見し、行政機関及び関係機関へつなぐ

■ 期待される効果又は達成目標

「つながるおしゃべりカフェ」では、小さな子どもを育てている母親が、子育て中の母親同士や、先輩の母親とたくさん話をすることができ、喜んでいただけた。
2021 年３月、最後に行った「エクスチェンジフェスティバル」では、子ども用品のかえっこは素晴らしいイベントなので今後もぜひ開催してほしいという声を多くいただけた。２回行った「かえっこマルシェ」も含め、延べ 358 名の方が参加・スタッフとして関与していただき、参加者の満足度もスタッフの満足度も非常に高かった。
たくさんの不要になったこども用品が次に必要な人の手元に渡り、喜ばれた。イベント後、残った子ども用品はリサイクルショップへ持っていき、売上金 2,463 円を“フードバンクはりま”さんへ寄付し、少額ではあるが困っている方の助けにすることができた。

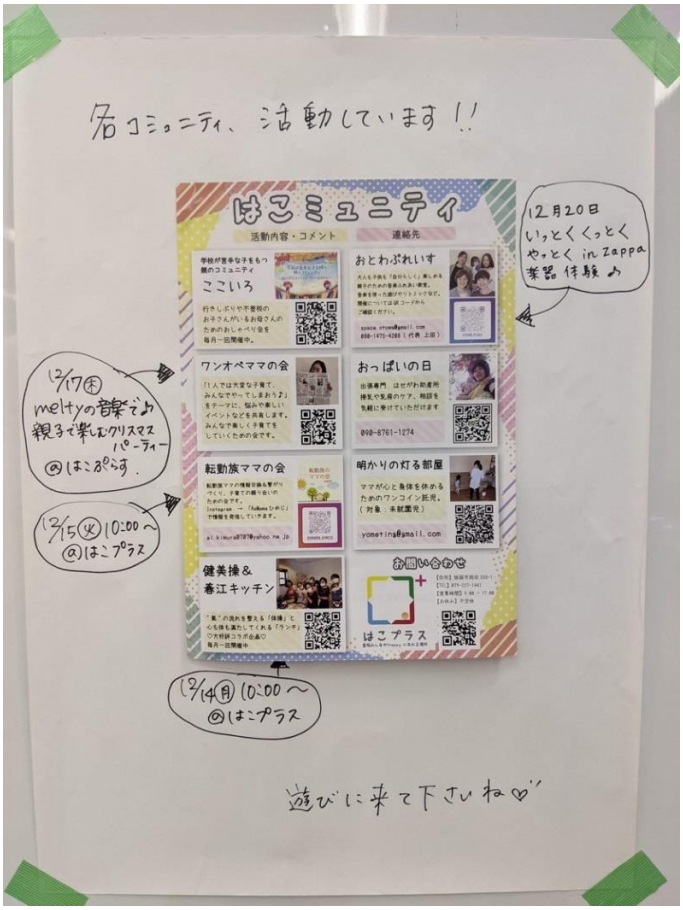
■ 事業概要

①つながるおしゃべりカフェ（子育て情報交換会）
　毎月、子育て中の親が集まり、人や情報とつながるきっかけを作る
②かえっこマルシェ
　使わなくなった子供服やおもちゃ、絵本を次に必要としている人につなぐ
③エクスチェンジフェスティバル
　つながるおしゃべりカフェと、かえっこマルシェを同時に行う
　助産師・FP のブースも作り、専門家とつながるきっかけを作る

■ 事業総括・感想

新型コロナウィルスの影響で、積極的にイベントの集客ができなかったことや、開催自体が中止になった回もあったことが残念であった。しかし、少人数での開催だったからこそ、スタッフと参加者で子育ての話（情報交換）をしっかりすることができ、高い満足度につながったと感じている。子ども用品の交換会は、多くの方から次回を望む声をいただいたので、需要が高いイベントであることがわかった。小さな子がいて子育てをしながらのイベント準備・開催は大変であったが、子育てが落ち着いた世代の方や、大学生などにスタッフとして手伝ってもらいながら成功させることができた。スタッフの子どもにも“こどもスタッフ”として手伝ってもらい、地域の幅広い世代での交流にもなった。

私たちのような無名の団体が、多くの方に届き、満足していただけるイベントを開催できたのは、姫路市との協働事業であったから。協働していただき、感謝しております。





もっと知りたい　いろんな仕事

実施団体　　ライフスパイス
市の協働部署　　労働政策課

■ 事業の目的
私たちは「ジョブ＝仕事/人生の役割」を軸に、「姫路っておもしろい」「世界っておもしろい」を掲げながら、さまざまなローカル＆グローバルな学びと交流を仕掛けてゆきたいと考えました。
様々なオトナ（職業人）から話を聞き、対話することで、自分にとっての「ジョブ」の「タネ」を見つけるための企画です。

■ 期待される効果又は達成目標
高校生対象だったが興味のある中学生、大学生から申し込みがあり受け付けた。結局、この年齢差がとても効果的で「いろんな年代の喋る人と出会えて面白かった」「いろんなシゴトのことを身近に聞けて刺激的だった」「次回も参加したい」と声をいただいた。

■ 事業概要
高校生に職業人とカジュアルな対話の場を設けることで、様々な人生のジョブのタネを提供するための取り組み。

■ 事業総括・感想
今回は高校生対象で企画、募集をしてきたが反響が大学生や社会人の方が多かった。今後は中高生向け及び大学生以上でも企画を進めようと思う。



STAY LOCAL～地域のレジリエンスを高める「城の西　みらい構想」実現事業

実 施 団 体　　城の西エリアマネジメント準備会
市の協働部署　　公園部、産業振興課、市民活動推進課

■ 事業の目的

過度の都心依存を改め、地域が自立して住民が暮らしていける半径 1 ㎞のまちづくり STAY LOCAL をめざし、〈城の西〉エリアをそのモデル地域として、社会・環境・経済のエコシステムの確立をはかる。地域の経済循環をまわすための既存資源の掘り起こしと小商いのスタートアップ、公園・広場、公民館など公共空間を社会包摂の場として再定義し、暮らしの場としての自然環境の再生や休眠空間の活用をはかる。

■ 期待される効果又は達成目標

コロナ禍が収まることなく一年が過ぎた。その中でできる STAY LOCAL モデル地域として、デジタルトランスフォーメーションを活用し、城の西とゆかりがあるが、城の西まで行くのが遠いという人にも情報を届けるチャンスが広がり、新たな情報配信方法の選択肢を増やした一年となった。感染予防という理由で人と人とのふれあいが減る中、人の温度を感じられる情報配信は人を優しくし、人の暮らしを豊かにするものであることを再確認した。

■ 事業概要

（１）「経済のエコシステム×「LIFE くらし」」：
　①「城の西　ウォーキング」の実施・「城の西まぐま」・ローカルマルシェ開催・聞き書き
　②若い人たちが〈城の西〉で商売を小さく始めるスタートアップ支援
（２）「環境エコシステム×「LIFE 命」」：
　①循環のあるエディブルパークづくりの実施
　②「船場川のひみつを探れ」の実施、
　　「川遊びガイドブック」の制作・オンライン配布
　③「三浦豊さんと歩く城の西」の継続実施と
　　「ガイドブック」の作成・オンライン配布
（３）「社会エコシステム×「LIFE 一生」」：
　①「城の西フォーラム　オンライン」の実施



■ 事業総括・感想

地方へ人が動き、オンラインでテレワークをする時代となり、受け入れる地方がブラッシュアップしていく必要があるという気づきがあった。例えば、自治会の行事ごとにしても、例年通りのやり方には限界があり、コロナをきっかけにして、ゼロベースで考えなおすチャンスの年であり、縦のつながりから、横のつながりになるように、地域と協力していく必要性をますます感じられる一年となった。

ふるさとマップを描く―昭和の記憶を残す―

実 施 団 体　　香寺歴史研究会
市の協働部署　　企画政策推進室

■ 事業の目的

『香寺町史　村の記憶』に書かれた、暮らしの舞台となった村の姿を目に見える形で描くことで、暮らしの移り変わりをより生き生きと理解することができる。ことに村の原風景ともいえる昭和30年代の村の姿を目に見える形で残すことは、次の世代の人たちへの地域歴史遺産の継承となり、これからの地域づくりを考える資料ともなる。

■ 期待される効果又は達成目標

１．展示会を開いて、マップで地域の歴史を伝えることの楽しさと意義を広く伝えることができた。
２．忘れられようとしていたふるさとの原風景を記録にとどめることができた。
３．『香寺ふるさとマップ集』にまとめることで、後世に残せる資料となった。

■ 事業概要

１．各地区でかつての村の姿を回想記や座談会、聞き取りなどで蘇らせる。
２．分かったことを、地図上に具体的に、分かりやすく記入したふるさとマップを作成する。
３．作成された全地区のふるさとマップを図書館ギャラリーで公開する。
４．作成されたマップを『香寺ふるさとマップ集』として発行する。

■ 事業総括・感想

ここ数十年で地域の生業も暮らしもそして景観も大きく変貌した。マップ作成は作成者にとっては懐かしい時代を思い返す楽しい作業でもあったが、一方、これは消え去ったもの、失ったものを考えさせられる機会でもあった。ふるさとマップが我々世代の生きたあかしとなり、後世への遺産ともなればと思っている。

子供達、高齢者、市民で作ろうおんがくのまち「ほのぼのさんと歌で繋がろう！コロナに負けないぞ！」

実 施 団 体　　ほのぼのさん
市の協働部署　　文化国際課

■ 事業の目的

未来を担う子供達に、音楽を通して、高齢者、市民の皆さんと言った多世代交流、達成する喜び、創り上げる喜びを感じてもらい、音楽、芸術を好きになってもらい、また多世代の交流の場を設け、音楽をツールとして繋がる世界を体感してもらうことを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標

世代の市民の皆さんと一緒に一つの作品を作り上げ、目標を持って芸術に取り組み、成果を発表することは、あらゆる世代と結びつき、子供達が音楽や芸術を好きになるきっかけとなり、「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトの目指す「地域の文化力の向上、交流機会の創出、次世代を担う子供達の育成」にも繋がると考える。

■ 事業概要

2020 年 10 月～　企画内容の細かい打ち合わせ
　　11 月～　募集チラシの作成、配布
　　11 月末　募集チラシ 50,000 枚を作成し、姫路市内の小学生に募集
　　（市役所より各小学校、公民館、児童館、広報ひめじなどへ）
　　11 月末　姫路市の各小学校へ配布
　　12 月　神戸新聞社の新聞記事
　　12 月中旬　参加者募集締め切り　→　20 名応募　　姫路市音楽演劇練習所
　　12 月 13 日　オーディション　→　15 名に絞る　　姫路市音楽演劇練習所
2021 年 1 月 17 日　顔合わせ、初練習　　姫路市音楽演劇練習所
　　１月 24 日、2月７日、2月２１日　歌練習
　　１月 31 日、2月１４日　オンラインレッスン
　　２月 28 日　リハーサル
　　３月 7 日　CD 録音、動画撮影
　　３月 13 日　リハーサル
　　３月 14 日　姫路駅前にぎわい広場にて　お披露目ステージ



■ 事業総括・感想

コロナの中での開催ではありましたが、子供も大人も音楽を通じ、楽しめたと考えています。
そして、また次もやりたいという気持ちを持てたことは、大いなる成果と考えます。
次回は、今回、情勢がコロナのため出来なかった、高齢者、体の不自由な方々とも音楽を通じた交流ができることを希望します。

音楽で楽しく健康のつどい（地域社会のための音楽）

実 施 団 体　　comodo 姫
市の協働部署　　文化国際課

■ 事業の目的

広く一般市民（年齢性別障がいの有無を問わない）を対象とした音楽に触れる機会の創出。ただ演奏を聞くのではなく、実際に体験すること（演奏をすること）で、音楽というツールを通しての地域交流、またそれぞれの心の健康・体の健康を育むことを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標

オンライン、リアル参加合計で６４家族１８３名の方にご参加いただきました。
新型コロナウイルスの影響で、イベント自体が中止となっていることも多く、子どもたちが外に出る機会が大きく減少していることや、家族で楽しみたいという理由から参加申し込みをしたということを参加者の方からよくお聞きしました。（家族単位でのご参加が大半でした）地域交流機会の創出という点においては、達成することが難しかったと感じていますが、心身の健康を音楽で育むという点においては達成できたと思います。

■ 事業概要

全６回のイベントを実施。
ドラムサークル・音楽体操・即興音楽会を各２回ずつ開催。
理学療法・音楽療法の専門家を講師として迎え、専門的な内容を交えながら、音楽を楽しむ。

■ 事業総括・感想

今回は初めて補助金をいただいて事業を実施しました。事業開始当初、予想以上に申し込みが多く、コロナ禍での外出自粛などが、子どもにとっても親にとっても大きな負担になっているのだと感じました。音楽を通じて自己表現を行うことで、ストレス軽減や心と体の健康の一助となっていればと思います。



第１回ストリートダンス&バンドマンコラボレーションー第４回姫音祭（姫路ミュージック&ダンスフェス）ー

実 施 団 体　　ひめじあかり実行委員会
市の協働部署　　文化国際課

■　事業の目的

世界的にも注目が集まるダンス分野で、日本に先駆けてインターネットの世界での配信力を強化する。そのことで、姫路エリアでのダンス人気を活性化し、子どもを中心とした発表の場を増やす。同時に開催される音楽イベントに出演するバンドマンと連携することで可能となり、相互にまちのにぎわいづくりに貢献することができる。姫音祭では、普段は市民があまり利用していないような、姫路の街中の色々なステージで、音楽やダンスが発表できる機会を作る。合わせて、市民が音楽を聴き、ダンスを観る機会にもする。そのことで、姫路市でも「いつかは音楽の日が制定できるぐらい！！」に、多くの市民や来姫者を巻き込み、姫路のまちを盛り上げ、楽しみ、そして出演者を応援する。

■ 期待される効果又は達成目標

コロナ禍だったが、継続事業として来場者を迎えてのライブと、ケーブルテレビとも連携した配信事業との複合で安全に開催することができた。出演者・観客数とも昨年の第３回を上回る大盛況だった。ストリートダンスなどは様々な権利関係から、配信事業に難しさがあるが、特筆すべきとして、ケーブルテレビや生演奏と連携することで、好きな曲で踊ったパフォーマンスをオンライン配信することができた。また、ピアノ部門では、３年連続で人気ユーチューバー「よみぃ」の出演により、よみぃチャンネルを始めとした、主催団体以外の SNS へも積極的に拡散され、全国へ姫音祭、また「音楽のまち・ひめじ」事業の認知度向上により寄与する結果となった。

■ 事業概要

・大手前公園に城とバンドマンをバックにしたステージを設営する。オペラさながら、生演奏でストリートダンスを披露する。
※姫音祭などでは、他に JR 姫路駅北交流広場、城見台公園、あいめっせホール、イーグレ姫路などにステージを設置しライブ演奏を行う。ステージ以外にもディスプレイを設置し、他のステージの演奏をリアルタイムで視聴できるようにする。
・ライブ映像の視聴回数と、審査員によるコンテストを行う。
・他団体とも連携し、姫路城周辺の回遊性を高める。スタンプラリーを実施する。
・行政との提案型協働事業とすることで継続性を高めるとともに、将来的には姫路市、姫路市文化国際交流財団などの年間予定に組み込まれるような事業としたい。
・同日開催の他団体主催音楽イベントだけではなく、食のイベントなどともコラボレーションする。
・雨天時には、イーグレ姫路のあいめっせホールでのイベントと協働する。

■ 事業総括・感想

街をステージとすることで、音楽・ダンスの発表の機会を設け、更に多くの市民の目に触れやすくするという当初の目的は大いに達成されたと考えられる。事後の反響も想定を超える大きな手応えが、特にケーブルテレビでの放送を含めた、オンラインで強く感じられた。今後も、公共空間利用と街の回遊性を意識しながら、まちの賑わいづくりに寄与したい。

しかし毎年の継続事業として捉えると行政との連携のみならず、市民主体の実行委員会としての継続的な組織運営体制の確立が急務である。ひいては観光政策との両輪で考えられるような将来的なビジョンの策定まで含めて、実行委員会で担えるようになることが理想である。



島民自身が計画する、目指す島の将来像

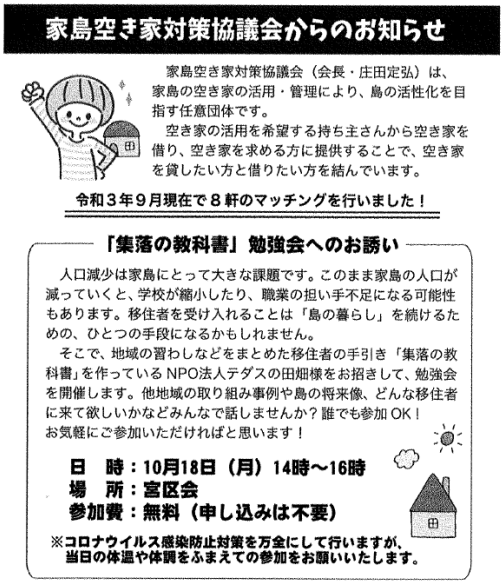
実施団体　　家島空き家対策協議会
市の協働部署　　地方創生室、住宅課

■ 事業の目的
当会の活動の成果として、島への移住者も増えてきた。
島に住む住民自らが、島のあるべき将来像について考え、整理し、計画する。
島の目指すべき将来像を明確にすることにより、移住者の受入れ計画の指針となる。

■ 期待される効果又は達成目標
島の目指すべき将来像として『島民による地域活動が活発になることで、「暮らしたい」「暮らしやすい」「誇りを持った人が多い」家島となる』となった。
また、そのための手段として、次年度以降につながるテーマをもって様々なプロジェクトに取り組んでいくこととなった。

■ 事業概要
講師を招いて、島の現状・他地域での取り組みについて話を聞き、今後家島で考えていくべき内容について示唆を頂き、島内住民ワークショップのテーマとする。
島内住民ワークショップを通して、島の目指すべき将来像を明確にする。

■ 事業総括・感想
島内の誰でもが参加可能な開かれたワークショップを開催することは準備・実施において大変なハードルであったが無事に複数回実施することができた。
まだまだ目指すべき家島像に到達するには、地域活動における島民の熟練度を要するが、地道な取り組みを続けていくことでしか道は拓かれないと信じて、一歩ずつできるところから取り組んでいく。



地域で取り組む国際理解と多文化共生～共に生きる「ふるさと姫路」を創る力の醸成～

実 施 団 体　　姫コアネット５
市の協働部署　　文化国際課（国際交流センター）

■ 事業の目的
姫路市には、外国にルーツがある子供達（以下、外国籍の子供達）が多く在住している。平成 27 年に本会を立ち上げ、「遊び」を通して国際交流・国際理解の活動に取り組んできた。しかし、活動を続けていく中で、外国籍の子供達の中には文化や言葉の壁だけではなく、地域社会に溶け込めず、同郷の限られた人間関係の中で不安や悩みを抱えて生活など、様々な厳しい現実があることが分かった。そこで、活動の在り方を国際交流・国際理解に留まらず、お互いの文化やアイデンティティを尊重した人と人との繋がりを大切にし、地域の大人や外国人の保護者も巻き込んで身近な国際社会の多様性を地域の豊かさに転換していく「仲間づくり」「地域づくり」に繋がる取組の充実・深化を図りたい。

■ 期待される効果又は達成目標
コロナの影響により事業が中止・縮小・変更することがあったが、実施できた２事業において、それぞれの子供達のアイデンティティの確立と姫路へのふるさと意識を高める当初の目的が達成できたと思う。また、地域の大人や外国籍の保護者の協力を得る機会が多くあり、活動を通して、地域における「国際理解・国際交流」の機運や多文化共生への意識変革を促したと思う。

■ 事業概要
城東町総合センターを拠点に、地元の子供達及び外国籍の子供達が多く居住する地域を中心に次の４つの事業を試みた。
①思いっきり遊ぼう「DAY キャンプ」～多文化でエンジョイ JOTO 夏祭り～
②ふるさと「ひめじ」ウォークラリー　　③わいわいクリスマス会
④ワクワク雪遊び in 大屋
７月から 10 回のスタッフ会議を重ね、年間計画及び各事業の内容等を協議した。しかし、新型コロナがまん延した状況下、４事業のうち　② ふるさと「ひめじ」ウォークラリー ③ わいわいクリスマス会は実施できたが、① 思いっきり遊ぼう「DAY キャンプ」～多文化でエンジョイ JOTO 夏祭り～ ④ ワクワク雪遊び in 大屋 を中止せざるを得なかった。

■ 事業総括・感想
事業の中止・縮小・変更が残念であったが、プログラムの企画・運営について十分な検討や改善が加えられたことの成果は大きい。姫路において、またこれからの社会情勢において、地域で取り組む「国際理解」と「多文化共生」の課題解決がより重要になってくると考える。
今後、私たちの活動のノウハウを広げていくため、機会をとらえて広報・発表を行っていきたい。

国　際　女　性　フ　ェ　ス　タ　は　り　ま　２　０　２　２

実 施 団 体　　国際女性フェスタはりま実行委員会
市の協働部署　　男女共同参画推進課

■ 事業の目的
女性が輝く社会の実現と、地域活性化を目指し、すべての女性が豊かな人生を送るべく、家庭のみならず職場でも女性の生き方を男女ともに考える機会を創出し、女性の活躍を推進する。

■ 期待される効果又は達成目標
仕事をしたくても離職をせざるを得ない子育て中の女性や、ダブルワークの働き方の必要性、それらの制度を変える場（議場）に女性など、女性にとって重要な課題を考える場になった。

■ 事業概要
昨年度に引き続き、国際女性デーイベントの４回目の開催。
新型コロナウィルスで「まん防」が延長されたが、感染対策を万全に行い、150 名定員の部屋で 50 名定員のイベントとオンライン配信のハイブリッドでセミナーを行った。
普及啓発事業では、飲食店で国際女性デーのテーマカラーの「ミモザ色」メニューを提供していただいたところ今年は 21 店舗が参加した。大手前通りのタペストリーのほか、アクリエひめじもミモザ色にライトアップされるなど、確実に知名度は上がっていると感じた。引き続き、地道ながらも活動を続け、SDGs とも併せて意識の向上に努めたい。

①啓発事業
‹1›大手前通りでのタペストリー掲出
大手前通りの該当へのタペストリー掲出を行った。
期間　３月１日から３月 15 日までの１カ月
枚数　８６枚

‹2›アクリエひめじでのライトアップ
ミモザカラーライトアップアクリエひめじの外観をミモザカラーでライトアップを実施した。
期間　３月６日から８日

‹3›飲食店でのオリジナルメニューの提供
当委員会の趣旨に賛同いただいた市内飲食店 21 店舗により、国際女性デーオリジナルメニューを開発、提供をいただいた。

‹4›イベント
開催日　　2022 年３月６日（日）13 時から 16 時半

場所　　ビズスペース姫路〈姫路市本町 127 番地 ダイネンビルⅡ〉
参加者数　参加者 42 名　参加者 32 名　実行委員会 10 名
基調講演　上田理恵子さん〈株式会社マザーネット〉
分科会　　「仕事と子育て」「ダブルワーク」など、昨今の働き方をテーマに 5 つの分科会を作りセッションを行った。

■ 事業総括・感想

・コロナ禍での開催は、会議の日程調整にも苦労があった。イベント実施も計画から変更をせざるを得ない。これらの変更について柔軟な対応を願いたい。
・経費支払いについて、カード払いなどは一律 2%カットを要綱などで事前に告知していただきたい。ポイント付加されるためにその分を差し引くという考え方は理解できるが、「一律で 2%」の判断基準が理解しかねる。





住まいと暮らし―その変化をたどる―

実施団体　　香寺歴史研究会
市の協働部署　　企画政策室

■ 事業の目的

昨年度まとめた『ふるさとマップ集』に描かれた村人の住まいと暮らしの様子をなんとか記録に残せないかと考えた。昭和３０年代はまだ戦前の農家の住まいと暮らしが色濃く残っていたが、一方高度経済成長の波を受けて社会も暮らしも大きな転換期を迎えようとしていた。こうした時期の記録を残すことは、次の世代の人たちへ地域社会の変動と暮らしの変化を伝えることとなり、これからの地域づくりを考える資料ともなると考えている。

■ 期待される効果又は達成目標

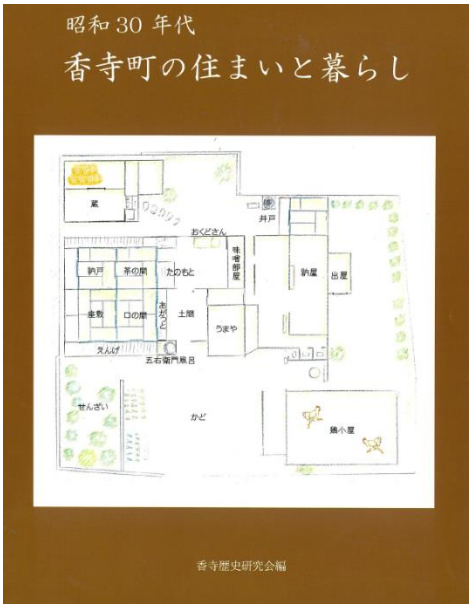
１．暮らしが地域社会と結び付いていることが確認できた。
２．忘れられようとしていた住まいと暮らしの原風景を記録にとどめることができた。
３.『昭和 30 年代　香寺町のふるさとマップ集』にまとめることで、後世に残せる資料となった。

■ 事業概要

１．各地区で家のかたちとその変化を聞き取りと観察で明らかにした。
２．かつての間取りや屋敷の様子を復元し、見て分かるように「間取り図」「屋敷図」として表現した。
３．聞き取りと回想をまとめた『香寺町　昭和３０年代住まいと暮らし』を発行する。

■ 事業総括・感想

ここ数十年で地域の生業も暮らしもそして景観も大きく変貌した。住まいと暮らしの変化は最も身近な歴史である。われわれ世代は快適で住みよい暮らしをひたすら求めてきたが、大事なものも捨て去ってきたのではないかということを恐れている。



ジョブタネ２０２１　まちのシゴト、まちのオトナを●●スル（仮称）

実 施 団 体　　ライフスパイス
市の協働部署　　労働政策課

■ 事業の目的
ジョブタネは「ジョブ＝仕事/人生の役割」を軸にした学生＆若者対象キャリア教育プログラムです。「いつか自分のタイミングで芽が出るシゴトのたね」を提供することで人材育成とそれに伴う地域活性化を目指します。

■ 期待される効果又は達成目標
【世代間交流】
前回の気づきを生かし、対象を高校生と大学生に変更。また今回のテーマである「ローカル×仕事」に沿った登壇者にお話をしていただけたことによって、職業としての気づきだけでなく地域への気づきになったと参加者から声をいただいた。
【長野県へ派生】
ジャブタネ！のプログラムがとても面白いと、長野県のゲストハウス 1166 バックパッカーズにおいても 12 月から開催している。姫路市での事業がこのように他府県に派生するのは価値があると感じる。

■ 事業概要
高校生と大学生を対象に、姫路で活躍する職業人、また地域で仕事を作ると言うキーワードに活動をされている職業人とカジュアルな対話の場を設けることで、様々な人生のジョブのタネを提供するための取り組みです。
セミナー＆交流会方式で３回実施
10月「会社で働く？起業する？」会社員×学生起業家
11月「ジョブチェンジ！」靴職人×姫路市議会議員
12月「地域で働く」プロデューサー農家×コーヒー店店主（元イルカトレーナー）

■ 事業総括・感想
【今回のテーマ】今回のテーマは「ローカル×仕事」
自分の住む地域で、どんな仕事があり、どんな大人が働き、どんな生き方をしているのか。
シゴトの話だけでなく、そのオトナたちがどう人生に迷ってきてどんな選択肢をしたか。
自分の家族だけではない所のオトナと出会うことで選択肢を広げ、自分のシゴトを考える機会にしてもらうために企画しました。対面での「シゴト」軸を通じたキャリア教育イベントです。

【事業の成果】
①地域の人の顔が見えた
普段の生活では出会わない、また話を聞くことがない人たちとの出会い。それはシゴトという切り

口でもあり、また人生との出会い、そして自分が暮らしている地域への新しい気づきでもあったと感想をもらいました。
②対面での繋がりの貴重さ
コロナの影響化でずっとオンラインで過ごしてきた学生さんにとって、対面でオトナや同世代に会えたことは、何より貴重だったようです。１回目などは特に涙目になって感想を言ってきてくれる学生さんがいました。「ずっと、ずっとオンラインで誰とも喋ってなくて、それがこんな形でオモシロイ大人にあえて、同世代の人ともあえて、来てよかった。」と。運営サイドが思っている以上に、「対面」の価値があったようです。同時に地域の人に「次会いに行きます」「店に行きます」と言っていたのがよかったです。

【大学生のカ】
兵庫県立大学の学生さんが自主的に参加をしてくれスタッフとして加わったことにより告知、運営が強化された。また同時に高校生にとって「少し先輩な人たち」がいることによって交流会で高校生の心のケアができたり刺激にもなってプログラムが良いものになったと思います。

【事業が難しかった点＆反省点】
告知が難しかったです。チラシ配布に関してはリビングで折り込みチラシを 7,000 部、大学や高校での広報、大手前通り、商店街でのビラ配り、ゼミなどでの広報、また労働政策課様より後援名義をいただけたので、姫路市の関連施設に置いていただけましたので学生の自習施設などで広報活動をしました。ただ、労力に比べて集客が芳しくなかったです。口コミでつないでいくほうがよかったですが、今後の反省として（学生からの最終意見としても同じですが）シゴト軸というとハードルが高いのでシゴト軸は裏テーマとしてありつつもおもて面では交流を切り口にした方が良さそうと感じる。

【今回の気づきからの改善】
学生が「ずっと聞き続けるというより、これを生かして自分が何かをする、ということが大事。僕は自分の活動を一度やってみたいと思う」と自分の思い描くプロジェクトと言ってきてくれた学生もいました。小さく、継続することが本当に必要だと感じました。

【他府県への派生】
取り組みを SNS で告知をしていたところ、ゲストハウス界では有名な長野県 1166 バックパッカーズから「ジョブタネを長野でやってみたい」と打診があった。
取り組みの根幹に共感していただいたらしく、長野は長野スタイルで始まりました。
とても嬉しいムーブメントが姫路からできたのが嬉しく感じています。





みんなで作ろう！！「歌のサプリメント」コロナ編

実 施 団 体　　ほのぼのさん
市の協働部署　　文化国際課

■ 事業の目的

未来を担う子供達に、音楽を通して達成する喜び、作り上げる喜びを感じてもらい、子供達を中心に、企画から歌を作り上げ、発表していく過程を経験することで、一つのものを作り上げていく楽しさ、大変さ、協調、協力することの大切さを学ぶ。自分たちで作り上げたものを発表し、やり遂げることで、一体感、充実感を知る。子供達の作った元気のサプリメントで市民も元気になる。

■ 期待される効果又は達成目標

子供達が、自分たちの言葉で歌詞を考え、一つの作品を作り上げ、目標を持って芸術に取り組み、成果を発表することは、未来を担う子供達が、自主性を持ち、音楽や芸術を好きになるきっかけとなり、「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトの目指す「地域の文化力の向上、交流機会の創出、次世代を担う子供達の育成」となった。また、大人が音楽でサポートすることにより、多世代交流にもなっている。

■ 事業概要

公募で集まった子供たちとオリジナル曲を製作、録音。４ヶ月間、歌とダンスのレッスンに励んだ成果を3月に発表する。伴奏は、大人の生バンド。
9月　募集チラシ配布　11月　オーディション開催　12月～3月　歌とダンスのレッスン
3月　CD録音、動画撮影　3月20日　姫路駅前広場にて、成果発表

■ 事業総括・感想

昨年に引き続き、コロナの中での事業ではありましたが、今できること、今だからやることをコンセプトに音楽や芸術を通じ、多世代の心の交流、そして、子供達が自分たちで作り上げる大変さと喜びを楽しみながら、体感できたことは大きな成果だと感じています。芸術は常に、人の心を豊かにする力を持っている。その素晴らしい力を子供達に伝えていける事業を目指したいと考える。



子育て・発達障がい児者支援「のびのびセミナー・プレイルームわくわく」

実 施 団 体　　姫路獨協大学医療保健学部　子育て・発達障がいサポート運営委員会
市の協働部署　　障害福祉課

■ 事業の目的
「のびのびセミナー」「プレイルームわくわく」を通して、発達障がい児者とその家族への支援とともに、姫路市における地域共生社会の実現をめざす。

■ 期待される効果又は達成目標
障害福祉課との連携を通して姫路市の計画や調査結果を知ること、地域相談窓口「ひめりんく」と相談支援事業所の相談員から直接お話を伺うことができ、行政と地域の視点からセミナーのあり方を考える機会となった。また、こども保育課へご挨拶させていただき、今度の障害児支援に係る連携のきっかけをつくることができた。さらに、障害福祉課から手話通訳や要約筆記に関する情報を得ることができ、必要な合理的配慮について考えることができた。以上は今後の活動における新たな視点となり、本事業の効果であった。

■ 事業概要
これまで継続して開催している「のびのびセミナー」「プレイルームわくわく」について、姫路市民にむけて情報提供し参加いただくことで、発達障がい児者への支援とともに、姫路市民が障がい特性を理解する場を提供する。

■ 事業総括・感想
新型コロナウイルスの感染拡大を受け「のびのびセミナー」や「プレイルームわくわく」の開催は困難な状況であった。しかし、セミナー開催に向けて障害福祉課と協働するなかで、行政や地域の視点でセミナーのあり方を考えることができ、また姫路市や支援者と連携した活動へのきっかけをつくることができた。実際にセミナーを開催することはできなかったが、本団体の今後の活動を考える貴重な一年であった。

姫路駅西エリアに火を灯そう！集まれなかま！！

実 施 団 体　　姫路駅西地区まちづくり協議会
市の協働部署　　産業振興課

■ 事業の目的
空き家や空き店舗が増加し、駐車場が多くなってきた街を、既存の建物やエリアの雰囲気を活かしながら、かつてのにぎわいを取り戻し、駅西エリアに新しい仲間と新しい取り組みで新しい流れをつくること！！

■ 期待される効果又は達成目標
忍者修行体験など子ども達の参加できる企画や、パフォーマンス、出店などでたくさんの方々が楽しんで頂きました。
夜には地元の方々の理解を頂き、キャンドルの灯りを地元企業や地域の方々や参加者が、キャンドルを並べたり、着火をして頂くなど素敵な時間を過ごすことができた。
こうして地域が少しずつ新しい動きを始めたと感じました。

■ 事業概要
12月4日(土)5日(日)の2日間、忍町「稲垣ビル」周辺にてイベントを開催。
忍者修行体験、忍者ショー、よさこい、バンド、絵本の読み聞かせ、ダンス、書道のパフォーマンス、と、アクセサリー、雑貨、小物、飲食の販売。「街と心に灯をともそ」開催。夜には廃瓶を利用したキャンドルを忍町東西の道と稲垣ビル周辺に設置。たくさんの地元の方々と企業も参加し素敵な夜を演出できた。

■ 事業総括・感想
コロナ禍の厳しい中、提案を受け街を使ったイベントを開催することを考察した。道路の活用や、空き店舗のリサーチなども検討したが、稲垣ビルと駐車場のご協力を得て開催をすることになりました。地域の皆様のご協力と、たくさんの出演者に支えられ事故無く運営できたことが一番良かった。
安全面では、交差点での事故を防ぐために交通整理をするなど、徹底した管理ができた。
また、地域企業、地域の方々をはじめ、清元市長が来てくださり有意義なイベントとなりました。
今後の発展にも期待しています。

播磨の古道ー増位山　随願寺ー俳諧と姫路藩の道

実 施 団 体　　特定非営利活動法人　おはなしくれよん
市の協働部署　　文化財課

■ 事業の目的

増位山　随願寺は、聖徳太子が高麗の僧、恵便に建てさせたと伝わる古刹です。
その参道にある姫路の歴史を物語る姫路藩主の廟所、供養等、句碑、その他の史跡や芭蕉の遺品を受け継いだ井上千山を中心とした、俳諧文化発展地、風羅堂跡等の貴重な地域資源の価値を見直し活用して増位山と白国周辺の地域の魅力を高め、次世代に継承することを目的としています。

■ 期待される効果又は達成目標

一連の事業実施から、増位山　随願寺　白国周辺では、姫路三山と称された文人たちや、知識人が訪れ、俳諧文化の中心地であったことを市民が再確認し、姫路の歴史、俳諧文化に興味や関心を持つ機会となり、マップを案内人として効果が表れることを期待します。

■ 事業概要

１　姫路市立増位小学校　６年生対象に「俳句絵本」の読み聞かせ　10/25
２　姫路市立増位小学校　６年生対象に、難波 正司さん講演「俳句とは」　11/16
　　ワークショップ「俳句を作って、奉納しよう」
３　講演会＆ＤＶＤ上映　講演会　宇那木 隆司さん「増位山の歴史と文化」　12/12
　　ＤＶＤ上映「俳額を作って奉納しよう」　（イーグレひめじ）
４　案内マップ「播磨の古道　ー増位山　随願寺ー　俳諧と姫路藩の道」
５　姫路市立増位小学校６年生のＤＶＤ作成「俳句を作って　奉納しよう」（佐伯神社）　2/25

■ 事業総括・感想

この事業が無事に終了できたのは、共催者の各団体とその他の関係の方々、協力をして頂いた児童や学校の方々、住職さん、「俳句を作って奉納しよう」で御世話になった宮司さん、増位校区（白国地域）の自治会の方々等には、マップやＤＶＤ作成に助言、協力を惜しまなくして頂いたお陰であります。
本当に有難うございました。



「実験で知る光と音の性質」体験事業

実施団体　　特定非営利活動法人あかりの街ひめじ
市の協働部署　　姫路科学館

■ 事業の目的

教育において実験やフィールドワークの重要性は、多様な手段がある現在でも変わることはない。実験等は、その準備、道具や設備の選択、実験等の実施、結果の予測と検証、片付けを含む後処理にも、様々な教育要素が含まれている。これらの体験から得られることは少なくない。
私たちは今回、科学館の協力を得て、生徒が実際に装置に触れ、事象の変化や反応を見聞し、感動や興奮を体験してもらうことを企画した。光など、日常生活に関わる科学の知見を理解し、理科への興味・関心の拡大を図り、健全で感性豊かな青少年の育成を目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標

１、姫路が「あかり」産業の屈指の集積地であること知らしめ、地元愛の醸成に寄与した。
２、知る・見る・触れる・作るを体験し、「光・音・波」への関心を高められた。
３、教育関係者および行政とりわけ科学館と、人的交流と関係の構築（つながり）ができた。
４、科学館の設備、情報発信力ならびに応募者の感性の高さを知り、さまざまな可能性を発見できた。

■ 事業概要

パワーポイントで「光」について、教科書の内容にとどまらず、蓄光や蛍光現象、電磁波などその範囲を超える事象についても解説と実験（照度計で蛍光灯、自然光などの波長分布を調べる）を行う。また工作キット教材のマイクロスコープと万華鏡を作成してもらい、光の屈折、反射について体験する。
７月　採択の通知、会員への案内。科学館および中学校との協議。
８月　内容の詳細協議、工作試作、資材の発注。科学館と広報に関する協議。チラシ発注。
９月　講義資料作成、工作の試作。　１０月～１１月　事業実施（２日/４コマ）及び準備。
１１月～１２月　関係者と事業の検証。　１～２月　報告書作成他とりまとめ。

■ 事業総括・感想

全体として、所期の目的は達成できた。アンケートも、「おもしろかった」「知識を得られた」「話はよくわかった」など良好であり、「おもしろくない」といった否定的な意見はなかったことからも評価できると考える。また、多面的な人脈形成も、成果と思う。
ただ感染予防のため、１回の参加人数を制限し、午後に２回の実施としたことで、時間的制約が生まれ（工作の未達成や説明を急ぐ場面）など時間配分には反省すべき点もあった。



新規　　令和３年度

アクティブ系スポーツ　普及事業～オリンピック新競技　NEWスポーツとは～

実 施 団 体　　播州アクティブスポーツ協会
市の協働部署　　スポーツ振興室

■ 事業の目的
アクティブ系スポーツはテレビでよく見るので興味はあるが、どこで活動しているかわからないという言葉をよく聞きます。
今回の企画でアクティブ系スポーツがより身近になり、プロモーションビデオ撮影や、体験会の会場になる場所のＰＲができ、姫路手柄スケートボードパークや白浜海岸を再認識していただけることも目的の一つです。

■ 期待される効果又は達成目標
「東京オリンピックで見てアクティブスポーツに大変興味を持っていましたが、今回体験させて頂き今からこの競技を始めてみようかと思う」という言葉を多数頂きました。
今までマイナー競技だったものが、一歩進めたと実感しています。
今回の事業を開催することでオリンピックNEWスポーツが広く知れ渡り興味を持って頂けたものと思います。

■ 事業概要
アクティブ系スポーツの市民参加型体験会や、競技のプロモーションビデオ制作をしインターネット配信をして、来年2022年度開催でのアクティブスポーツフェスティバル（市民体験型）のプレイベントを開催する。
８月10日　スキムボード　SUPボード　体験会　撮影
９月12日　ダンススポーツ　ブレイキン　体験会　練習会　開始
９月24日　スケートボード　BMX　姫路スケートパーク　撮影
11月３日　ボルダリング　スケートボード　BMX　SUP　ヨガ　ランドスキム　体験会　撮影
12月19日　ダンススポーツ　ブレイキン　発表会
３月19日　反省会　来年度事業計画

■ 事業総括・感想
事業計画案としては問題なく計画案ができたと思う。
しかしコロナ感染症の為か募集をしても期待したほどの参加者にはならず数回、追加募集をかけることとなった。
またイベントの直前に緊急事態宣言が発令となり延期に次ぐ延期というようにイベントの日程とコロナの感染者増加の波のタイミングがあってしまったこともあり開催への道のりに苦労しました。
参加者からは、大変楽しかったという言葉やこれからも参加したいという言葉を頂きスタッフの励みとなりました。来年度も継続する事業ですのでコロナの終息を祈るばかりです。

新規　　令和３年度

Ｍｕｓｉｃ　Ｍｅｅｔｓ　～Ｔｈａｎｋ　ｙｏｕ！文化センター～

実 施 団 体　　Mr.moon
市の協働部署　　文化国際課

■ 事業の目的

姫路市文化センターの長い歴史の中で、市民は吹奏楽コンクールや音楽会、成人式などで施設を利用し、大きな思い出を育んできた。しかし、続くコロナ禍や少子化などの影響で、現在は利用する機会がない人が多い。そのような人にも気軽に参加できる音楽祭を開催し、思い出を共有する。また、今後の音楽文化の活性化を目指し、吹奏楽、ジャズ、ポップスなど、ジャンルの異なる音楽に親しみ学ぶ機会を広める。演奏会は観覧無料、子ども連れの入場も可とし、観客や演奏参加者の多世代間の交流を図り、音楽によるまちの活性化に繋げたい。

■ 期待される効果又は達成目標

子育て世代や若年層など幅広い年齢の方に参加していただき、音楽の楽しさや充実感をともにわかちあえた。参加者アンケートでは「長らくブランクがあったが久しぶりに活動する機会を得られてよかった」「最後に文化センターで演奏することができた」「また同じような機会があれば参加したい、聞きにきたい」などの声があった。姫路文化センターの閉館に伴い、気軽に参加し思い出を共有するという事業の目的は達成できたと考える。参加者募集チラシの市内配布、練習場所の確保や資料提供など、市との協働による効果も十分に活かされた。

■ 事業概要

姫路市文化センター閉館に伴う市民参加型記念事業。姫路市を中心に活動するバンドやアーティストが集まり、同施設で生演奏の音楽祭を開催する。市民参加ステージも設け、最後に演奏したい人を募り、思い出を共有する。ロビーでは思い出のエピソードを募集し、展示を行う。

■ 事業総括・感想

思い出を共有し懐かしむという目的を達成できただけでなく、多くの感謝、感動があふれる時間になったことが印象に残った。また、さまざまなアーティストや音楽を愛する人との交流の中で、新しいアイデアや今後の活動のヒントを得られた。文化の活性化には補助や助成も必要だが、当事者（参加者も含め）が自主的に自立した活動を行うよう意識を変えていくことが必要だとも感じた。

今回は新規団体にも取り組みやすい枠があり、さまざまなことを学び感じる良い機会をいただけたと思う。初めての試みで、見通しがつきにくい点やさらなる考慮が必要な点もあったが、今後の参考にしていく。

アドバイスやサポートをいただいた市民活動推推進課、文化国際課の皆様に感謝を申し上げるとともに、今後も姫路市の音楽文化の活性化に貢献していきたい。

衣　と　食　－　ハ　レ　の　日　と　ケ　の　日

実 施 団 体　　香寺歴史研究会
市の協働部署　　企画政策室

■ 事業の目的

失われようとしている昭和 30 年代の地域の記憶を調査し記録に残すことを目的に実施。今年度は、昭和 30 年代の衣と食の調査及びその後の変化について調査し記録に残す。

■ 期待される効果又は達成目標

令和 4 年度の事業をもって、過去 3 年間にわたる香寺町における昭和 30 年代の記憶を記録する作業が終了した。成果物として、『香寺ふるさとマップ集』、『香寺町の住まいと暮らし』、『香寺町の衣と食と暮らし』の三冊を得、会員をはじめ協力者等、近隣各学校、図書館等関係先に配布することができた。学校における地域調べなど様々な場面で活用して欲しいと願っている。

■ 事業概要

昭和 30 年代の衣と食について、それぞれハレの日（非日常）とケの日（日常）の状況を聞き取る方法で調査を実施した。会員が聞き取りを行った。調査期間は 3 カ月。調査終了後、調査票の集計等を行い、提案型協働事業報告会を開催すると共に『昭和 30 年代　香寺町の衣と食と暮らし』として発行、関係先に配布。



・７月中　　調査内容の決定
・８月４日　　調査説明会の実施
・８月～10 月　地区会員等による聞き取り調査
・11 月～2 月　調査票の集計分析及び冊子の編集会議
・２月９日　　令和 4 年度提案型協働事業報告会を開催
・３月 30 日　　『香寺町の衣と食と暮らし』発行

■ 事業総括・感想

・調査できた集落数は 12 集落で昨年度より減少したが、協力者は増加している。
・女性への聞き取りが増加したことは良かった。
・調査項目が多くなったことは反省点である。
・3 年連続の調査で調査疲れによる今後の事業への影響が心配である。
・今回の調査のまとめは、『昭和 30 年代　香寺町の衣と食と暮らし』として発行。
　過去２年間の調査結果と共に、学校における地域調べなどに活用されることを望む。

令和5年2月9日　令和4年度提案型協働事業報告会　於；香寺公民館


会長挨拶


基調講演

SDGs2022 Himeji 城育 SHIRO-IKU　～姫路城下のもと　うまれる未来教育～

実 施 団 体　　一般社団法人 Social Eight
市の協働部署　　地方創生室

■　事業の目的

グローカル人材の育成を目指して、下記の目的をもって取り組みました。

（登校へのきっかけづくり）「誰一人とりのこさない」、家での学習をメインにしているお子さんにとっても土日を活用した取組にすることで、親子・ファミリー参加により参加しやすい環境の提供

（経済的な支援）学習が遅れている、学習塾に経済的な面で行けないお子さんにも参加いただける。

（多種×多面性の教育）学校、塾、家庭教師からは学びとることができない分野の「教育」も準備

（キャリア教育を学ぶ）色々な職種・業種において「教育」を学び、将来、社会的・職業的にも自立し、社会の中で自分の役割を見つけていく力、また、自分らしい生き方を学び取ることができる。

（つながり）それぞれの学校や地域についての学びがあり、地域の特色を知ることができる機会を得る。

※姫路以外の地域のお子さんとの交流もあり、この城育を通して友達作りができる。

（SDGs を学ぶ）色々な教育を受けることで、SDGs のテーマ目標４「質の高い教育をみんなに」に加えて、色々なテーマ目標なども学ぶことができ、テーマ目標１７において、パートナーシップで目標を達成する喜びを得ることができる。

■　期待される効果又は達成目標

初回では、オンライン参加が多く、３組しかリアル参加がありませんでしたが、少しずつ、リアル参加が増えてきて、また、参加者同士、仲良く話をしたり、探索をしたりと新たな仲間づくりができているようでした。半年ぐらいの取組でしたが、子どもたちの成長が見えてきて、一つ一つの発言にも、しっかりとしたところが見えて頼もしく思えました。スタート時は、こちらも戸惑うこともありましたが、ひとりで参加できる生徒も出てきて、親権者の継続取組への期待値も高く、来期へと新たな取組として考えたい。

■　事業概要

＜１３講座・カリキュラム＞による「多面性×多角的」な授業・教育による機会と場の提供を用意します。

次に「羽を広げる」例として社会参画のための企画、交流、ディスカッションなどを通じて、挑戦していきます。

社会参加、そして、自分の未来について考えていく人材をつくっていく構想となります。

最後には「未来にはばたく」世界文化遺産である姫路城下のもと、ローカルを意識しつつ、グローバルにもふさわしい「グローカル・イノベーションリーダー」を目指すことが、姫路の未来に必要なものと考えます。

「城育」といった、姫路城に習い、組み立てた教育こそ、地域に根差したローカル教育であり、また、世界遺産姫路城にふさわしく、世界にも通用する人材育成をすることこそ、SDGs のテーマ目

標４「質の高い教育をみんな」を目指していくことになります。

■　事業総括・感想

半年ではありますが、かなり充実した形で修了できました。こちらが思った以上に生徒たちも前向きで、親御さんの協力もあり、スムーズに取組もできたように思う。生徒たちも、中々、学校で学ぶことができない体験をすることができて、楽しかったという回答も多く、キャリア教育にもつながることが多く、来期への期待も高いため、長期取組であったこともあり大変ではありましたが、取り組んだことには満足しています。子供の成長とともに親御さんも楽しい時間になったのではないかと思っています。また、メンバー自身も新たな取り組みに対するポジティブな気持ちで今期を終えることができました。ただ、土日の学校授業と重なる部分もあり、開催については、もう少し親御さんの意見なども聞いて組んでいきたいと思います。



不登校・ひきこもりの子供を持つ親たちへの「適切な対応と援助」を支援する事業~親の会を中心とした共生・協働による温かみのある地域社会づくりに向けて~

実 施 団 体　　姫路マザーハーブの会
市の協働部署　　姫路市総合福祉会館

■ 事業の目的

全国の不登校・登校拒否の状況は、2019 年の文部科学省発表では 6 年連続増加し過去最高の数となっている。
この人数の増加は、そのまますべての子どもたちの生きづらさの増加と言える。
そのような状況の中、子供の不登校で悩んでいる親たちは、相談する場所や必要な情報を得る機会が少ないのが現状である。そこで、「適切な対応と援助」について冊子を作成し、行政をはじめとする多くの関係機関と顔の見える関係を構築することにより、支援の中心となっている親たちを励まし子どもたちが安心できる温かみのある地域社会づくりを行うことを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標

・「適切な対応と援助」を学ぶことができる。
・悩んでいる子供や親たちが一人で孤立しないで支援する居場所があることを知ることできる。
・親の会以外の地域で親たちを支援することができる。
・地域で多職種連携することで、子どもたちが安心できる社会づくりに繋がる。
・日々悩んでおられる親たちや学校現場の先生方の援助の一助になる。

■ 事業概要

不登校当事者の立場、親の立場、支援機関の立場、親の会を立ち上げ 5 年間の活動を通して学んだ「適切な対応と援助」についてまとめた冊子を作成する。
行政や支援機関と顔の見える関係を構築し、親の会の活動内容を周知する。不登校で悩む保護者や教育機関、更には地域住民を対象に学習の機会と支援機関の情報を得る機会を創出する。

■ 事業総括・感想

このたびの冊子作成にあたり、認定 NPO 法人コムサロン 21、ボランティア仲間、神戸新聞編集委員、おおさか教育相談所相談員、山梨県不登校の子どもを持つ親たちの会、日ノ本学園にご協力をいただきました。不登校問題は大きな社会問題です。ひとつの親の会ができることは限られています。今後「適切な対応と援助」を多くの方に知っていただき、支援の輪を広げていきたい。
多くの方からご支援をいただき、冊子を完成することができたこと心より感謝申し上げます。



「こころが繋がるこの１冊」事業

実施団体　　特定非営利活動法人コムサロン二十一
市の協働部署　　姫路市総合福祉会館

■ 事業の目的
ひきこもり家族の相談を受けていると、親自身が本人にどう関われば良いのか苦悩されていることが多い。そこで、家族がどのように声をかけて良いか困った場面を切り出し、ひきこもり本人に応えてもらうことで、Q&A による声掛けの参考事例集を作成する。保護者、ひきこもり当事者の相互理解も深まり、家庭内で話すきっかけを作り、親子間で温かいコミュニケーションが育まれることを目的とする。

■　期待される効果又は達成目標
〇当事者
インタビュー中に語られた、当事者たちが「大したことはない」と思われていた内容は、家族や支援者にとっては教えていただかないと理解しえないことであり、それら当事者の声を必要とされている方に、この冊子を通して届けることができたのは彼らにしかできない社会参加だったと考える。それぞれの人生体験を語ることにより、自己理解を深めることができた。これまで他者に打ち明けてこなかった気持ちを表出できた方もいた。

〇家族
当事者家族への調査場面においては、同じような境遇の他の家族と話し合う中で、共感や励まし合う様子が見られた。冊子を読んだ家族においては、「普段知ることができない当事者の考えや気持ちを知ることができた」「子どもも子どもなりに悩んでいることが理解できた」「関わりのヒントになった」等といった感想をいただいており、当事者に対する理解が深まったこと、当事者への関わりの参考となること等が冊子の効果としてもたらされたと考える。

〇支援者
作成の一連のプロセスを通して、支援者（インタビュアー）と当事者（インタビュイー）間の信頼関係がより深まった。その結果、その後の支援へも良い循環を生んでいる。また、当事者の実際の声について冊子を通して知ることができ、支援者の当事者理解が深まった。当事者の気持ちに寄り添い、当事者主体の支援を展開していくことの重要性を改めて確認できた。

■　事業概要
ひきこもりの子どもを持つ保護者から、「（子どもと）どう関わっていけば良いか分からない」と相談を受けることが多い。その言葉の背景には、「自分の言葉で子どもを傷つけてしまわないだろうか」という保護者の不安を感じ取られる。本事業では、保護者がひきこもりの子どもと話をする場面を、当事者家族に対してのアンケートやグループインタビューを通して調査、結果の集約を行った。次に、当事者が、集約したそれぞれの場面において、家族からどのような対応がなされると受

け入れやすいかについて、ひきこもり当事者へのインタビューを実施し、共に考え、家庭内で当事者と家族が関わる際の対応事例集を作成した。

■ 事業総括・感想

平成３０年度より本事業の助成を受け、行政と民間の協働によるネットワーク会議を開催し、令和２年度には居場所の試行的実施、その後、令和３年度より「姫路市ひきこもり支援推進事業」を姫路市より受託し、居場所“ぷちたぷち”を運営しています。

本事業では、ひきこもり状態の方のご家族が当事者への理解を深め、関わる際の一助となる事例集を作成しました。本冊子を手に取られたご家族と当事者のこころが繋がることを第一の目的として取り組んでまいりましたが、作成過程において、相談に来所中の方々の「当事者としての声」を、インタビューを通して我々支援者が受け止めていく中で、これまで以上の彼らとの「繋がり（信頼関係）」が育まれました。また、本事業に協力していただくことで、相談に来られている当事者と社会との「繋がり（社会参加の機会）」も生まれました。作成中には関係機関による検討の場を持ち、関係者同士の理解が深まり、関係者間の「繋がり（連携）」も強くなったように思います。さらに今後、冊子の普及啓発を行う中で、支援者間の繋がりはより確かなものになっていくと感じています。このように冊子作成の一連のプロセスを通じて、「当事者と家族」「当事者と社会」「当事者と支援者」「支援者同士」といくつもの「繋がり」が生まれたことは、大変意義ある取り組みになったことと感じております。

ひきこもり状態の方も、そうでない方も、地域で暮らすすべての方が暮らしやすい地域となるよう、この冊子によって生み出される「繋がり」を地域住民の方にも広めていけるよう、私達も積極的に活動していく所存です。

ブレストアウェアネス(乳房を意識する生活)啓発事業の実施

実 施 団 体　　ピンクリボンひめじ
市の協働部署　　保健所予防課、姫路城管理事務所

■ 事業の目的
乳がん検診は女性を対象に特に好発年齢の対象者は無料で検診ができます。
しかし乳がん罹患の低年齢化や２年に１回の検診だけで乳がんの早期発見ができるものでもなく、男性も罹患することから性別年齢を問わず自分の乳房を意識し、変化にいち早く気づくことができるよう、ここ数年で提唱されている「ブレストアウェアネス(乳房を意識する生活)」の理解促進を図る活動を行い、男女ともに考える機会を創設し、さらに多くの市民への乳がんの正しい知識啓発を目的とします。

■ 期待される効果又は達成目標
乳がん検診啓発活動とともに、さらに性別年齢を問わず自分の乳房を意識し、変化にいち早く気づくことを目的とした「ブレストアウェアネス(乳房を意識する生活)」を広め、気になることがあればすぐに医療機関を受診するという正しい行動を身につけることで、早期発見、治療につながる効果を期待して始めましたが、まず『ブレストアウェアネス(乳房を意識する生活)』が浸透していない中でスタートを切り、最初は言葉の説明から始め、少しずつですが浸透はしていると感じました。幅広い世代と地域から参加をいただいたピンクスカイランタンから乳がんについて考える入口が創出できたと考えます。

■ 事業概要
①ブレストアウェアネスセミナー
乳がん専門医によるセミナーと専門医・乳がん看護認定看護師・子育てママ代表とのトークセッションにより、参加者と共に乳がんについて学ぶ
②姫路城ピンクライトアップ
③姫路城ピンクスカイランタン
年齢・性別を問わず考える機会を持ってもらうために、姫路城ライトアップにあわせ三の丸広場にてピンクスカイランタンを揚げる
④SMILE PLUS 2022
賛同していただいた協力店にピンクにちなんだものやピンクリボンのマークなどを使ったオリジナル商品を作って限定販売を行ってもらう。
お客様が商品を手にすることで「乳がん検診の啓発」「乳房に関心を持つ」ことを知ってもらう。

■ 事業総括・感想
聞きなれない「ブレストアウェアネス(乳房を意識する生活)」の説明から始まった事業ですが、ピンクスカイランタンは当初の計画より大幅にランタン数を増やすほどの反響をいただきました。幅

広い年齢層・県外からの参加者とまた多くの見学者があり、ピンクのスカイランタンから乳がんについて考える入口が創出できました。引き続き、地道ながらも活動を続け意識の向上に努めたい。



女子高校生 ＳＤＧｓサミット ２０２２（仮）

実 施 団 体　　特定非営利活動法人姫路コンベンションサポート
市の協働部署　　地方創生室

■ 事業の目的
男性と女性が同じステージで輝きあえる男女平等社会を実現するため、女子高生の視点で問題提起し、考えるイベントを実施し、以下を目的として実施する。
①女性が輝く社会の実現の重要性を理解すること
②自ら課題を見つけ、学び、考える力を養い、お互いに理解し交流を深めること
③自分らしく自由に輝く夢の実現へ踏み出すことをサポートし、社会に貢献できる人材を育成すること

■ 期待される効果又は達成目標
参加高校生の男女比が１：１であったことや、学生以外の方にも参加いただいたことで、異なる立場の人同士が語り合い、互いの意見を知ることで、多様な生き方、考え方を共有することができた。話し合いを通じて、カテゴリーにとらわれることなく「人間として」互いに思いやりを持つこと、お互いを認め合うことが男女平等社会あるいは生きやすい世の中につながることに気づけたことは、高校生らが描く将来像にも影響を与えたと考える。

■ 事業概要
男性と女性が同じステージで輝きあえる男女平等社会を実現するため、女子高生の視点で問題提起し、考えるイベントを実施する。趣旨に賛同する女子高校生を募集し実行委員会を結成、イベント実施に向けてワークショップを行う。
①実行委員会結成
　サミットの趣旨に賛同し、実行委員として活動していただける市内在住または在学の高校生を公募、８名の応募があり実行委員会を結成する。
　（実行委員の在籍校）姫路西高等学校、飾西高等学校、賢明女子学院高等学校
　月１回程度の実行委員会を開催し、主にサミットのプログラム内容の検討を行った。そのほか参加者集客のため、ラジオ出演や取材対応など広報活動を行った。





②事前ワークショップ

当日参加予定の高校生を対象にオンラインで実施した。サミットの参加しようと思った動機やトークテーマの選択理由、日頃感じている男女不平等などから、当日より深めたい話題について意見交換した。

③「女子高校生 SDGs サミット 2023 in HIMEJI～誰もが主人公になれる世の中へ～」開催

日　時：2023 年3月 12日（日）13:00～16:30
場　所：アクリエひめじ大会議室 408 号室
参加数：高校生 18 名　一般　17 名　実行委員　8 名　合計 42 名

私たちの意識や日々の生活の中で、なかなか気づきにくいジェンダーバイアスについて高校生が身近にあるテーマを６つ取り上げた。「日頃から感じていること、問題・課題に思っていること」「その原因は何か」「解消する方法、共存する方法」など、テーマごとにグループでディスカッションを行った。参加者は高校生だけでなく経験豊富な大人の参加もあり、世代間での意識の違いを感じながらも、今後どうあるべきか話合った。男女平等社会の実現に向け、参加者一人ひとりがどのような働きかけをしていくか、目標も発表し終了した。
※トークテーマは以下の通り。
祭り・伝統文化／家庭・家族／学校生活／美容・ファッション／スポーツ／職業
またサミットと合わせて、フードドライブ及び姫路近隣高校及び団体の SDGs 活動紹介展示・発表も実施した。

（参加団体）高校生エシカル推進委員会
賢明女子学院 BeLeaders
東洋大付属姫路高等学校地域活性部

■ 事業総括・感想

・学校行事は学校ごとに異なるため、部活なども含め実行委員メンバーのスケジュール管理が難しく、当日までの準備には課題が多かった。
・オンラインの活用は当初想定していなかったが、遠方からの参加希望があったことや、高校生らの時間的都合により急遽活用することとした。オンライン会議には限界があるものの、実行委員会開催や遠方からでも参加しやすいように、オンラインの活用を早目に決定すべきだった。

オリヒメジプロジェクト～次のパイロットはきみだ～

実 施 団 体　　障害者差別解消法ネットワーク
市の協働部署　　障害福祉課、総合福祉会館

■ 事業の目的

分身ロボット「OriHime」を用いて、身体的、物理的、社会的、様々な理由で、社会参加や外出においての障害を抱えている方を対象に各種支援を行い、孤独の解消を推進する。
また体験会や報告会を行うことで、認知度の向上とともに今後の運用イメージを共有し、姫路市における孤独や障害支援の新たな選択肢を提案。さらなる支援の発展へとつなげる。

■ 期待される効果又は達成目標

OriHime を体験した事業者より、感謝とともに、継続しての運用も検討したいといった声をいただき、「OriHime」の需要を検討する点では十分な手応えを得る。また報告会でも参考になる発表や、参加者の質問等あり、改善点や課題についても整理。OriHime の開発元である「オリィ研究所」とも情報を共有することで、より実用的で様々なケースに対応した「OriHime」開発や活用についても期待を持てる結果となった。

■ 事業概要

令和 4 年度 7 月より「OriHime」をレンタルし、就労支援、外出支援を体験してくれる事業団体を公募。約 1 年間を通して支援を行い、その成果を 2 月の報告会イベントにて集約する。また各種イベントにて体験ブースを設置し、一般の方々にも「OriHime」と触れ合っていただき、周知活動にも取り組んでいく。

■ 事業総括・感想

実際に運用を行ってみると、多くの可能性も実感するとともに、主に OriHime の機能に対して問題点も提起されている。（Wi-Fi 接続の不安定さ、操作性の問題など。）障害、孤独の解消を目的として活動する中では、それら可能性と問題点にしっかり目を向けながら、あくまで実用的な運用を追求すべきだと感じた。今回はそれらの検討をするのに十分な情報／経験と意見を得たことが大きな成果だと思い、今後の判断材料として十分な活用を行っていきたい。



ＳＤＧｓ で育む＜城の西＞シビックプライド

実 施 団 体　　城の西エリアマネジメント準備会
市の協働部署　　地方創生室

■ 事業の目的

住民が＜城の西＞エリアに対して「愛着」や「誇り」を持ち、ＳＤＧs をツールとし、まちを構成する一員として人にも地球にも優しく暮らし続けているまちをつくる。
社会・環境問題の解決につながる活動に主体的に参画できる地域モデルをつくる。

■ 期待される効果又は達成目標

人にも地球にも優しく暮らし続けていけるまちをつくるために、ＳＤＧｓをツールとして＜城の西＞に住まう人々がまちづくりを自分ごととして捉え、社会・環境問題の解決につながる活動に主体的に参画できる地域モデルをつくった。持続可能な暮らしに向けた具体的な活動をすることで、やりたくても機械がなかった住民たちや、意識を持ち始める人が現れたことは大きな成果だった。

■ 事業概要

（１） 社会・環境課題が自分ごとになる（ＳＤＧｓ目標７・１２・１５）
・ごみを出さない・お金だけのつながりじゃない「ヒメジくるくる市」を開催した。
・「くるくる商店」を設け、必要な量だけを買うことができる量り売りを定期的に実施した。
・ロケットストーブづくり実習を行い、エコシステムから持続可能な暮らしを学んだ。
・城の西まぐまのサイトも活用し、城の西にある小商いの店を応援した。
（２）シビックプライド醸成の拠点ができる（ＳＤＧｓ目標４・１１）
・公民館で「ヒメジくるくる市」の開催を希望していたが、条例により開催できなかった。
・姫路市内の自治会で初めて「城西地区連合自治会」でＳＤＧｓ宣言を掲げた。
・公園や学校など公共の場で、管理がしやすく景観が損なわれない剪定講座を実施した。
・城の西の丘や街路樹などを見て楽しむ「森の案内人三浦豊さんと歩く城の西」を開催した。
・城の西のシンボルである男山に植わっている多様な樹種を学べる樹木エストを作った。

■ 事業総括・感想

城西地区連合自治会でＳＤＧｓ宣言を掲げたことをきっかけに、すべてのイベントにＳＤＧｓマークを付けて告知＆開催をした。そうすることで、地域の方からすれば、具体的で目に見える形で持続可能な社会や環境につながる活動になっているということが伝わったようだ。



姫路の民話の読み聞かせによる地元文化の伝承事業

実 施 団 体　　認知症予防教室一輪会
市の協働部署　　生涯現役推進室

■ 事業の目的
祖先から語り継ぎ、守ってきた郷土姫路の民話や日本のわらべ唄を次世代に伝承。
参加者の中から、有志による新しい語り部を育成。

■ 期待される効果又は達成目標
アンケート回答者の約半数の方が「ひめじの民話」を知らなかったが、約 70%以上の方が「広めたい・子どもたちに伝えたい」と回答した。「わらべ唄」では、約３分の１から「子どもたちに伝承したい」、約半数から「サロン等で楽しみたい」と回答があった。自治会、民生委員、学生にも参加頂き、関心の高さを感じた。

■ 事業概要
一般財団法人兵庫県学校厚生会発行の「ひょうごの民話」より資料を作成（利用許可済）。各地で語り部として活躍中の講師による読み聞かせと、日本のわらべ唄を参加者と共に楽しい時間を共有。

■ 事業総括・感想
アンケートの回答者の約半数の方が「ひめじの民話」を知らなかったが、約 70%以上の方が「広めたい・子どもたちに伝えたい」との回答。「自宅で音読してみたい」との回答が多いのは、やはり高齢社会と新型コロナ禍の影響だろうか。
当初、予定外で、要望の多かった日本のわらべ唄に関しては、配布資料を見ながらマスクを着用した上で、殆どの参加者と楽しく合唱する時間を共有できた。アンケートの「誰に伝えたいですか？」には、約３分の１から「子どもたちに伝承したい」、約半数からは「サロン等で楽しみたい」との嬉しい回答が寄せられた。
今回の事業に関しては、地区の自治会長、民生委員や地域包括支援センター職員及び合計８人（４会場）の大学生も参加して頂き関心の深さを感じた。
　出来れば地域高齢者の活動支援という意味合いを含めて「ひめじの民話の語り部」を作ってみたいと考えている。また「姫路の民話」「日本のわらべ唄」共に、多くの情報を頂き、新作の資料を作成して、今後の活動に活かしていく。

Ｋ　ｅ　ｅ　ｐ　　Ｓ　ｍ　ｉ　ｌ　ｅ　　Ｐ　ｒ　ｏ　ｊ　ｅ　ｃ　ｔ

実 施 団 体　　#ひめじでごみひろい
市の協働部署　　姫路市総合福祉会館

■ 事業の目的

ごみひろい活動の魅力を全世代にＰＲし、一人でも多くの人に居場所の提供を行い、同時に相談できる仲間を作れる機会や癒しの時間の提供を目指す。

■ 期待される効果又は達成目標

SNS 広告では毎月７万件程度のアクセスがあった。また、ビラやポスター、姫路市広報等の活用も効果があり、デジタル、アナログともに一定の効果が見られた。
なかには、引きこもり事案の解消にもつながったケースも見られた。
また、ごみひろい活動を通して、「自然な関係づくり」を提供でき、連絡先交換をし、さらには継続した関係性づくりにもつながっていることが確認できている。

■ 事業概要

ゴミ拾い中に生まれる自然な会話が、癒しと安心感を与えるとともに、約１時間の活動が心身とともに充実した時間になっている。それだけでなく、互いの考えを尊重しあい、助け合いの精神を持ちながら活動しているため、気構えることなく自分らしく居れる空間の提供ができている。この魅力を、ＳＮＳやチラシを通して、活動の周知を行い、より多くの人に居場所の提供を目指す。

■ 事業総括・感想

ＳＮＳでは、毎月７万件程度のプロフィールにアクセスがあり、多くの方の目にとまり、ＳＮＳやビラ等によって、多くの人に参加していただけた。参加者の中には、数年ぶりに外出できるよう、この場を踏み台にしていただいた方もいらっしゃり、今回の事業に取り組めて良かったと感じている。



ＳＭＩＬＥ　ＦＥＳＴＡ～地球も姫路も笑顔に～

実 施 団 体　　公益社団法人姫路青年会議所
市の協働部署　　地方創生室、産業振興課

■ 事業の目的
姫路市民に、まちづくりに主体的に参加し姫路をより良くしようという機運を高め、市外からの参加者には姫路の魅力を感じていただき姫路に対する愛着を持っていただきます。

■ 期待される効果又は達成目標
市民が事業を通し自分と周囲との繋がりを感じ、姫路への愛着を深め、主体的にまちづくりに参加したいと思うことは、まちの活力に繋がり、さらに姫路を好きな市民が増えるという好循環を生みだします。また他地域の方々に魅力的なまちだと思っていただくことで、旅行、ビジネスはもちろん移住など多様な人材が集まる活力あるまちへと繋がります。

■ 事業概要
スマイルフェスタ２０２２　～つながる笑顔、つながる姫路～事前説明会
①理事長挨拶　②事業内容の説明、広報活動について　③参画者紹介・ブース抽選
④当日までの流れ及び当日の流れの説明
スマイルフェスタ２０２２　～つながる笑顔、つながる姫路～吹奏楽合同練習会
①委員長挨拶　②事業説明　③合同練習　④室長挨拶
スマイルフェスタ２０２２　～つながる笑顔、つながる姫路～事業当日
①開会セレモニー　②オール姫路市立中学校吹奏楽部演奏　③市民団体・企業ブース
④体験ブース　⑤飲食ブース　⑥市民ステージ　⑦にぎわい広場ブース　⑧閉会セレモニー

■ 事業総括・感想
参画者は姫路をより良くしようという意識で参加された方が多く、本事業に手ごたえを感じている方が大半で、来場者においても次は参画者側で加わり姫路を良くしたいなど姫路市民のまちづくりへの関心を高めることができました。また、来姫者には姫路の魅力・活力を伝えることができました。また、公益社団法人姫路青年会議所の会員は本事業への参加により、参画者との連携・協働によりまちに与える影響、地域の発展のために行動することの必要性を感じ率先して行動する意識が高まりました。



「ものづくり参加型企画」メイキング　ドリーム　オブ　ハーモニー　みんなのステージをみんなで作ろう！

実 施 団 体　　ほのぼのさん
市の協働部署　　文化国際課

■　事業の目的

未来を担う子供達に、音楽で達成する喜び、目標に向かって作り上げる達成感を感じてもらい、自分たちがでるステージはどんな人がいて作られているのかを知ることで、さらに深く本物のステージを感じて欲しい。一つのものを作り上げる忍耐力、協調性を感じ、他学年の交流の中で、小さい子供達と大きい子供達が仲良くなっていく一体感、充実感を知る。
本物のステージが姫路市民の芸術の底上げとさらなる心の元気になると考える。

■　期待される効果又は達成目標

自分たちの最終発表の場となるステージとはを勉強した上で、３月の自分たちの成果発表のステージに上がった。本番は、司会、音響卓、BGM、マイクの各係を決め、自分たちの役割をしっかり出来たと思う。子供達が目的に向かって、音楽を楽しみ、追求する姿は、現在の子供達に必要不可欠な自主的な心を育て、さらに大人が音楽で子供達をサポートする。このことは、「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトの目指す「地域の文化力の向上、交流機会の創出、次世代を担う子供達の育成」となった。また、大人が音楽でサポートすることにより、多世代交流にもなっている。

■　事業概要

公募で集まった子供たちと４回の音響講座で舞台の勉強をした後、５ヶ月間、歌とダンスのレッスンに励んだ成果を３月に発表する。伴奏は、市民の有志による大人たちの生バンド。

８月　　募集チラシ配布
10 月　　オーディション開催
11 月、３月　４回の音響講座
11 月～３月　歌とダンスのレッスン
３月　　CD 録音、動画撮影
３月 12 日　姫路駅前広場にて、成果発表



■　事業総括・感想

事業の始まった頃は、まだコロナの影響もありましたが、成果発表の頃には、時間と共に世間の風潮もコロナ前に戻りつつあったことは非常に嬉しいことである。子供達が、ステージに大切な、ステージを作り上げる仕事をする人を知ることで、さらにステージに対し、興味が湧いてきたことは、大きな成果だと考えている。今後も、音楽、ステージ、それに携わる全てのものに感謝を持ちつつ、本物のステージを子供達に伝えていき、今後も芸術が多世代交流の核になる事業を目指していきたいと考えている。

新規　　令和４年度

Ｈｉｍｅｊｉ Ｂｅａｕｔｙ Ｐｌｕｓ＋ Ｆｅｓ

実 施 団 体　　BeautyPlus+
市の協働部署　　地方創生室

■ 事業の目的

SDGs を身近に感じるイベントを通じ、子供大人、障害者の方々に SDGs の理念を伝えることで「誰一人取り残さない」を実現へと向かわせる。

■ 期待される効果又は達成目標

学生が企業という壁を感じなくなっていく最中を打ち合わせごとに感じ、実践で使える技術を学ぶこと、日本の衣装として、十二単を間近で見ることのできる貴重な時間を企業の方も含め、「学ばせてもらえた」の一言につきた。生ライブ配信では 4000 人以上の方からアクセスが有り、効果として感じられた。

■ 事業概要

初の開催

・地域の方の香寺太鼓「和太鼓演舞」
・学生のミュージックライブ
・日本人としてハワイで公認されている坂井るり先生によるフラダンスの演舞
・学生と企業が協働でファッションショー、十二単、禮の現代風アレンジ

■ 事業総括・感想

学生と企業では時間が違うことから、とても合同練習や打ち合わせなどは大変だった。それでも楽しそうな学生や、率先して協力してくださる企業様方々のお蔭で無事終えることができました。
その後、参加したい学校からオファーを頂いています。企業からも反省会を開き、次回はもっとこうしようああしようと皆、意欲満々です。姫路市の提案型協働事業というものがなければ、ここまでできなかった。
皆さんのご協力に感謝するばかりです。
ありがとうございました。



姫路城世界遺産登録 30 周年記念事業「ワクワクは、天・空・奏・想(そら)にある」~SDGs2023 温故知新　learning new from the past ~

実 施 団 体　　一般社団法人 Social Eight
市の協働部署　　観光課

■ 事業の目的

姫路城世界遺産登録３０周年を記念して、遺産地域の保全活用を知ってもらう契機にすることで、SDGs の学びにも繋げたい。また、シビックプライド(姫路市に対する市民の誇り)の醸成にもつながる「温故知新」をテーマとした取組として、山と海、歴史と未来を「天・空・奏・想」(そら)から姫路・播磨の魅力の再発見をする。

■ 期待される効果又は達成目標

・コロナ禍で需要の減少となった観光事業において、回復を後押しする意味でも姫路城だけでなく周辺の観光地においても文化財や様々な楽しみ方を用意して、魅力を最大限にアピールできた。
・「姫路城こそ SDGs そのもの」であるといった学びができることで学生なども「歴史」の学びだけでなく「SDGs」2030 年の SDGs 達成目標にもつながることを探求してもらうことができた。

■ 事業概要

姫路城世界遺産登録 30 周年記念事業として、「天」「空」「奏」「想」をテーマにイベントを開催

「天」デジタルスタンプラリー
　【ご利益コース【８スポットの社寺仏閣巡り】】
　　・ちょっと足を延ばしてコース
　　・姫路城周辺テクテクコース
　【見学・体験コース（姫路・播磨】
　【歴史・アートの学びコース】
「空」ドローン体験教室（テニピン・バスケットボール）
「奏」山中歩夢ピアノリサイタル
「想」絵画コンテスト



■ 事業総括・感想

観光事業にデジタルスタンプラリーを活用したが、年齢的なことも関係しているのか、中々、デジタルスタンプラリーアプリを活用することが難しく、容易に展開していくことは難しいものと考える。一方、リアル展開している「空」のドローン・テニピン・バスケット体験等は、各地から親子連れで集まってきて、取り組む姿は効果的でした。また、ピアノリサイタルも申し込み時点で満席となり「音楽のまち姫路」として、よい取組ができたと思います。絵のコンテストでは「未来の姫路を描く」子供たちの想いがあふれる作品が多くありました。

地域で取り組む国際理解・国際交流～外国にルーツを持つ子供達を核とする多文化共生の地域づくり～

実 施 団 体　　姫コアネット５
市の協働部署　　文化国際課（国際交流センター）

■ 事業の目的
姫路市にはベトナムなど外国にルーツを持つ子供達が多く在住している。中には日本の文化や習慣、人間関係に溶け込めず孤立する家庭がある。当会が彼らの潜在する不安や悩みの真相を知り、その解決に向けて内面に踏み込んだ支援の方策を見出し、実践することが重要である。そこで、国際交流・国際理解にとどまらず、お互いの文化やアイデンティティを尊重する人と人とにつながりを大切にし、身近な国際社会を地域の豊かさに転換していく「仲間づくり」「地域づくり」の充実・深化を図る。

■ 期待される効果又は達成目標
当会の活動 10 年目に向けて、持続可能な取組を構築するために事業の見直し・改善及び内容の精選をした。特に、今回は活動の原点であるベトナム難民の「これまで」「これから」について当事者から直接に話を聞いたり、外国人青少年の「いま」の夢と現実について生の声を聴いたりする取組に大きな成果があった。また、活動９年間の成果が新聞で報道され、多文化共生の地域づくりに向けた地域住民の意識の醸成が図れた。

■ 事業概要
重点テーマ：「知ろう、学ぼう、そして楽しもう！～外国にルーツを持つ子供達の背景・実態・支援～」に基づき、これまでの成果と課題を検証し、活動の原点を再確認する事業の展開。
①国際交流・理解ワークショップ「学習会（ベトナム難民のこれまで、いま、これから）
②国際交流・理解ワークショップ「ぶっちゃけトークひろば」
③（外国人青少年のキャリア支援）「姫路の企業訪問」
④ 地域社会と交流・連携「多文化で秋まつり～お国自慢屋台でエンジョイ～」
⑤ 地域社会と交流・連携「ふるさと姫路再発見～姫路城探検クイズラリー～」
重要となる鍵は地域及び学校・関係機関・団体等との連携の深化はもちろん、外国人の高・大学生及び保護者の主体的な関わりを促す「リーダー育成」である。

■ 事業総括・感想
今年度、当会の取組が９年目であり、地域や参加者にとって恒例の行事として定着してきた。
一方、当会の活動の原点を再確認すると共にマンネリ化を防ぐために、事業内容の見直し・改善を図ることができた。
また、地域や各支援団体等との連携や青少年リーダー育成に成果があり、事業内容の充実・深化が図れた。

「和太鼓体験企画」第１回　集まれ！音ともだち　「ありがとう！歌のこころ、和のこころ」

実 施 団 体　　ほのぼのさん
市の協働部署　　文化国際課

■　事業の目的
未来を担う子供達に、音楽で達成する喜び、目標に向かって作り上げる達成感を感じてもらいたい。和太鼓という日本の伝統文化に触れながら、一つのものを作り上げる忍耐力、協調性を感じ、多学年の交流の中で、小さい子供達と大きい子供達が仲良くなっていく一体感、充実感を知る。本物のステージが姫路市民の芸術の底上げとさらなる心の元気になると考える。

■ 期待される効果又は達成目標
日本の伝統文化である和太鼓を、４日間体験、練習をした上で、３ 月の自分たちの成果発表の ステージに上がった。本番は、司会者を決め、自分たちの役割をしっかり出来たと思う。子供達が目的に向かって、音楽を楽しみ、追求する姿は、現在の 子供達に必要不可欠な自主的な心を育、さらに大人が音楽で子供達をサポートする。このことは、「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトの目指す「地域の文化力の向上、交流機会の創出、次世代を担う子供達の育成」となった。また、大人が音楽でサポートすることにより、多世代交流にもなっている。

■ 事業概要
公募で集まった子供たちと４回の音響講座で舞台の勉強をした後、５ヶ月間、歌とダンスのレッスンに励んだ成果を３月に発表する。伴奏は、市民の有志による大人たちの生バンド
８月 募集チラシ配布
10 月中旬 オーディション開催
11 月～２月に４回の和太鼓体験。
10 月末～3 月 歌とダンスのレッスン
３月 CD 録音、動画撮影
３月 10 日 姫路駅前広場にて、成果発表

■ 事業総括・感想
コロナが終わり、初めての制限のない成果発表となり、今回の企画の和太鼓体験、歌とダンスが思いっきり発表できたことは非常に嬉しいことである。子供達が、日本の伝統文化和太鼓に触れること、歌やダンスで友達と作り上げたステージは、音楽大好きな子供達を育てる大きな成果だと考えています。今後も、音楽、ステージ、それに携わる全てのものに感謝を持ちつつ、本物のステージを子供達に伝えていき、今後も芸術が多世代交流の核になる事業を目指していきたいと考えています。

地　産　地　消　ひ　め　じ　バ　ル　復　活　祭

実 施 団 体　　赤ちょうちん屋台の会
市の協働部署　　農政総務課

■ 事業の目的

「地産地消ひめじバル復活祭」は、姫路産の海老芋、太市のたけのこ、姫路のれんこん、安富のゆず、いちじくをはじめ、姫路市内でとれる野菜や魚介、姫路和牛、姫路ポーク桃色吐息、坊勢サバなどの地元産食材を使った料理や地酒、特産品を提供する食のイベントを開催する。このイベントを通じて、以下の目的を達成する。

・観光客や姫路市民に姫路の職について再認識してもらい、地元食材を活用した料理の魅力を伝える。
・日ごろ利用しない店を知ってもらうことで、姫路の飲食店の活性化を図る。
・参加店が新たな特産品を開発することで、姫路地域の活性化を図る。
・「あとバル」の開催により、姫路地域全域の飲食店の認知度を向上させ、観光客や来店者の増加につなげ、姫路地域の活性化に寄与する。

■ 期待される効果又は達成目標

地産地消ひめじバルは、姫路およびその周辺の多様な食材や特産品を使用した料理を楽しむ機会を提供し、参加者は飲食店の工夫や味を体験することで、姫路の豊かな食材の精算実態を理解し、地産地消の重要性を実施することができた。バルブック冊子はイベント後もガイドブックとして活用され、参加店の紹介を通じて新しい来店を引き寄せていると思われる

このバルは、地域や街の活性化と飲食店の振興を目指す食べ歩き飲み歩きグルメイベントで、コロナ禍で苦境にあった飲食店が姫路の職を前向きに盛り上げようという取り組みをアピールできた。姫路駅周辺の店舗は客数が戻っているが、駅から離れた地域の飲食店は厳しい状況が続いており、このイベントを通じて姫路一円の飲食店が一体となって、地域の飲食シーンの活性化に寄与した。

■ 事業概要

姫路の中心街で地元産の食材を使った一品が楽しめる「地産地消ひめじバル」を 2023 年 10 月 26 日に開催した。姫路駅前などの繁華街にある飲食店 39 店舗が参加した。参加店ごとに地元産の食材を使った自慢の一品と播磨の地酒などのドリンクをセットし、バル参加者約 1,200 人に提供した。バル参加者はあらかじめ、参加賞となるリストバンド（500 円）を購入していただき、同時に参加店とバルメニューが紹介された冊子上のバルブックを提供した。バルメニューの価格は 700 円～2000 円と、それぞれの店舗により異なり、開催時間も各店舗で異なり、一部の店ではランチタイムから実施した。今回は、新たにバル終了後の「あとバル」を開催し、11 月の 1 か月間、駅周辺や繁華街の飲食店だけでなく、姫路一円の飲食店への来店機会を作り、新たな顧客誘導につなげた。

■ 事業総括・感想

姫路市中心街で「姫路地産地消ひめじバル」を開催した。参加者は姫路やその周辺でとれる様々な食材、特産品を使った料理を味わうことができ、姫路で様々な食材が生産されていることを知り、地産地消について実感できた。

また、初めて参加店に訪れた方も多く、来店の良いきっかけとなった。参加店を紹介するバルマップは、バルが終わった後も各店のガイドブックとして活用されており、バルを通じて新たな顧客の獲得につながった。今回の成功を受けて、バルブック冊子を強化し、イベント後も地元の飲食店や観光地を紹介するガイドブックとして利用できるよう工夫していく。

地元の食材や観光スポットに関する情報を積極的に更新し、地域社会と連携しながら、地元愛と共に成長していく取り組みを展開していく。

「千姫の小径」ライトアップ事業

実施団体　　特定非営利活動法人あかりの街ひめじ
市の協働部署　　観光課

■ 事業の目的

時の最高権力者・関白の妻というファーストレディであり、将軍家康の、またお市の方の孫でもある千姫。その輝かしい名前を冠する「千姫の小径」ではあるが、観光資源として認知の薄いこの道のライトアップ等により、通行の安全・安心と認知度の向上、千姫神社、男山などとともに地域の宝物（＝シビックプライド）だ、という住民意識の高揚によって、観光客の増大、大河ドラマ採用への支援、商業施設の誘発による地域経済の振興を図る。

■ 期待される効果又は達成目標

１、観光客を含め、当初予想以上の来場者があった。
２、あかりの演出により、安全と安心の向上が図れた（来場者アンケートより）。
３、この小径の好感度を上げることができた。
４、継続できれば、新たな事業展開が周辺地域で期待され、地域経済の発展に寄与すると思われる（アンケートの結果から想定）

■ 事業概要

遊歩道の魅力向上を目指し、１）手すり沿いの地表に電球色および多変色のライン照明の設置、２）２m 間隔でフットライトの設置、３）世界遺産登録３０年を記念するロゴマークの投影、４）観月会に合わせて、石垣に千姫を題材にしたプロジェクションマッピングの投影を行う。

■ 事業総括・感想

全体に好評で、所期の目的は達成できたと考えている。
ただ、地元自治体や千姫と関わる諸団体との連携ができれば、もっと大きなうねりが生まれたと考えられ、今後はそうした皆さんを巻き込んだ活動方法を探りたい。
また今回の照明環境を、一時的でなく常設施設とすることが重要と感じており、実現に向けて姫路市の協力が得られるような方策も一考に値する。
あかりの演出でブランドが向上する地域は、城周辺だけでも多数あり、次年度の課題と考える。



「ふるさとの道」調査事業

実施団体　　香寺歴史研究会
市の協働部署　　文化財課

■ 事業の目的

近世以降の香寺町内の道を現在の地図上に再現する。時代と共に失われ或いは姿を変え、人々の記憶からなくなりつつあるこれらの道を調査し記録に残す。同時に沿道の文化財についても調査記録に残す。

■ 期待される効果又は達成目標

近世の道、近代の道、くらしの道など人々の記憶から消えつつある道筋を調査し、記録に残すことができた。同時に、沿線の文化財についても調査記録することができた。

■ 事業概要

近世の道（生野街道、八徳道、市川の横渡しから続く道、峠道）、近代の道（明治・大正時代の道）、生活の道（虫送りの道、そうれん道、牛追い道など）を調査し、現在の地形図に表す。提案型協働事業報告会を開催するとともに『香寺町　くらしの道』として発行、関係先に配布。

・７月中　　調査内容の決定
・８月３日　調査説明会の実施
・８月～10月　地区会員等による調査
・11月～２月　調査票の集計分析及び冊子の編集会議
・２月７日　　令和５年度提案型協働事業報告会開催
・３月29日　　『香寺町　くらしの道』発行・配布

■ 事業総括・感想

・調査に参加できた集落は、１５集落で昨年度より３集落増加した。
・近世の道（生野街道、八徳道、市川の横渡しからの道、峠道）、近代の道（明治大正の村道）は村の文書、絵図面などを参考に丁寧な調査がなされていた。
・各集落の調査結果をもとに、旧道をめぐる作業は、大変ではあるが興味深い作業であった。
・今回の調査のまとめは、『香寺町ふるさとの道』として発行するが、過去３年間の調査結果と共に、学校における地域調べなどに活用されることを望むとともに、地域住民参加の歴史ウォークにつなげることができるとよいと考える。



町家・古民家で感じる姫路の歴史、楽しむ姫路の食文化プロジェクト~姫路の生きた歴史・文化・魅力を城周辺の町家・古民家再生で体感しよう~

実 施 団 体　　シェフネットひめじ
市の協働部署　　観光課

■ 事業の目的

姫路のまちの課題のひとつである滞在型観光に対して、姫路城とその周辺地域が一体となった取り組みやソフト面（食文化）とハード面（姫路城）が一体となった取り組みが充分だとは言えない。今回の取り組みを通じて、姫路の食文化を盛り上げているシェフたちとともに、姫路らしい食事空間や雰囲気づくりにチャレンジする。また、姫路城周辺の家屋・建造物は法や条例の制約を受け、歴史的価値のある建造物が活用されず、解体される事例が散見されるので、行政や市民と協働し、町家・古民家の持つポテンシャルを最大限に引き出す。

■ 期待される効果又は達成目標

姫路城周辺地域の古民家で新進気鋭のシェフによる食事音楽の生演奏と共に楽しむという新しい食文化を市民に提示することができた。また、歴史のまちである姫路らしさを感じていただける新たな観光コンテンツの提案にもなった。地元の不動産や古民家再生事業を検討する実業家にも来場いただき、古民家のポテンシャルを知っていただく機会にできた。また、古民家やカフェなどに興味関心のある市民、学生ボランティアとも連携し、実際に古民家を使用した事業に触れて体験していただく場を提供することができた。

■ 事業概要

町家・古民家を活用した事業に関心のある市民と協働し、城周辺の町家・古民家を活用し１日限定の食事提供と音楽ライブを行う。食事は地元の一流シェフが地元食材をふんだんに活用したランチを出張調理し、同時に地元アーティストによる音楽ライブを行うことで、今後ますます増加が見込まれる国内外の観光客に向け、まちの歴史を感じながら音楽とともに食文化を楽しめる新たな観光コンテンツの創出を目指す。

■ 事業総括・感想

本事業は、来場者や関係者から、またこの事業をやってほしいという数多くの評価の声をいただいた。目標としていた来場者数２００名、食事提供数５０食、出演組数５組をいずれも大幅に上回り、数字にもそれが反映されていると考えている。姫路城を中心とした地域、市民、事業者、行政が協働・連携できたという点、食文化発信の新たなコンテンツを造成・提供できた点では成功を収めたと感じている。ただ、実際に事業収支という観点で考えた際、本事業の収入だけでは人件費や店内の整備・装飾費は到底賄うことができず、古民家を再生・活用し、流動性を高めるところまで事業効果を求めるのであれば、集客やマーケティング、収益化など具体的な経営ノウハウに関するブラッシュアップが必要だと感じた。

全市エリアミュージアム化構想Ⅰ「香寺まるごとエリアミュージアム」

実 施 団 体　　特定非営利活動法人スローソサエティ協会
市の協働部署　　観光課

■ 事業の目的

エリアマネジメントで得た成果をさらに有機的なミュージアム構想に発展させる。そのモデルとして香寺町を取り上げ、既にある地域資源を再編集し価値を高める。また、姫路城から少し足を延ばした旅行先として、観光資源としてのエリアの魅力を外国人を含めた観光客に知ってもらう。

■ 期待される効果又は達成目標

姫路駅中心部から離れた姫路市北部と呼ばれるこの場所は、姫路市中心部のベッドタウンであり、見る場所は何もないと思われがちだったが、実際に香寺に何度も足を運ぶことで、実際の香寺の弱点（東西の移動手段がない、地点と地点を結ぶ交通手段がない）や魅力を実感することができた。「歩いて元気になれる香寺まるごとミュージアム２０２４年」マップや冊子が無事に完成し、配架された。

■ 事業概要

香寺町エリアを対象に、フィールドミュージアムとしてのブランディングをはかった。
①ヒアリング（社会）
香寺町はかつて旧姫路市とは違う組織として独立した行政体制であった。それによる香寺町独自の恵まれた施設や培われた文化と、姫路市と合併した際に失った機能について確認した。
②街歩き（経済）　③グリーンウォーキング（環境）
実際に香寺町を街歩きし、地位資源（小商い商店、地元の工場、神社仏閣等）をピックアップした。また、森の案内人三浦豊さんと共に、緑を見るウォーキングを行った。
④スポットの洗い出し　⑤ミュージアムとして見立て・マップ作り
①～③をまとめ、「見る撮る」「体験」「ミュージアムショップ」など、香寺町全体を各ミュージアムの要素に見立て、ブランディングした。

■ 事業総括・感想

姫路駅から 15 分程度で香呂駅に着くため、JR 播但線の利便性はとても良いのだが、それ以外の行動に制限があり、各スポットへのぶらり訪問ということは簡単にできないという現実を目のあたりにした。現地の店の方々とお話をする中で「姫路市と合併し、香寺へ手が回っていない、もっと香寺観光ＰＲに力を入れてほしい。
こういうマップがあればとても助かる。」と言われていた。






町家等調査（姫路城下町西部地区）

実施団体　　姫路・町家再生塾
市の協働部署　　まちづくり指導課

■ 事業の目的

町家等の保存・活用が望まれる地区における町家等の賦存状況を把握するとともに、未活用の町家等の活用意向を把握する。その調査結果を市の政策の企画立案に活用していただく他、町家等の流通・活用の機運醸成のために活用する。

■ 期待される効果又は達成目標

対象地区における町家等の賦存状況や未活用の町家等の活用意向について詳細な把握を行ったことにより、本事業の実施主体となった当団体、及び実施協力団体である「歴史に出会えるまちづくり船場城西の会」及び「ひょうごヘリテージ機構 H20 中西播磨地区」が、それぞれボランティア、地域住民、専門家の立場で協力して、対象地区の町家等の保存・活用・流通に積極的な役割を担っていくための基盤が構築できた。
また、その成果を活用して開催した報告会には市内外から 66 名の参加があり、対象地区をはじめとする市民における町家等の流通・活用の機運醸成に一定の役割を果たすことができた。

■ 事業概要

姫路旧城下町西部（船場、城西、男山南部）を対象地区として、現存する町家・古民家（「町家等」）を悉皆的に調査し、町家等の賦存状況を把握するとともに、所有者へのインタビューにより未活用の町家等の活用意向を把握する。
7月～８月　対象地区での全数外観調査により、訪問調査対象建物を抽出
9月～11月　対象地区での訪問調査　ー町家等の所有者・居住者に聞き取り調査を実施
３月17日　市民一般を対象に、報告会「姫路城下町の町並み　現状とこれから」を開催し、調査結果の報告、有識者（下間久美子・國學院大學教授）による講演、町家改修の事例紹介を実施。（会場：城の西公民館）

■ 事業総括・感想

今回の調査を通じて、船場川以西の地区には 300 軒余りの町家等を確認でき、野里（200 軒以上確認済）や城東、八代などと合わせて、姫路城周辺には 600 軒を超える町家・古民家が現存していることが明らかになった。姫路の大切な歴史的資産として、しっかりと後世に受け渡していきたい。



オリヒメジプロジェクト～ノーマライゼーションな姫路を目指して～

実 施 団 体　　オリヒメジプロジェクト実行委員会
市の協働部署　　地域福祉課、障害福祉課

■ 事業の目的

障害当事者や引きこもりの方々は、精神または身体への障害により社会参加への大きな壁を感じていることが多く、日常的に孤独を感じたり、孤立したりすることが多い。そこで、全事業において導入した株式会社オリイ研究所が提供するオリヒメという分身ロボットを用いて、企業への就労や学校等での授業への参加を行えるよう支援することで障害当事者や引きこもりの方々の新たな社会進出へのモデル事業を作っていく。

■ 期待される効果又は達成目標

まず、障害当事者によるオリヒメを活用した就労活動については、昨年度実施した本事業によるオリヒメ活用による啓発活動が活きており、興味を持たれた事業所様にてイベント等で就労活動を行うことができた。それにより、実際に事業所様からオリヒメを操作したパイロット（就労当事者）に時給を支払うと事例を作ることができた。次に、教育分野においては、引きこもりの方々やその家族にオリヒメを操作していただくワークショップを開催したり、教育委員会と連携し、他県の学生さんと遠隔で触れ合う機会を得ることができた。

■ 事業概要

障害当事者を対象とした分身ロボット「オリヒメ」を用いた就労活動および引きこもりの方々を対象とした教育分野での活用方法の模索
両分野における啓発活動

■ 事業総括・感想

本事業を通じて、就労・教育分野ともに、分身ロボットオリヒメを活用した将来性を実感することができた。いずれにおいても、オリヒメを用いるメリットとして相手側に自身が見えないのに、コミュニケーションをとることができるということが、障害当事者や引きこもりの方々の社会参加を促進するうえで有益であると感じることができた。課題として、オリヒメとコミュニケーションを取る側にとってオリヒメから聞こえてくる音声が聞こえにくい、Ｗｉ-Ｆｉ環境によって遅延が発生するなどの課題も散見された。これらについては、オリヒメをレンタルしているオリイ研究所の方へフィードバックしていきたいと思う。

旧　市　の　き　さ　き　朝　市

実 施 団 体　　旧市のきさき朝市運営委員会
市の協働部署　　産業振興課

■ 事業の目的

朝市を開催することで、老舗店舗と新規店舗の店主同士や、店主と来場者が会話をしやすいきっかけを作り、町全体で交流を促すことで姫路駅西エリアへ人の流れを作り、地域の活性化を目指す。また、コンビニやスーパーとは違った顔の見える交流、商売を行ってきた卸売市場に由来した旧市の文化を継承していく。

■ 期待される効果又は達成目標

チラシの作成によって、旧市のきさき朝市の周知範囲が広がり、来場者の幅が大きく広がった。また、来場者が増加することで、出店希望者が増え、各出店者が SNS 等で告知を行うことでさらなる来場者の幅が増えるという広がりにつながった。
来場者の常連化も進み、周辺のお店にも行ってみるなど、朝市開催日以外にも街にやってくる広がりにつながった。
ロゴ・看板・タペストリーが完成し、よりイベントの統一感が生まれたことで、イベントのクオリティも上がり、他県からの視察も数件あった。

■ 事業概要

普段通り軒先で営業している旧市場の店主たちに合わせて、普段は別の場所で営業しているお店を空き駐車場に呼んだり、営業時間がずれている地元のお店にも早めに開けて営業をしてもらい、町全体で朝市を開催する。
「旧市のきさき朝市」毎月第３土曜日　９：００～１２：００

■ 事業総括・感想

チラシの作成によって、旧市のきさき朝市の周知範囲が広がり、来場者の幅が大きく広がった。また、来場者が増加することで、出店希望者が増え、各出店者が SNS 等で告知を行うことでさらなる来場者の幅が増えるという広がりにつながった。
来場者の常連化も進み、周辺のお店にも行ってみるなど、朝市開催日以外にも街にやってくる広がりにつながった。
ロゴ・看板・タペストリーが完成し、よりイベントの統一感が生まれたことで、イベントのクオリティも上がり、他県からの視察も数件あった。



姫路駅西空き資源活用プロジェクト

実施団体　　姫路駅西地区まちづくり協議会
市の協働部署　　産業振興課

■ 事業の目的
空き家、空き店舗を減らすためのイベント企画・運営。また、相談会を実施することで空き資源活用のモデルを作り、姫路市内の空き家・空き店舗を減らす。

■ 期待される効果又は達成目標
空き店舗の所有者から活用相談、また、イベント出店者からの出店相談をいただくことができ、今後のマッチングにつなぐことができた。

■ 事業概要
空き家・空き店舗のリサーチ
空き家・空き店舗の整備
空き家・空き店舗を活用したイベント企画・実施
空き家・空き店舗相談・報告会

3/20に空き店舗を活用した「旧市ビルヂング」を実施
相談・報告会も同日実施

■ 事業総括・感想
イベント内容の充実により、上記事業効果だけでなく、他の空き資源を持つ所有者の方や、他の地域の方も来場いただき、情報共有できた。今後もこの取り組みを続けていきたい。

新規　　令和５年度

はなまる元気塾～楽しく健康寿命を延ばそう～

実 施 団 体　　はなまる元気塾
市の協働部署　　地域包括支援課

■ 事業の目的
音読・計算などを毎日の生活の習慣にして、認知症を予防し、健康寿命を延ばしたい。
明るく楽しく元気で歳を重ねていける社会の実現。

■ 期待される効果又は達成目標
７月から１１月まで１６か所で『健康寿命を延ばそう』とプログラムを実施しました。笑顔を大きな声と前向きな気持ちで楽しく過ごすことで皆さんが喜んでくれていることがわかります。笑顔で帰って行かれました。とても喜んで頂けました。ほとんどの人が今後自分の健康寿命を延ばしたいと思って頂くことができました。
アンケートの結果は、家で計算などのプリントをやりたい人が 214 人、やりたくない人が
３人、家で音読をやりたい人が 209 人、やりたくない人が 13 人でした。

■ 事業概要
『蜘蛛の糸　芥川龍之介』の朗読。シルバー川柳の朗読。
唱歌をみんなで歌詞を見ながら大きな声で歌う。
お持ち帰りのプリントは、足し算、100マス計算、ランダムに数字が並んでいるのを順に声を出して指で押さえて読んでいく。サンズイ偏の漢字探しプリント。

■ 事業総括・感想
生活習慣の中で、認知症を予防して、健康寿命を延ばすことを伝え、音読や計算をすることを喜んで続けたいと思って頂くことができて嬉しく思っております。アンケートの結果、ほとんどの人がこれからも家でも取り入れてやってみたいという結果が出ました。今後は、落語を朗読したり、笑えるお話の朗読も取り入れてみたいと思います。

新規　　令和５年度

こどもの ＡＳＯＢＩＢＡ ひめじ基地

実 施 団 体　　旧モノレールあそび場制作委員会
市の協働部署　　産業振興課

■ 事業の目的
・駅西エリアの遊休不動産を活用し、子供たちが自ら自由に遊び、体験できる場所の提供と、同じ思いを持った親子の出会いの場を創出する。
・取り組みを知ってもらい活動を拡大していく。

■ 期待される効果又は達成目標
子どもたちと一緒にあそび場を完成させることができた。期待するイベント、ワークショップの開催はできたが、より多くの親子連れに知ってもらえるよう活動を継続し認知度向上を図る。
集客実績
・月１回開催　小規模イベント・ワークショップ参加人数５～１５名
・年１回開催　大規模イベント約７００名

■ 事業概要
子どもたちの学びや体験となるイベントやワークショップを通じて駅西エリアに新たなコミュニティの創出とエリアの魅力発信による回遊性向上を実現させる。

■ 事業総括・感想
当初の予定通りのワークショップの回数を開催でき、多くの子供たちに足を運んでもらえた。子どもたちの真剣な表情や楽しむ姿を見ることができ、改めて駅西エリアで自ら遊び、体験できる場所の提供と同じ思いを持った親子の出会いの場を創出する重要性を感じた。
今後も活動を継続し認知度アップと事業拡大を図っていく。



新規　　令和５年度

こ　ど　も　ま　ん　な　か　子　育　て　推　進　事　業

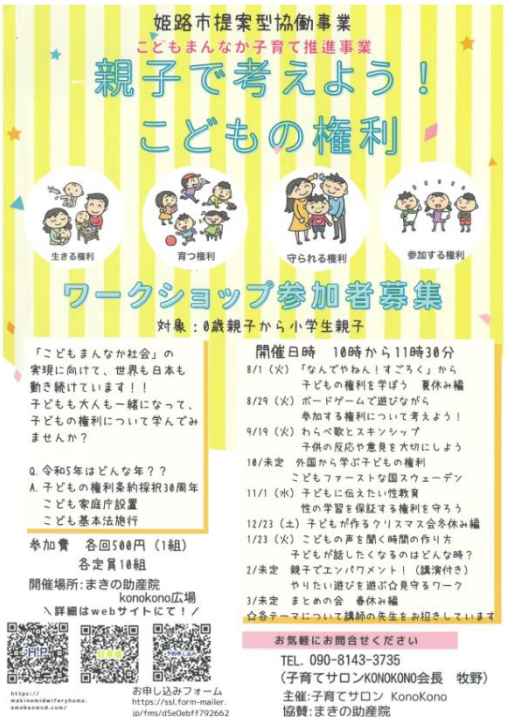
実 施 団 体　　子育てサロン KonoKono
市の協働部署　　こども支援課

■ 事業の目的
・こどもまんなか子育ての推進
・子どもの権利条約について学ぶ機会の提供
・子どもの権利を尊重するとはどういうことかを考える機会の提供
・子どもと楽しくコミュニケーションをはかる機会（遊び方）の提供

■ 期待される効果又は達成目標
・参加者の子どもの権利条約やこどもまんなか子育てへの理解が深まった。
・子どもが自分自身の権利を知ることができた。
・親子のコミュニケーション手段が増えた。
・日常生活の中で子どもの権利を意識できるようになった。

■ 事業概要
子どもの権利条約についての知識を深められるように、定期的に勉強会を開催しました。
子どももー緒に参加しやすいように、わらべ歌の会やすごろくの会やクリスマス会などを開催し、その中で子どもの権利について親子で考える機会を設けました。
子どもの声を聴き、意見を尊重する大切さを共有する機会としました。
講師を招き、より専門的な知識と技術の提供を行いました。

■ 事業総括・感想
令和５年８月から全８回開催し、各回のテーマ毎に講師を招いて、様々な角度から子どもの権利について考えました。延べ大人 65 名、子供 73 名（計 138 名）が参加し、子どもの権利やこどもまんなか子育てについて活発な意見交換を行いました。初めは耳慣れず、自分事として考えることが難しかったことも、一緒に学ぶうちに日々の子育ての中でも子どもの権利を意識することが増え、新たな視点を加えることができたり、学びを深めることができたりしました。



姫路歴史偉人伝・制作伝承プロジェクト ～地域の歴史を彩った人物たち～

実 施 団 体　一般社団法人 Social Eight
市の協働部署　ひめじ創生戦略室

■ 事業の目的

目的：地域の歴史を彩った人物の「姫路・マンガ歴史偉人伝」を制作する目的

1. 歴史の普及と興味喚起 漫画は視覚的な要素や物語の展開を通じて、人々に歴史的な出来事や人物に興味を持たせることができます。地域の歴史を漫画の形で描くことで、若い世代や一般の人々にも歴史への関心を高めることができます。

2. 文化・伝統の継承

地域の歴史を漫画で描くことは、その地域の文化や伝統を後世に伝える手段となります。特定の人物の生涯や業績を漫画として表現することで、地域の歴史や価値観を次世代に継承することができます。

3. ヒーローの創造と共感

漫画に登場する人物は、読者にとってヒーロー的存在となります。地域の歴史的な人物を漫画の主人公として描くことで、読者はその人物の苦労や成果に共感し、自身の人生においても努力や目標達成への意欲を高めることができます。

4. 観光・地域振興

地域の歴史を漫画で描くことは、観光資源としての価値を高める効果もあります。漫画で描かれた人物や場所を訪れることで、観光客が地域を訪れる意欲が湧きます。また、地域の歴史に興味を持った人々が地域に訪れることで、地域の経済や文化にも活気をもたらすことができます。

■ 期待される効果又は達成目標

効果：【事業を実施することにより期待される効果又は達成目標】

□地域の歴史上の人物について副教材を作成する意義

学習者の理解と興味を深めるために有益な方法です。

□歴史上の人物をマンガで描く効果

学習者の興味や関心を引きつけ、情報を視覚的かつ感情的に伝える効果があります。また、マンガは苦手な歴史の学習者にとってもアクセスしやすく、学習のモチベーションを高めることができるでしょう。

□地域の魅力を伝える手段

地域の歴史上の人物を描くことは、地域の魅力を伝える手段として効果的です。彼らの描写を通じて地域の歴史や文化を紹介し、学習者や訪問者に地域の魅力を体感させることができるのです。

□未来への継承につながる

マンガを通じて彼らの物語や価値観を伝えることにより、学習者の関心や理解を深め、未来の世代にもその影響や教訓を伝えることができるのです。

■ 事業概要

漫画家漫画「姫路ゆかりの偉人たち」「日本語版と英語版」、「デジタル本と印刷本」を制作 デジタル本は、Social Eight ホームページから展開、姫路教育委員会に提出。 印刷本は、図書館や公民館、公共施設にも設置他、3/4 小学校校長会、3/6 中学校校長会の場を借りて、他、高校の部もあわせて、日本語版 1500 冊、英語版 1000 冊を提供。

■ 事業総括・感想

ひめじ創生戦略室と共に「姫路ゆかりの偉人たち」の漫画の制作を企画し、広く伝承していく活動をスタートしました。第一巻 では、「 原爆症研究の父 」である初代名誉市民「都築正男」氏の漫画とともに 8 人の偉人たちを紹介しております。この活動では、「 歴史の普及と興味喚起 」「 文化・伝統の継承 」「 ヒーローの創造と共感 」「 観光・地域振興 」を目的としており、Social Eight が主催する 「 Himeji 城育 」 の中にある地域探求講座から生まれました。さらに、出来上がった漫画本（日本語版・英語版）は、広くデジタルや公共の場を通して、より多くの人に読んでもらうことを狙いとしており、少しでもお役に立つのであればという想いの中、共感いただける方々と協力して制作してまいりました。未来世代にもその影響や教訓を伝えていくことで「シビックプライド」が生まれ、誇りとなっていくことを願っております。



「香寺文化語り部ＱＲ」活動

実施団体　　姫路市香寺文化協会
市の協働部署　　文化財課

■　事業の目的

香寺町内の文化財、民俗文化保存活動を利用者に解りやすく記録・紹介して多くの市民に知ってもらい親しんでもらうこと及び現在行われている民俗文化活動の維持・活性化を支援することです。

■　期待される効果又は達成目標

次の様に二分されていると思います

1）利用された方：「素晴らしい企画と内容です」、特に文化財の維持保存活動をされている方からは支援活動として喜ばれています。

2）利用頻度が少ない（推定）：理由として「高齢者はQRコードになじみがない、使い方が分かりにくい、等。若い年代は文化財になじみがない、等」と推定されます。

■　事業概要

成果物として、52件の文化財情報をQRコードで視聴できるリーフレット速報版を2024年11月に8500部、完成版を2025年２月に10,000部印刷し、３月末までに各8500部を香寺町内全戸、各拠点、関係者に配布・陳列しました。名刺版、掲示用ポスターも作成しました。トップページ・名刺版のQRコードを読み取ればすべてのテーマの音声ガイド、説明文、写真・動画、ガイドマップを視聴できるように工夫しました。（下記）

←トップQRコード

注：「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

■　事業総括・感想



1）ＱＲコードを利用することで、音声と画像で分かりやすい文化財の記録・紹介資料が出来たと思います。

2）利用頻度が少ないので、来年度は普及活動が注力していきます。

3）取材時に、最近いくつかの伝統行事が無くなっていることがわかりました。原因は高齢化、少子化で、コロナ禍が拍車をかけました。一度無くなると復活するのはかなり困難と思われるので、音声と映像で記録・紹介する意味を感じました。保存活動や来客施設に対して、少しでも支援が出来たとすれば幸いです。

「千姫の小径」拡大ライトアップ事業

実施団体　　特定非営利活動法人あかりの街ひめじ
市の協働部署　　観光コンベンション室

■ 事業の目的

趣きのある名がついた「千姫の小径」に光を当て、観光資源として、またシビックプライドとして知名度や価値の向上を図るとともに、暗さもあるこの歩道をライトアップにより、安全、安心の向上を目指す。
今年度は、提案している照明環境が恒常的なものになるよう、地域と協力して取り組む契機とする。

■ 期待される効果又は達成目標

通行量調査から、ライトアップ実施中は、平時よりもおよそ３割、通行者の増加が見られた。
アンケート調査は実施していないので通行された方の声を集計していないが、２、３の方から明るくなった、いつまで？など事業を評価する声があり、ライトアップに関心を抱いていることがうかがえる。
また、足元灯による明るさの確保が、この事業の目的のひとつである安全・安心に寄与したと考えている。

■ 事業概要

姫路城の西側、外堀を兼ねた船場川と中堀とを隔てる堤道がある。散策路として市民に愛用されているこの小径は、男山の千姫神社や千姫御殿のある西の丸にちなみ、「千姫の小径」と命名されている。この道の市之橋東詰めから北は清水門西まで、およそ５００ｍに２～３ｍ間隔で足下灯を設置し、観光資源・地域プライドの価値向上と、暗さの解消で安全、安心の向上を図る。

■ 事業総括・感想

助成額が、申請の半額となり、実施するかどうかを含め悩み、混乱し、苦労したが、実施の効果、成果はあり、やってよかったと考えている。
期間中だけではあるが、暗さが解消され安全、安心が向上、また足元灯により光のリズムができ景観的にも質の高い場を提供できたと考えている。
ただ、費用の面から、あかりの変化がワンパターンとなり、やや単調になったことは否めない。また最重要と考えていた地域との連携は、実施判断の遅れや主体自治会の選択の問題等で、当方からのアプローチができず、不十分なまま実施となったことは残念なことと考えている。



頭と体を同時に使う「コグニサイズ」を活かした「ふれあいサロン」の活性化

実施団体　　認知症予防教室一輪会
市の協働部署　　地域包括支援課

■ 事業の目的
頭と体を同時に使う「コグニサイズ」を活かした「ふれあいサロン」の活性化及び参加者の認知症予防に取り組むことを目的とします。

■　期待される効果又は達成目標
関心度の高さにビックリしました。

■　事業概要
国立長寿医療研究センター考案の「コグニサイズ」を活かしたプログラム

■ 事業総括・感想
〇総じて、「いきいき百歳体操」の後半時間を利用した活用でした。
〇中には、「いきいき百歳体操」を本事業プログラムに切り替える会場もありました。
〇初めての体験のプログラムという内容のために、多くの会場では関心度は高かった雰囲気でした。
〇何よりも、多くの会場では笑顔の輪が多かったように思いました。
〇会場によっては、自治会役員さんも、会場に来られて一緒に参加される場面もあり感謝です
〇姫路市議会議員・県議会議員の先生が来られてビックリしました
〇後日、連絡があり「認知症が大きな社会問題となっていますが、このような活動は大変有意義と思います、頑張って下さい」とのエールを頂き活動上大きな励みとなっています。
〇民生委員並びに包括支援センターの方々には、ご支援・ご尽力頂きました事に感謝申し上げます。
〇希望・要望があれば、積極的に再度の支援をさせて頂きます。
〇今後は「コグニサイズ」を通じて各地で認知症予防の一つとして活動の輪を広めていきます。

歴　史　の　道　を　歩　く

実 施 団 体　　香寺歴史研究会
市の協働部署　　文化財課

■ 事業の目的
令和５年度事業で調査した近世の道の中から生野街道を選び、公募した人々と共に歩く。多くの人に今も残る生野街道を知って貰うとともに、沿線の文化財についても紹介する。

■ 期待される効果又は達成目標
・多くの人に生野街道や沿線の文化財等について知って貰うことができた。
・香寺歴史研究会と船津町の歴史研究グループとの交流の場とすることができた。
・香寺町の歴史について認識を新たにしてもらうことができた。

■ 事業概要
・開催日　令和６年 10 月 26 日（予備日ー27 日、11 月２日）　参加者　65 名（欠席６名）
・コース　南コース：香寺事務所～仁豊野駅　　北コース：香寺事務所～溝口駅
・準備等　香寺事務所駐車場借受け、コースの地図、沿線文化財説明書、保険加入
・先導、説明、見守役の会員３名を配した４班に別れ歩いた。文化財の紹介等も実施

■ 事業総括・感想
・今年度は昨年の調査結果に基づき実際に生野街道を歩くという初めての試みであった。
・その為に、準備に多くの時間を要した。また長い距離を歩くことから疲れによる体調不良者の心配をしたが、全員が無事に歩き終えたことは大変良かった。
・「広報ひめじ」、香寺町内全戸にチラシ配布で募集したが応募は少なかった。「生野街道」がそれほど知られていなかったことや往復はがきによる応募方法などが原因と推測された。また、地域の行事と重なったことも原因と考えられた。インターネット利用などを検討すべきであった。
・それでも、改めて声掛けすることによって当初計画していた人数が集まったことは良かった。参加者からの感謝、毎年実施すべきといった意見を頂戴したことは意義深いことであった。

姫路城築城石持道の情報発信による観光地域づくり事業

実 施 団 体　　築城石持道研究会
市の協働部署　　観光コンベンション室、城郭研究室

■ 事業の目的

姫路城の築城に際して材木や石材の運搬路として整備、活用されたと言われる野里街道を中心として、姫路城築城に関わる遺跡、史料の研究、整理を行い、その成果を市民や観光客に広く提供することにより、新たな視点による観光地域づくりを推進することを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標

姫路城と城周辺地域との関わりという新たな視点による観光地域づくりの提案として、姫路城から北東に位置する増位山周辺の築城用石材採取地後と同地と姫路城を結ぶ野里街道を「姫路城石垣普請の道」として紹介するパンフレットを制作した。制作したパンフレットは、広く一般に提供するとともに、城郭研究の専門家、専門機関にも広く提供した。また、専門家による公開講座や現地説明会を開催し、市内外から多数の参加者を得て、本事業で提案する観光地域づくりの有効性を確認することができた。

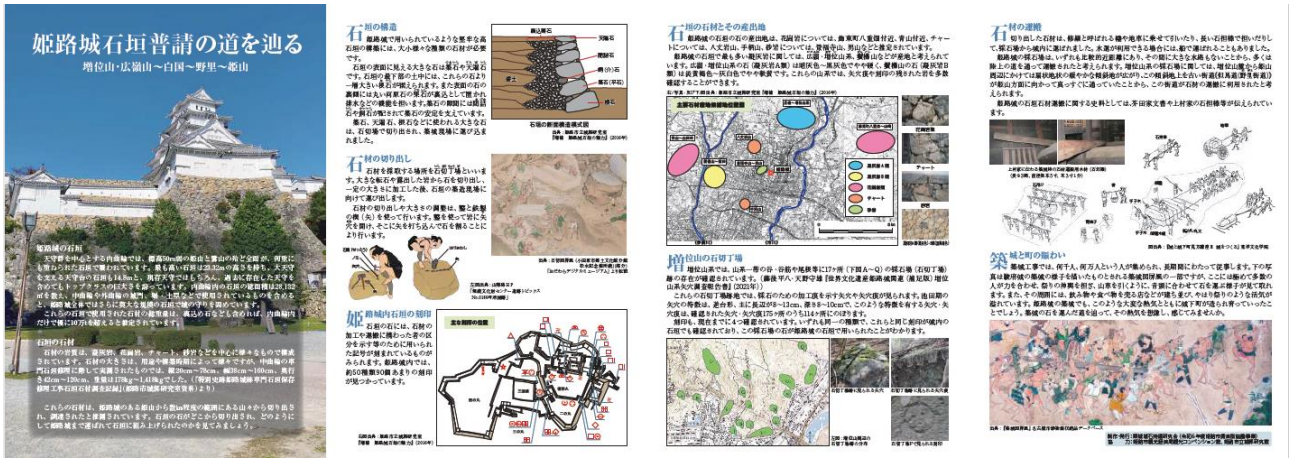
■ 事業概要

姫路城の築城過程に関する情報提供の充実を図り、新たな歴史文化観光ルートの開発を提案することにより、新たな側面から姫路城と城下の地域の魅力を高めることを目指して、以下の各取り組みを行った。

・築城資材調達に関する公開講座、石切場と石持道の現地説明会
・石切場及び石持道を図示した「姫路城石垣普請の道を辿る」パンフレット制作

■ 事業総括・感想

現地説明会は交通の不便な山中を起点として実施したにも関わらず、定員を超える応募があり、実施後にも極めて好意的な感想をいただけた。本事業で提案した視点の可能性を大いに実感した。



観光づくり事業　　令和６年度

家　島　フ　ォ　ト　ク　エ　ス　ト

実 施 団 体　　家島観光まちづくり協議会
市の協働部署　　観光コンベンション室

■ 事業の目的

瀬戸内海に注目が集まっている今、姫路城だけではなく姫路市には家島諸島という魅力があることを周知する。四季折々の写真、個人的なお気に入りスポットなどを発信・展示して「見る」という行為を通して、島内外の人たちがまたその瞬間に出会いたくなり、島に足を運ぶ機運を高める。島を冒険して家島を見つめ、写真を「撮る」という行為を通して、新しい発見や気づきを得られる機会となる。
そして、2025 年の万博や瀬戸芸の旅の前後に家島諸島にも滞在してもらいたい。

■ 期待される効果又は達成目標

『家島・今は昔・今は未来』写真展では、昔の白黒写真を見ながら懐かしい話や思い出話で盛り上がり、島民からの評判も良く、また展示してほしいとの声もありました。
『家島百景フォトコンテスト 2024』と『家島フォトクエスト体験』は島外からの参加者が多く、企画をきっかけに初めて島を訪れた人がいたことが大きい収穫で、今まで足を運んでくれていた方もまた家島を体感する時間となったようです。撮影や写真を通して島の方との交流ができる仕組みが好評でした。
真浦区民総合センターで開催した島民による写真展『ハレとケ』をはじめ全体のコンテンツ写真作品展は、家島の四季折々、様々な時間帯の魅力ある景色や歴史を感じる写真をたくさんの観光客などに見てもらうことができた。
●ワークショップ参加者９名(2 回開催)
●フォトコンテスト参加者 103 点 54 名。
●写真展来訪人数１回目、160 人。
●2 回目来訪人数 560 人で合計 720 人の来訪者が写真展に訪れてくれた。
全体を通して、各コンテンツそれぞれに新たな家島ファンを呼び込む魅力と可能性を感じた。

■ 事業概要

家島の観光スポットの発信、来島を促すためのインスタグラムよるデジタルフォトコンテスト、「家島百景」や『家島・今は昔・今は未来』写真展、使い捨てカメラを使用したワークショップ、「家島フォトクエスト」島民の写真展「ハレとケ」、全フォトコンテスト応募作品を含む全体の写真展をおこなった。
アーティスト喜多直人が宮城県塩竈からフォトコンテストの準備やワークショップの打ち合わせや準備のため来島、８月 20 日まで滞在した。滞在期間：７月 18 日～８月 20 日
家島百景フォトコンテスト 2024 投稿応募期間:8 月１日~10 月 20 日
アーティスト喜多直人が宮城県塩竈から家島に来島。滞在期間：９月 18 日～11 月 13 日
ワークショップの準備や、９月 28 日と 10 月 12 日のワークショップの講師、10 月１日～15

日に交流センターで行われた『家島・今は昔・今は未来』写真展の準備、設営、撤去、11 月８日から真浦区民総合センターの全体の写真展の設営準備のため来島、11 月 13 日まで滞在し、11 月 13 日に宮城県塩竈に帰った。
『家島・今は昔・今は未来』写真展 10 月１日～１５日
家島フォトクエスト体験(ワークショップ)９月 28 日・10 月 12 日
全体の写真展（島民の写真展「家島のハレとケ」）11 月８日～1 月 31 日

■ 事業総括・感想
写真という媒体は、広く拡散する時にも効果的だし、今島を歩きながら想像をかきたてられ撮影した写真もまた家島の歴史の一枚となっていくと思う。100 年くらい前の写真は、時代を飛び越えてそれぞれに感じることができ、ある種の没入感を体験できた気がする。各コンテンツ毎に続けていけると家島の各種団体とさらなる連携企画が生まれそう。

元料理割烹「丸安」の飾磨まち歩き拠点化事業

実 施 団 体　　飾磨ひろめ隊
市の協働部署　　まちづくり指導課

■ 事業の目的
「丸安」を飾磨まち歩きの拠点化することにより、飾磨の魅力をまち歩き参加者に伝えることが出来、同時に「丸安」のイベント利用の依頼も期待でき、地域活性化を図る。

■ 期待される効果又は達成目標
①「丸安」の魅力を幅広く発信することが出来た。
②飾磨ひろめ隊の PR・認知度をアップすることが出来た。
③飾磨の町の歴史・文化の発信により、次世代への地元への愛着や誇りを醸成することが出来た。

■ 事業概要
飾磨の魅力、すばらしさを語れる３人の専門家の方に、４回の専門講座と、それに関係する「飾磨まち歩き」を企画・実施する。
９月２１日、翌年３月１５日の２回、川島智生教授（建築史家）に「丸安魅力講座と飾磨まち歩き」
１０月２６日、足立裕美子氏（兵庫ヘリテージマネージャー）に「銀の馬車道講座と飾磨まち歩き」
１１月２３日、柏山泰訓氏（室津「嶋屋」友の会事務局長）に「北前船講座と飾磨まち歩き」

■ 事業総括・感想
・事業として、内容はとても充実しており、あとは継続により、全ての面でのパワーＵＰを図っていきたいと思っている。（内容、人・スタッフの充実）
・飾磨活性化のポイントは、我々等の活動プラス、飾磨港の再構築が必要と強く感じます！





観光地の集団的孤立を防ぐエリアミュージアムネットワーキングプロジェクト

実 施 団 体　　特定非営利活動法人スローソサエティ協会
市の協働部署　　観光コンベンション室

■ 事業の目的
２大観光地である姫路城と書寫山を有機的に結び、その周辺の施設や道、商店等との関連性を高め、多様な姫路滞在方法を提案することで、観光客がただ観て帰るだけの The 観光地ではない、姫路の人々の暮らし・歴史・偏愛を垣間見る解像度の高い観光のかたちを生み出す。

■ 期待される効果又は達成目標
これまで姫路中心部の観光マップといえば、姫路駅から姫路城をつなぐマップが多用されており、姫路城到着がゴールであった。しかし、姫路城を中心とした東西南北の歴史・アート・小商いなどの楽しい見所を散りばめた広域マップを作成したことで、旅行者が姫路城以外の素敵な場所を知り、散策するチャンスが増え、姫路滞在の時間が長くなることが期待できる。

■ 事業概要
①姫路城エリアのまるごとミュージアムマップの作成
the 観光地といわれる施設とその周辺にある野里や
城の西エリアの小さなモノや五感で感じるコトなど
を落とし込んだ、歴史とアートの極私的マップを作った。



②姫路城エリアと書写エリアとをつなぐルートづくり
姫路駅・姫路城から書寫山へ自転車で向かった場合の、安全で楽しい道を探った。バスや車では目に留まらないような小さな出会いを楽しめるものにした。
③書寫山グリーンウォーキング
森の案内人である三浦豊さんと一緒に木々の解説を聞きながらウォーキングをすることで新たな魅力に出会った。
④エリアネットワーク観光の情報発信
姫路城への観光旅行のプランニングの段階で、野里や城の西、書寫といった周辺観光エリアも訪れる計画のアシストを試みた。

■ 事業総括・感想
「姫路にはぜひ泊まってみたい趣のあるホテルがない」「小さな取り組みは多様な団体が行っているが、姫路全体で連携して取り組む必要がある」と観光に携わる方々から同じような話を聞いた。一方で小さな情報は SNS で頻繁に配信することで、情報の鮮度と面白さが観光客に直接伝わる実感がある。大きな受け皿の役割と、小さな情報配信の役割をうまく連携させることが大切だと思った。

ＨＩＭＥＪＩ　Ｍａｎｉａｃｓ　プロジェクト

実施団体　　ライフスパイス
市の協働部署　　観光コンベンション室

■　事業の目的

姫路はヨーロッパからの観光客が多い。姫路城が目的であるが、京都や他の観光地から来たこともあり、寺や城に飽きている人も多い。そんな中、姫路にリピートする一定の割合の方に理由を聞くと「姫路で出会った人にまた会いたい」という回答。それならば姫路でお城だけではない切り口で文化を伝えること、同時に顔の見える関係性を築くことを目的に実施しました。

■　期待される効果又は達成目標

①秋祭り/大塩の秋祭り　ホームページ（日本語/英語）を作成。次年度から来姫者に案内できるものができたと思う。
②来年も案内できる秋祭りツアー、また夜の観光が足りない姫路のまちのナイトツアーも開催できることがわかったので継続してやりたい。
③ミニライブを目当てに遠くから来ていただいた方もいらっしゃった。姫路の中だけでない方々にも町家の日に足を運んでいただくきっかけとなった。

■　事業概要

姫路城や書写以外の魅力を、姫路のヒトを通じて発信するツアーを作ります。
①姫路の狂気、秋祭りを紹介するツアーとそのホームページ作り。
②姫路城をこよなく愛する人たちによるナイトツアー
③町家に想いを寄せる人と出会う　町家の日ミニライブ。
そんなヒトたちを垣間見たり、一緒に楽しんだりすることで将来のリピーターや旅行人間での PR を促進するプロジェクトです。

■　事業総括・感想

団体でのツアー販売がさまざまな意味でハードルが高かった。工夫が必要ではあったが、海外からのツアー参加者からの質問やフィードバックを聞き、新たな視点と改善点がよくわかったので、来年度の実施時につなげたい。



「手柄桜」普及プロジェクト

実施団体　　見野古墳群保存会
市の協働部署　　公園緑地課、農業振興センター

■ 事業の目的
近年、新発見された「手柄桜」の普及を図り、姫路市民に親しんでいただくと同時に観光（公共施設等）の名所を作っていく。

■ 期待される効果又は達成目標
今後、新発見された手柄桜の認知が広がり、姫路市民や観光に対するPRができます。

■ 事業概要
近年、新発見された「手柄桜」の苗木を栽培し普及を図る。今後、公共施設等に植栽していく。

■ 事業総括・感想
今年度の活動を生かし、来年度以降も接ぎ木等の活動を行い、「手柄桜」の普及を図っていきます。

駅西まち歩きで地域と親子のふれ合い創出

実施団体　旧モノレールあそび場制作委員会
市の協働部署　産業振興課

■ 事業の目的
戦後の卸売市場としてのまち並みを残しつつもリノベーションまちづくりが進む姫路駅西エリアにおいて、まちを歩きながらエリアの魅力を発見したり、地域の人達や子育て世代の交流を深めることで子供達の「遊び・学び・気付き」を促す。

■ 期待される効果又は達成目標
集客実績
・こどもアートフェスティバル　５５０名
・まち探検企画「サンタを探せ」　５０名
・DIY 企画「ベンチをつくろう」　２０名

■ 事業概要
交流イベントやワークショップの開催
・こどもアートフェスティバル開催
・まち探検企画「サンタを探せ」開催
・DIY 企画「ベンチをつくろう」開催

■ 事業総括・感想
親子ふれあいの機会を駅西エリアとして創出出来たと感じている。
次年度以降は自走できるよう、より一層子供たちに喜んでもらえるよう事業を推進していく。

移　動　子　ど　も　食　堂

実 施 団 体　　特定非営利活動法人　菜の花企画
市の協働部署　　こども支援課

■ 事業の目的
生活困窮家庭へのこども食堂の開催情報の提供を、食事の提供もしながらより多くの人に知ってもらう。

■ 期待される効果又は達成目標
各日 200 個のおにぎりと情報ファイルは、平均 15 分くらいで配布され、400 人の方へ情報をお渡しした。また、当こども食堂への来店も見られた。

■ 事業概要
12 月７日、８日の両日とも、10 時～16 時にこども食堂 PR を実施
（11 時に 75 個、12 時に 75 個、13 時に 50 個のおにぎりとクリアファイルを配布。空き時間はマジックショーやけん玉体験会などを実施）

■ 事業総括・感想
12 月７日・８日共にお天気に恵まれ、延べ 400 名の子供たちにおにぎりと市内のこども食堂情報クリアファイルを配布。もともとは、チラシと QR コードの配布予定だったが地図・一覧・永久カレンダーを印刷したクリアファイルをお渡しすることで、今は必要なくてもと言う方の手元にも残る形となった。クリアファイルを駅前で配布したことにより、こども食堂と無縁だった子にも情報ツールが手渡され、使う使わないが見えにくくなることで、こども食堂いじめ問題（こども食堂の利用を知られると貧乏だといじめられる）の緩和の糸口となったと考える。事前周知のおかげか、おにぎり配布も 11 時・12 時・13 時の１時間ずつを配布時間に設定したが、各時間７分～15 分で配布終了となった。配布に携わった障害者ボランティア・サポートボランティアともに、子供さんの喜ぶ笑顔に同じく笑顔でお渡ししている姿が印象的であった。この事業の必要性を再認識した。来年度以降も、引き続き継続して行おうと思う。



はろべproject

実施団体　　子育てサロンKonoKono
市の協働部署　　保健所健康課

■ 事業の目的

・妊婦さんとその家族が、生まれる前から心理面や環境面の準備をできるようにはたらきかけること
・妊娠中になるべく多くの産後支援子育て支援の場があることを知る機会を提供すること
・出産前から支援者や親同士のつながりづくりができること
・妊娠、出産、育児について信頼できる情報と支援を届けること
・子育て期における防災の知識を得ることができること

■ 期待される効果又は達成目標

・妊婦さんとそのご家族が、妊娠・育児に向けて良質な情報や多職種の支援者とつながる機会を得ることができ産後の支援が増えた。
・親同士のコミュニティを形成することができた。
・産後の孤立防止の効果がみられた。
・子育て期における防災の知識を得ることができた。

■ 事業概要

妊婦さんご夫婦を対象とした全３回コースの産前講座を１期と２期の２クール開催しました。助産師、保育士、歯科医師、管理栄養士、理化学療法士、臨床心理士という多様な専門職種が講師を務め、様々な角度から産前産後に役立つ知識を提供することができ、産後すぐに頼れる場所が確保できるような機会となりました。また子育て期の防災特別講座も開催しました。

■ 事業総括・感想



３回コースの講座では、知識の提供だけではなく産後に頼ることができる関係性づくりに重点をおき、妊婦さんやその家族が産後すぐに頼れる場所が確保できるよう努めました。結果として、参加者の方が出産前後に不安や困難を感じた際に、はろべびprojectメンバーを頼って質問をしてくださったり迅速に産後ケアを利用したりしつつ産前産後の不安や悩みを軽減することができprojectの成果がみられ、このprojectの必要性を改めて感じることができました。また、防災意識が変わったというご意見もたくさんいただくことができました。

ｓｏｕｎｄｓ　ｋｉｔｃｈｅｎ　姫アニ DISCO

実 施 団 体　　sounds kitchen universal 実行委員会
市の協働部署　　産業振興課

■ 事業の目的
姫路市の活性化・文化継承・インバウンドの交流

■ 期待される効果又は達成目標
姫路駅前から大手前公園にかけて商店街から、その日より多くの観光客が来られて活性になったと聞きました。
事業後も SNS で多くのかたが UP されて来年もスキルアップして行ってほしいとコメントいただきました。

■ 事業概要
アニソンを使用した新たな盆踊り、キッチンカー 縁日イベント
謎解きイベントの開催

■ 事業総括・感想
昨年よりも多くの方に来場していただき嬉しい限りです 姫路が世界を越える街！！それを目指して来年も皆様が楽しめるようコンテンツ作成に励みます。



ＯＮＥ　ＤＡＮＣＥ　ｉｎ　姫音祭

実施団体　　キミレバ・ワン
市の協働部署　　文化国際課

■　事業の目的

本事業は、播州地域に点在する多様なダンススタジオや若者たちが姫路に集い、地域を越えたつながりと学びを育むことを目的として実施しました。
ダンスを軸とした文化活動を通じて、姫路に息づく表現力や人の魅力を可視化し、地域への誇りや愛着を育むとともに、播州ダンスカルチャーの活性化と発信力の向上を目指しました。
また、市民的文化祭「姫音祭」との共催により、ダンスに限らず音楽や市民参加型企画との融合を図り、多世代・多分野の交流が生まれる開かれた文化の場を創出することを目的としました。
あわせて、部活動の地域移行（姫カツ）を見据え、地域が担う新たな学びの場としての可能性を探る取り組みとして位置づけています。

■　期待される効果又は達成目標

・スタジオや世代の枠を越えた交流が生まれ、播州地域における文化的なつながりが強化されました。
・若者が地域文化の担い手として関わることで、地域への誇りや主体性を育むきっかけとなりました。
・運営体験を通じて、生徒たちは社会性や協働する力を学び、学校外での実践的な成長機会を得ることができました。
・発信活動を通じて、姫路・播州エリアの文化的魅力を内外に伝えることができました。

■　事業概要

・播州エリアのダンススタジオ・チームによるパフォーマンス発表
・市民的文化祭「姫音祭」との共催による音楽・文化コンテンツとの融合
・東洋大学附属中学校・高等学校の生徒によるパフォーマンス出演
・同校生徒によるイベント運営スタッフ体験（受付、進行補助、設営等）
・SNS や映像を活用した事業の記録・発信

■　事業総括・感想

本事業は、播州地域のダンススタジオや若者たちが姫路に集い、表現活動を通じて地域を越えたつながりを育むことを目的として実施しました。
市民的文化祭「姫音祭」との共催により、ダンスに限らず音楽や市民参加型企画と交わる、開かれた文化交流の場となりました。
また、東洋大学附属中学校・高等学校の生徒が、パフォーマンス出演に加えてイベント運営にも関わることで、表現と運営の両面を体験し、地域と関わる実践的な学びの機会となりました。 世代や

立場を越えた自然な交流が生まれ、地域文化への誇りや愛着を育むきっかけになったと感じています。

本事業で得た経験やつながりを活かし、今後も地域とともに育つ文化活動を継続していきたいと考えています。

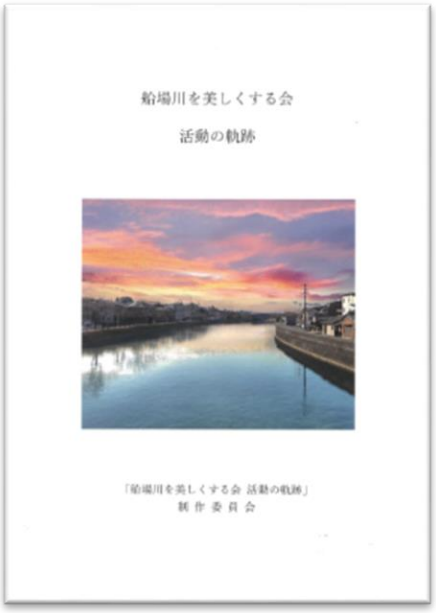


（仮）冊子「船場川を美しくする会　活動の軌跡」刊行

実 施 団 体　　船場川を美しくする会
市の協働部署　　飾磨支所、河川管理課

■ 事業の目的
船場川が抱える問題を周知することで環境保全の重要性を訴え、試行錯誤を経て現在に至る清掃方法を共有することで市内清掃活動の効率化を図る。
また、これまでの本会の活動内容を周知することで市全域のボランティア精神の育成を図り、これから活動を始めるスタートアップ団体への情報提供となることを目的としました。

■ 期待される効果又は達成目標
・官民協働の重要性の再認識
・住民コミュニケーションの活性化
・地域間交流の促進
・地域資源の価値向上



■ 事業概要
団体を設立する至った経緯、団体の活動内容、それに付随する官民協働の内容などを１冊の報告書としてまとめ、部数３００冊を作成しました。完成した冊子は各種団体に配布し、各々の団体の活動に役立ててもらうこととしています。

■ 事業総括・感想
団体を設立するに至った経緯や当時の地域の熱意、これまでの活動内容を、後世の住民にも目にしてもらえる形として遺せたことはよかったと思います。時間的な制約がある中でも、当初、冊子に盛り込みたいと考えていた内容は概ね網羅できたと考えています。
本格的な人口減少時代に突入し、今のところは市役所で出来ている業務も、今後は色々な制約を受けることが予想されます。そのような時代であるからこそ、官民が手を携えて課題解決にあたることが大切になってくると思います。
本冊子が、清掃活動に限らず、これから官民協働で何かを始めたいと考えておられる方の一助となれば幸いです。

「男山、あかりの魅力アップ事業」

実施団体　　特定非営利活動法人あかりの街ひめじ
市の協働部署　　ひめじ創生戦略室

■ 事業の目的

歴史、文化、人材など多彩な資源がある城の西地区は、その魅力に比較して、今まであまり脚光を集めていない。そこで地域のシンボル的存在である男山の、何気ない風景に、「あかり」を当て、新たな魅了の創造と隠れた宝の再発見から、地域経済の活性化、地域ブランド向上等により、住み続けたい街という情報発信を行い、関係人口の増加を目指すことを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標

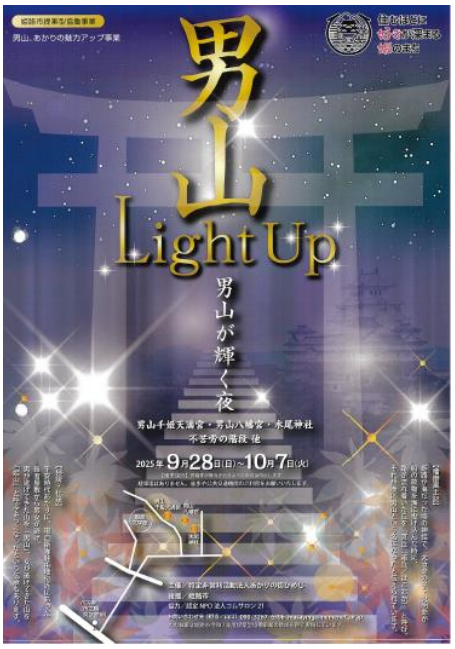
当初来場見込みは、ライトアップが外部からは見えにくいことや当法人の伝達能力等から２～３０人／日程度と想定していたが、連日 50 名を遥かに上回り、１０日間の総計では 800 人を超えるのではないかと推定している。来場者の感想は、総じて好評であり普段とは異なる表情を発見するという効果は、十分達成できたと考えている。また関係者からも好意的に受け止められており、地域ブランドとしての価値向上にも貢献できたと考えている。

■ 事業概要

地域のシンボルである男山の八幡宮、水尾神社、千姫天満宮および各神社をつなぐ参道を変色する LED スポットライトやライン照明また八幡宮の拝殿床に神社ゆかりの画像や姫路市のブランドコピー等をプロジェクションマッピングでの投影、階段手すりにライン照明といったライトアップを行う。また実施状況が周辺からは見えづらいのでサーチライトによる光の放射を行うなど、普段とは違う男山の景色を創出する。

■ 事業総括・感想

来場者数、アンケートの結果、関係者の評価等から、私たちのライトアップによって、地域のシンボルである男山の新たな魅力を表現、発信できたのではないかと思う。また従来、当法人が非力であった情報発信力も、知人らの協力を得たＳＮＳでの発信が力になり、想定以上の来場者を迎えることができたのは、大きな発見であった。
ただ支出が想定を超えたことは、必要な経費であったとはいえ当初の計画の適正について検証する必要を感じている。



クリーンアップ・コミュニティ～“好き”をみつけよう～

実 施 団 体　　ひめじ西里山サポート倶楽部
市の協働部署　　ひめじ創生戦略室

■ 事業の目的

姫路の西エリアには、姫路市が誇る農産物特産品がありますが、高齢化や人口減少によって消滅危機が危惧されています。そこで、これらの課題を抱える生産者や地域住民との交流をキッカケに、地域の実情と魅力を再発見するとともに、その資源活用を図り、新たな“好き”なモノと人と出会い、大切な仲間となって地域を支え合う風土づくりを目指すことを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標

ブランドロゴの認知は、ＷＳや交流会を通じて、竹にレーザーで印刷するなど愛着が持てるように工夫し、また、太市の竹を活用したキーホルダーや名札、竹あかりなどで普段使いできることで、太市の魅力の発信と新たな魅力に気づくことができました。また、書写でも活動拠点としたことで、障害者やその家族とも出会い、新たな好きな居場所づくりに貢献できたと思います。
そして、太市での取り組みが石倉住民に対して理解を得るキッカケとなり、次年度に森林イベントでコラボすることが決まったことは、閉鎖的な風土を変えるはじめの一歩だと感じています。

■ 事業概要

・太市の竹資源を活用した竹あかりの製作展示、姫路ブランドロゴを活用したＷＳの開催
・安富のゆずと大規模農園での収穫体験を通じ、ボランティア活動のキッカケづくり
・交流会を通じた多世代での触れ合い（ゴミ拾い、防災訓練、アートＷＳ）
・太市の竹林フィールドを活用した竹林整備体験（伐採、竹飯ごう体験、竹クラフト体験）

■ 事業総括・感想

ブランドロゴ・メッセージについては、まだ認知不足は否めません。ただ、どの人もロゴの意味やデザインについて、興味と愛着を持たれていたことは、いろんな活用方法があると感じています。
今回の事業は、多くの方々との支援と運もあり達成できたと感じています。このような期待を与えてくださり感謝申し上げます。



「ムラに残る民具と暮らし」の調査事業

実 施 団 体　　香寺歴史研究会
市の協働部署　　文化財課

■ 事業の目的

高度経済成長期に入る前の昭和 30 年代までの香寺町の人々の暮らしぶりを復元し、地域住民に、地域の歴史を再認識させることを目的とする。現存する民具をまず調査することに、今年度の事業の特徴がある。

■ 期待される効果又は達成目標

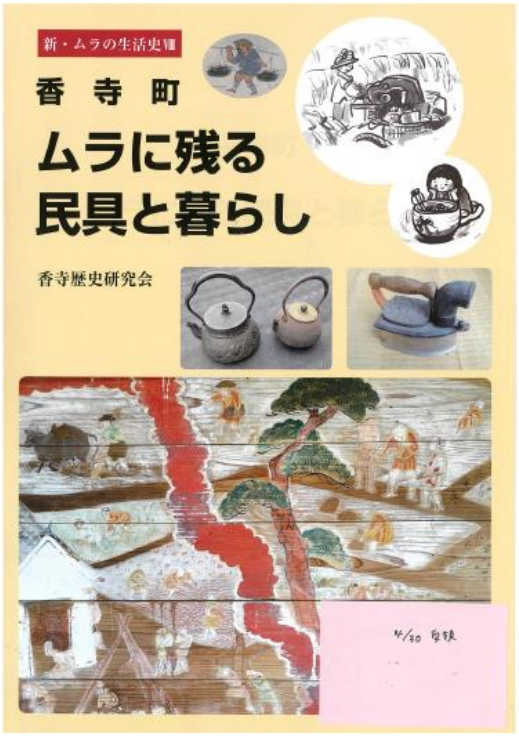
民具の調査や報告書の作成を通じて、昭和 30 年代までの暮らしぶりを復元し、地域住民に香寺町の歴史を再認識させるという目的はある程度果たせたのではないか。また民具の所有者（民具を取材させていただいた方々）に対しては、民具の歴史的価値を知っていただくよい機会になったように思われる。

■ 事業概要

香寺町内の各地区において、調査員は、現在も民家などに残る「民具」を調査し写真撮影した後、民具の特徴として必要な寸法を測り、図に描いた。さらに所有者への聞き取り調査を通じて、民具の標準名や地方名、当時の使用方法や由来、保存理由などを「民具カード」にまとめ、事務局へ提出した。事務局は、民具カードを編集し報告書（研究誌）を作成した。

■ 事業総括・感想

研究会会員や地元住民の協力が得られたおかげで、香寺町内 15 地区から合計 328 枚の民具調査カードが提出された。調査カードには、写真やイラストなど民具そのものの情報に加え、当時の使用方法や由来についての記載も多くあり、それらを活用して、報告書（研究誌）にうまくまとめ上げることができた。



AMR　　令和７年度

え　ー　え　む　あ　ー　る　　ｉ　ｎ　　ぷ　ち　フ　ェ　ス

実 施 団 体　　ひめじSubかるフェスティバル実行委員会
市の協働部署　　地域医療課

■ 事業の目的

姫路駅北にぎわい交流広場で開催させていただいているコスプレイベントを通して AMR（薬剤耐性）対策の普及啓発を行う。これまで普及啓発活動を行っていた世代とは違う世代へアピールをするとともに、姫路に訪れた観光客や通行人への啓発活動も行っていく。今後、薬物耐性対策推進月間での毎年開催を目指し、イベントのひと枠として継続普及を目指していく

■ 期待される効果又は達成目標

駅北にぎわい広場でのパフォーマンスやコスプレ交流により、観客はもとより通行人や観光客の多くが足を止め、薬剤耐性（AMR）について興味深く聞いていただいた。
AMRのパネル展示や姫路大学による出張健康診断にも多くの方に参加いただいた。従来とは違った啓発活動が功を奏して、AMRに対して真剣に考えて頂く一助となりました。

■ 事業概要

・ステージMCによる開催目的の説明を随時行う…開催の目的・目標をはっきりさせるため
・医師によるAMR（薬剤耐性）の説明…専門家による正しい知識の説明のため
・姫路大学による出張保健室
・AMRに関するパネル展示
・コスプレイヤーや地元アイドルによるステージからの広報活動
・啓発チラシの配布

■ 事業総括・感想

コスプレといった文化と薬剤耐性（AMR）がどういった相乗効果を生み出せるのか興味深かったが、アニメや漫画には医療関係の作品も多く、立ち止まった方々から興味を引く一因にはなったと思う。健康診断といった受け入れやすい内容でのアプローチも功を奏し、従来のチラシ配布での啓発活動よりも効果のある方法と感じた。



「スマホとコラボした「飾磨まち歩きマップ」製作・配布拡大事業」

実 施 団 体　　飾磨ひろめ隊
市の協働部署　　観光コンベンション室

■ 事業の目的

歴史・文化にあふれた飾磨の「まち歩きマップ」を作成し、デジタルスタンプラリーの仕掛けで、飾磨に人流を呼び込む事業。姫路観光コンベンション室と協働して、姫路の観光拠点にマップを配架してもらい、その流れを大きなものにしていく。

■ 期待される効果又は達成目標

〇「飾磨まち歩きマップ」配架、イベント配布後、飾磨まち歩きの人及びまち歩きの問い合わせが増えた。（CSV データー等）
〇協働先の姫路観光コンベンション室だけでなく、港関係の「産業振興課」「姫路市ひめじ創生戦略室」との連携も取れた。
〇飾磨の有志からマップ評価をいただき、事業とは別に、スタンプラリー無しの「飾磨まち歩きマップ」を製作することができた。
〇飾磨まち歩き拠点 10 か所の二次元コード POP 設置にあたり、多くの方を接し、飾磨に対する「飾磨ひろめ隊」取り組みを評価いただいた。
〇飾磨ひろめ隊の名が広まった。

■ 事業概要

飾磨の歴史を解り易く伝えるために、クリアファイルに「江戸時代」「大正時代」の海岸線を描き、現在の地図にそれをフィルターのようにあてがうころで、両時代の飾磨を想起し易くした。またデジタルスタンプラリーをマップに落とし込み、二次元コードPOPを飾磨見どころ10か所に設置し、町歩きの興味を増すようにした。

■ 事業総括・感想

〇マップ及びデジタルスタンプラリーの完成には満足している。
　公式 LINE 登録はイベントごとに増加、反応がうれしい。
〇思った以上に、この事業で、関わった組織、人が多く、助けていただき感謝です。
〇まだまだ飾磨の深堀が足らないと実感、継続して飾磨の魅力情報をブラッシュアップしていく決意です。



ＮＰＯ法人心魂プロジェクト　ミュージカル公演　in　姫路～命と心が響き合う瞬間をあなたに～

実 施 団 体　　マザーリーフ
市の協働部署　　障害福祉課、教育委員会（育成支援課）

■ 事業の目的
舞台芸術鑑賞を通じて、障がいや病気など様々な困難と向き合う子どもたちやその家族に「生きる力」と「心のつながり」を届けるとともに、将来的には、障がいの有無を問わず、地域の誰もが芸術を楽しみ、感動を共有できる場を創出し、地域における強制社会の実現に寄与することを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標
「公演中、子どもたちは感じたままにそれぞれの形で感情を表現して思い切り楽しみ、保護者や大人の方々は子どもたちがそれぞれの形で楽しんでいる姿を見て涙を流したり嬉しそうにされている」という姿を目の当たりにして、障がいや病気などと向き合っている子供たちから私たち大人が「生きる力」を与えられました。
会場全体が一体となり、参加者みんなが心を通わせ感動を共有できたことで、「心のつながり」を感じてもらえたと思います。

■ 事業概要
①開催日時：２０２５年9月２１日（日）午後１時３０分～午後3時３０分
②会　　場：イーグレひめじ　あいめっせホール
③出 演 者：ＮＰＯ法人心魂プロジェクトのアーティスト
④公演内容：歌・ダンス・映像を融合させたオリジナルミュージカルを上演。
　　ミュージカルのテーマは「世界旅行」。観客とのインタラクティブな演出を通して、
　　一方通行ではない心の交流を図る。

■　事業総括・感想
車いすやバギーなどの大型移動補助具での参加者が来場しやすいよう、会場内のエレベーターの広さや台数、駐車場の場所等を含め実行委員会で会場を再検討し、急遽会場を変更しました。
会場内には、寝転んで観劇できるスペースの設置やおむつ交換用の別室の準備、体調の急変等に備えた看護師の配置など、重症心身障害児者への対応も行い開催しました。
また、参加申込みは想定を上回り、開催日の約３週間前には申込み人数が定員に達し多数のキャンセル待ちが出るなど、障がいや病気などによる身体的な状態などにより一般的な公演等への参加を見送る方も、安心して参加できる環境のあるイベントへの関心の高さがうかがえました。
公演中、子どもたちは感じたままにそれぞれの形で感情を表現して思い切り楽しみ、保護者や大人の方々が子どもたちがそれぞれの形で楽しんでいる姿を見て涙を流したり嬉しそうにされている姿を見て、今回のイベントを開催して本当に良かったと心から感じました。
終演後には「来年もぜひ開催してほしい！」とのお声を多数いただき、残念ながら今回参加できな

かった方も多数おられるので、当面は障がいや病気など様々な困難と向き合うと子どもたちやその家族を対象に継続的に開催し、将来的には、障がいや病気の有無に関係なく、みんなが一緒に楽しみ感動を共有できる、地域における共生社会の場にしていきたいと考えています。



ボランティア活動等での施設利用ハンドブックの作成・配布

実 施 団 体　　姫路ティラノレース実行委員会
市の協働部署　　市民活動推進課、市民活動・ボランティアサポートセンター

■ 事業の目的
ボランティアで活動の場としての施設の会議室を利用することがあるが、最適な施設の会議室を探すのに手間がかかっている。ゆえに、施設会議室利用のハンドブックを作成配布して、ボランティア活動に活用してもらう。

■ 期待される効果又は達成目標
ハンドブックを広く配布したことで、姫路市のボランティア団体への利用促進を図れた。
利用者感想：こんな冊子が欲しかったと嬉しい言葉をもらった。
市民会館閉館間近で困っている団体にタイムリーに渡せた。
姫路の色々な団体に恩恵が与えられる助成金事業となり、効果が高いと言われた。

■ 事業概要
施設の会議室を４５カ所調査して（予定では５０カ所）、Ａ５サイズ２２ページの冊子を１０００部作成して、姫路市市民活動・ボランティアサポートセンターのボランティア登録している３５０団体に２冊ずつ郵送配布した。

■ 事業総括・感想
団体運営での困りごとを、手間や費用で諦めるのでなく、
姫路市の助成金を活用することで改善できたことは、
団体の継続運営に大いに役立った。



漫画「姫路ゆかりの偉人たち」伝承プロジェクト

実 施 団 体　　一般社団法人 Social Eight
市の協働部署　　平和資料館・ひめじ創生戦略室

■ 事業の目的

1. 歴史の普及と興味喚起：漫画は視覚的な要素や物語の展開を通じて、人々に歴史的な出来事や人物に興味を持たせることができます。地域の歴史を漫画の形で描くことで、若い世代や一般の人々にも歴史への関心を高めることができます。
2. 文化・伝統の継承：地域の歴史を漫画で描くことは、その地域の文化や伝統を後世に伝える手段となります。特定の人物の生涯や業績を漫画として表現することで、地域の歴史や価値観を次世代に継承することができます。
3. ヒーローの創造と共感：漫画に登場する人物は、読者にとってヒーロー的存在となります。地域の歴史的な人物を漫画の主人公として描くことで、読者はその人物の苦労や成果に共感し、自身の人生においても努力や目標達成への意欲を高めることができます。
4. 観光・地域振興：地域の歴史を漫画で描くことは、観光資源としての価値を高める効果もあります。漫画で描かれた人物や場所を訪れることで、観光客が地域を訪れる意欲が湧きます。また、地域の歴史に興味を持った人々が地域に訪れることで、地域の経済や文化にも活気をもたらすことができます。

■ 期待される効果又は達成目標

制作した漫画本を活用して、平和資料館と連携して、より広く、子どもから大人まで、「都築正男」氏を中心とした人物の歴史背景や人物の興味を高めることができたと思っています。
また、偉人の功績に学ぶ」シリーズでは、都築正男氏、竹田木八氏など、姫路から世界へと発信すべく、デジタル通じての広報。座談会や講座を通じて、地域の歴史や価値観を次世代に継承する活動ができました。サイエンスカフェでは高校生の参加を主として取り組みしたことにより、高校生からも「学校外で学べる機会があり有意義な時間であった」とのアンケートが多くあり、教育の観点からもいい成果として次につなげていきたいと感じました。 城育を通じて、漫画に登場する人物は、読者にとってヒーロー的存在となります。自らが漫画を描く体験等を通じて、読者はその人物の苦労や成果に共感し、自身の人生においても努力や目標達成への意欲を高めることができた。観光案内所にて漫画本（日本語版・英語版）を置いてもらい、広く案内するなど観光振興にもつながる活動を展開し、8/9 のパネル展示などでは、多くの方々が展示パネルを鑑賞されていました。文化にも活気をもたらしたものと考えます。姫路市の普及だけでなく、広島市(広島市長)からの感謝のお手紙をいただくなど、一定以上の取り組み効果はあったものと考えます。

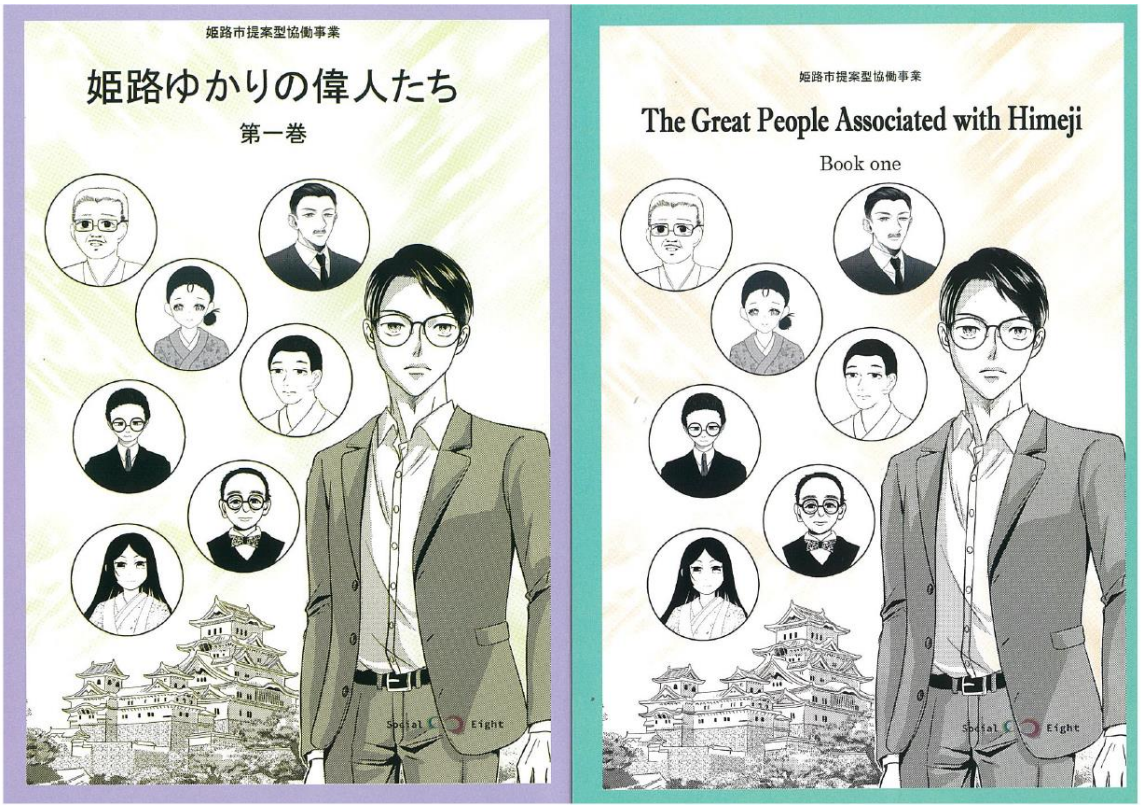
■ 事業概要

2024年度、漫画「姫路ゆかりの偉人たち」第一巻を制作・発刊、並び姫路市の小・中・高校に配布。引き続き、自社費用で、第二巻を制作・発刊予定で進めていきます。一方、第一巻を制作したものの学校配布に留まっているこの事業を、2025年度、偉人探求からスタートして、姫路市内の

みならず、東京や広島など、広く伝えていく活動を展開していく。姫路市教育大綱が見直され「平和への願い」にあわせて「都築正男」氏と平和資料館との連携による教育支援から、一巻の紹介偉人の功績に学び、「姫路から世界へと食文化」や「サイエンス文化」など展開していく。

■ 事業総括・感想

「姫路ゆかりの偉人たち」（第一巻）を発刊してから、2025 年度は、普及・伝承に力を入れてきました。大きく、漫画の主人公である都築正男」さんの普及には、まずは、姫路平和会館を中心にも動画での展開他、漫画冊子本での提供もしました。また、広島平和資料館への配架、広島市長からの感謝のお手紙も頂き、都築さんのお孫さんとも面会することもできました。非常に感謝されたことに、活動した意義を見出すことができました。今年度は、戦後 80 年ということで、歌手の福山雅治なども「クスノキ」をタイトルに歌を広めてくれました。手柄山平和祈念館でも中崎から分けていただいたクスノキが育っており、平和への願いが少しずつでも浸透していくことを願っています。また、一巻では、都築さん以外にも７人の偉人を紹介しておりますが、この度は、「竹田木八折詰弁当から世界の BENTO へ」、和辻哲郎と「サイエンス文化」に因んでサイエンスカフェを開催した。温故知新・偉人の功績ら学ぶということでは、古きを探求して、新しい挑戦をして行くことを継承できているこの地・姫路の素晴らしさを感じました。今後、この取組をすることで、伝承・地域のシビックプライドの醸成に役立てていきたいと思います。



通　信　制　・　定　時　制　高　校　学　校　説　明　会　事　業

実 施 団 体　　特定非営利活動法人コムサロン二十一
市の協働部署　　学校指導課・育成支援課

■ 事業の目的

不登校により進路選択に悩む本人や保護者、高校入学後に転学を検討している本人や保護者を対象に、公立の通信制・定時制高校の合同学校説明会を開催することで情報収集の場を提供し、本人や保護者が納得して進路選択することができる。

■ 期待される効果又は達成目標

姫路市教育委員会と協働したことで、姫路市立中学校にもれなく広報ができた。
定時制・多部制・通信制高校を正しく理解してもらえた。
保護者にとっては、個別対応での相談が出来、進路選択の幅が広がった。
参加対象者を中３生徒と限定しなかった。中１・２の不登校傾向の生徒や保護者にとって、卒業時の不安を和らげることができた。

■ 事業概要

兵庫県立の定時制・多部制・通信制高校等に出展いただき、
学校毎のブースを設けて、各学校の特色を参加者に直接伝える。
参加した本人やその保護者は大切な進路選びの情報を得て、
納得した進路選択へつなげる。



■ 事業総括・感想

令和 ６ 年度、不登校対策協議会への参加や市内の中学校・高等学校高校への訪問を通じて、定時制・通信制高校に関する情報が十分に行き届いていないことや、学校選択におけるミスマッチが生じている現状を把握しました。これらの課題を受けて提案型協働事業の企画に至りました。
当日は、想定を上回る多くの方々にご来場いただき、定時制・通信制高校に対する高いニーズを実感することができました。本説明会は、進学を検討する生徒・保護者にとって情報収集の場として、高校にとっては直接情報を届ける機会として、そして私たち支援機関にとっては将来困ったときに頼っていただける存在として認知していただく場として、それぞれの立場に置いて大変有意義なものとなりました。ご協力いただいた関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。令和８年度も開催できるよう知恵を絞って参ります。

「ひきこもり支援ハンドブック勉強会・交流会」

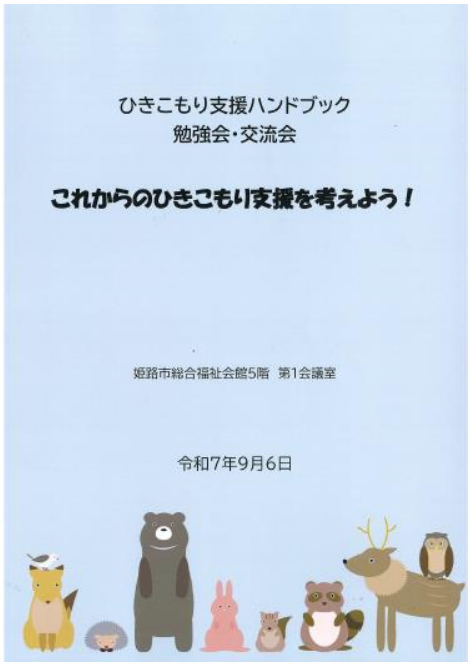
実 施 団 体　　特定非営利活動法人　テンペラーレ
市の協働部署　　地域福祉課

■ 事業の目的
「ひきこもり」を誰にでも起こり得る社会問題として、当事者や関係者だけでなく、広く一般市民にも理解を求め、ともに学び、官民を超えた　顔の見えるネットワーク・つながりを作っていくことを進めること。引きこもり当事者やその家族・生きづらさを抱えているすべての人への支援につなげることを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標
第１部講演会では、それぞれの講師からわかりやすく詳しく学ぶことが出来た。
第２部シンポジュームでは　会場からも活発な質問・発言があり会場全体で共有できた。
第３部交流会では、肩書や立場を意識せず　自由に交流でき、課題を共有できた。
100 名以上の参加者があり、柔軟に対応したためか「無料」だったからか、少しでも途中退出・途中参加の方もいて、関心の高さを実感した。

■ 事業概要
第1部　講演会「ひきこもり支援ハンドブック」の読み解きと現状・共通理解促進
第2部　シンポジューム・質疑応答　テーマ「ひきこもり当事者の自律を応援！」
第3部　交流会　参加者間での意見交換会・ネットワークつくり

■ 事業総括・感想
過剰に入りきらない参加者に、課題の大きさを改めて実感した。
関心のある方が集い、交流する場を提供し課題を共有出来てよかった。
ここで出てきた様々な課題への取り組みは弱小団体では
難しいし大きすぎる、小さな民間団体は、その存続だけで
精いっぱいでなかなか連携や、共同が出来にくい
行政や企業などのご理解やご支援を期待します。



ｈｅｌｌｏ！「みらい」へ ｐｒｏｊｅｃｔ

実 施 団 体　　子育てサロン KonoKono
市の協働部署　　保健所、こどもの未来健康支援センター

■ 事業の目的

1　妊娠中から産後にかけての支援体制を強化し、「みらいえ」や産後ケアの存在や活用方法を広め利用を促進して、産後うつの予防や心身の健康を支えること。
2　妊婦家族や産後の家族が適切なタイミングで「みらいえ」や産後ケアを利用できるよう支援し、産後の生活が見通しやすくなる情報を提供すること。

■ 期待される効果又は達成目標

講座やイベントを通して「みらいえ」や産後ケアの周知をはかり、市民にそれらを身近に感じてもらうことができました。事業実施前には参加者の産後ケアの認知度 40%、「みらいえ」の認知度 10%でしたが、実施後には産後ケアの内容が分かり必要があれば利用したいが 100%、「みらいえ」の用途がわかり必要時利用したいが 100%となり事業の効果が実感できました。様々な角度から産前産後に役立つ知識を提供し、産後すぐに頼れる場所が確保できるような機会となりました。また妊娠期のご夫婦と子育て期の親子との交流会イベントでは情報交換の場を提供できました。これらをふまえて、産後うつの予防や心身の健康支援に効果的な事業となったと考えます。

■ 事業概要

「みらいえ」を会場として、妊婦さんご夫婦を対象とした全3回コースの産前講座を1期と2期の2クール開催しました。「みらいえ」職員が施設と産後ケアの詳細と妊娠期からのプレコンセプションケアの説明をし、助産師、保育士、歯科医師、管理栄養士、理化学療法士という多様な専門職種が講師を務めました。また妊娠期のご夫婦と子育て期の親子との交流会イベントも開催し、情報交換の場を提供しました。



■ 事業総括・感想

「みらいえ」職員の皆様と協力して、「みらいえ」の活動や産後ケアについて地域の妊娠期のご夫婦に情報提供できたことで、産後の生活への安心感を一層高めることができ、大変有意義な事業になったと感じます。私たちの団体だけでは決してカバーしきれない部分をサポートしていただくことができ、大変ありがたかったです。また、「みらいえ」の活動を知ることで、こども家庭庁、厚生労働省、国立成育医療研究センターが連携して推進している「プレコンセプションケア」について、妊娠期から伝える大切さという視点を得ることができました。ありがとうございました。

新規　　令和７年度

ぐるりお譲り広場・地域交流の輪

実施団体　　ぐるりお譲り広場・地域交流の輪
市の協働部署　　高齢者政策課

■ 事業の目的

十分に使用可能な衣類および雑貨類の交換会を実施するとともに、地域交流の場として健康麻雀の仲間づくりを目的としたイベントを開催する。これにより地域住民同士の交流促進とコミュニティの活性化を図るとともにリユースの推進によるごみ削減への意識向上および環境負荷の軽減を目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標

本事業は年間４回イベントとして継続的に実施してきた結果、衣類および雑貨類のリユースが着実に定着し物品の入れ替わりが目に見える形で確認されています。これにより参加者間での不用品の有効活用が促進されゴミ削減への意識向上につながっています。そして香寺公民館にて月に２回から４回の頻度で健康麻雀の定期開催が実現出来ました。

■ 事業概要

まだ使用可能な洋服、制服、雑貨類を必要とする方へ引き継ぐための場所をイベントにて実行しました。
そして健康麻雀を通じて地域交流促進およびコミュニティ形成を目的とした場づくりを行いました。

■ 事業総括・感想

イベント開催をきっかけに地域住民、高齢者を中心とした外出機会の増加、交流促進、孤立防止といった社会的効果が見られました。健康麻雀については参加者より開催日数の増加を希望する声が継続的に寄せられています。
ぐるりお譲り広場・地域交流の輪が一層期待されていると感じ、嬉しく思います。
事業を行ってゆく中で相談・アドバイスを受けられる場所がある事がとても心強かったです。



3 索　　引

- 実施団体別事業名索引
- テーマ別事業名索引

実施団体別事業名　索引（実施団体５０音順・実施年度順）

団体名	年度	テーマ	事業名称	掲載頁
青山１０００人会	H30	自由	「認知症高齢者にやさしいまちづくり～認知症になっても集える居場所、魅力ある認知症サロンにむけて　推進事業」	２４
	R1	自由	「日本一～認知症高齢者にやさしいまちづくり姫路～宣言事業」	３８
	R2	自由	お互いさまのまちづくり（地域共生社会）	５２
赤ちょうちん屋台の会	R1	自由	地産地消ひめじバル	３７
	R5	自由	地産地消ひめじバル復活祭	１０１
（特非）あかりの街ひめじ	R3	自由	「実験で知る光と音の性質」体験事業	７８
	R5	世界遺産	「千姫の小径」ライトアップ事業	１０３
	R6	地域資源	「千姫の小径」拡大ライトアップ事業	１１７
	R7	ﾌﾞﾗﾝﾄﾞﾒｯｾｰｼﾞ	「男山、あかりの魅力アップ事業」	１３４
（特非）あぼしまちコミュニケーション	R2	自由	ワンあぼしプロジェクト	５０
家島空き家対策協議会	R3	地域資源	島民自身が計画する、目指す島の将来像	６７
家島観光まちづくり協議会	R6	観光づくり	家島フォトクエスト	１２１
（特非）おはなしくれよん	R3	地域資源	播磨の古道―増位山　随願寺―俳諧と姫路藩の道	７７
オリヒメジプロジェクト実行委員会	R5	自由	オリヒメジプロジェクト ～ノーマライゼーションな姫路を目指して～	１０８
キミレバ・ワン	R7	自由	ONE DANCE in 姫音祭	１３１
旧市のきさき朝市運営委員会	R5	地域資源	旧市のきさき朝市	１０９
旧モノレールあそび場制作委員会	R5	新規	こどもの ASOBIBA ひめじ基地	１１２
	R6	自由	駅西まち歩きで地域と親子のふれ合い創出	１２７
「銀の馬車道」飾磨街道活性化委員会	R1	地域資源	「2019 飾磨街道フェス～日本遺産 「播但貫く、銀の馬車道　鉱石の道」」	４６
ぐるりお譲り広場・地域交流の輪	R7	新規	ぐるりお譲り広場・地域交流の輪	１４７
香寺歴史研究会	H30	地域資源	『村の記憶』を書き継ぐ	３０
	R1	地域資源	地域の歴史を伝える―中学校と連携して-	４５
	R2	地域資源	ふるさとマップを描く－昭和の記憶を残す－	６２
	R3	地域資源	住まいと暮らし―その変化をたどる―	７１
	R4	地域資源	衣と食―ハレの日とケの日	８１
	R5	地域資源	「ふるさとの道」調査事業	１０４
	R6	地域資源	歴史の道を歩く	１１９
	R7	地域資源	「ムラに残る民具と暮らし」の調査事業	１３６
国際女性フェスタ実行委員会	R1	自由	国際女性フェスタ 2020	４０
国際女性フェスタはりま実行委員会	R2	自由	国際女性フェスタはりま 2021「災害と女性・子ども」	５３
	R3	自由	国際女性フェスタはりま 2022	６９
子育てサロン KonoKono	R5	新規	こどもまんなか子育て推進事業	１１３
	R6	自由	はろべび project	１２９
	R7	自由	hello!「みらい」へ project	１４６
言葉でつながっていこう会	H30	自由	「また訪れたくなる姫路城」を発信するガイド事業	２８
（特非）コムサロン二十一	H30	自由	不登校・ひきこもり・若年無業者等支援機関が繋がるプロジェクト	２６

団体名	年度	テーマ	事業名称	掲載頁
（特非）コムサロン二十一	R1	地域資源	姫路おでんといえば○○！実現プロジェクト	４７
	R2	福祉	居場所と相談マルシェ事業	５４
	R4	孤独・孤立	「こころが繋がるこの１冊」事業	８５
	R7	自由	通信制・定時制高校　学校説明会事業	１４４
comodo 姫	R3	自由	音楽で楽しく健康のつどい（地域社会のための音楽）	６４
sounds kitchen universal 実行委員会	R7	自由	sounds kitchen 姫アニ DISCO	１３０
シェフネットひめじ	R5	世界遺産	町家・古民家で感じる姫路の歴史、楽しむ姫路の食文化プロジェクト～姫路の生きた歴史・文化・魅力を城周辺の町家・古民家再生で体感しよう～	１０５
飾磨ひろめ隊	R6	地域資源	元料理割烹「丸安」の飾磨まち歩き拠点化事業	１２３
	R7	地域資源	「スマホとコラボした「飾磨まち歩きマップ」製作・配布拡大事業」	１３８
障害者差別解消法ネットワーク	R4	孤独・孤立	オリヒメジプロジェクト～次のパイロットはきみだ～	９１
城の西エリアマネジメント準備会	H30	市民共治	地域活動拠点の充実をめざした地域協働組織づくり事業「城の西みらい構想プロジェクト」	２０
	R1	市民共治	３つのエコシステムによる「城の西　みらい構想」実践事業	３６
	R2	自由	STAY LOCAL～地域のレジリエンスを高める「城の西　みらい構想」実現事業	６１
	R4	SDGs	ＳＤＧｓで育む＜城の西＞シビックプライド	９２
（特非）スローソサエティ協会	R5	地域資源	全市エリアミュージアム化構想Ⅰ「香寺まるごとエリアミュージアム」	１０６
	R6	地域資源	観光地の集団的孤立を防ぐエリアミュージアムネットワーキングプロジェクト	１２４
船場川を美しくする会	R7	地域資源	（仮）冊子「船場川を美しくする会　活動の軌跡」刊行	１３３
（一社）Social Eight	R4	SDGs	SDGs2022 Himeji 城育 SHIRO-IKU ～姫路城下のもと　うまれる未来教育～	８２
	R5	世界遺産	姫路城世界遺産登録 30 周年記念事業「ワクワクは、天・空・奏・想（そら）にある」～SDGs2023　温故知新　learning new from the past ～	９８
	R6	地域資源	姫路歴史偉人伝・制作伝承プロジェクト ～地域の歴史を彩った人物たち～	１１４
	R7	地域資源	漫画「姫路ゆかりの偉人たち」伝承プロジェクト	１４２
築城石持道研究会	R6	観光づくり	姫路城築城石持道の情報発信による観光地域づくり事業	１２０
（特非）テンペラーレ	R7	自由	「ひきこもり支援ハンドブック勉強会・交流会」	１４５
中曲輪バタフライガーデン創造実行委員会	R2	観光	姫路城　中曲輪バタフライガーデン創造事業	４８
（特非）菜の花企画	R6	自由	移動こども食堂	１２８
（一社）日本医食促進協会	R2	自由	シェフたちのオーケストラ～食と市民の交響曲～	５６
認知症予防教室　一輪会	H30	自由	めざそう健康寿命「認知症予防で元気な高齢者」	２３
	R1	自由	紙芝居を活かした消費者被害防止による安心安全まちづくり	４１
	R2	自由	非薬物療法を活かした「ストップ・ザ軽度認知障害」プロジェクト	４９
	R4	地域資源	姫路の民話の読み聞かせによる地元文化の伝承事業	９３
	R6	自由	頭と体を同時に使う「コグニサイズ」を活かした「ふれあいサロン」の活性化	１１８
はこミュニティ	R2	自由	子育て真っ最中のママ達による『エクスチェンジ』プロジェクト	５８
（特非）はなのいえ	H30	自由	認知症になっても安心して暮らせるまちづくり	２９
	R1	自由	地域の誰もが安心して暮らせる姫路市づくり	４２

団体名	年度	テーマ	事業名称	掲載頁
はなまる元気塾	R5	新規	はなまる元気塾 ～楽しく健康寿命を延ばそう～	１１１
パラスポーツフェスはりま実行委員会	R2	自由	パラスポーツフェスはりま　２０２０	５７
播州アクティブスポーツ協会	R3	新規	アクティブ系スポーツ　普及事業 ～オリンピック新競技　NEW スポーツとは～	７９
（一社）ひとネットワークひめじ	H30	地域資源	姫路市産材活用・広域連携事業「杉活」	３１
姫コアネット５	R2	自由	地域で取り組む国際交流・国際理解 ～共に生きるこころ豊かなふるさとをつくる力の醸成～	５１
	R3	自由	地域で取り組む国際理解と多文化共生 ～共に生きる「ふるさと姫路」を創る力の醸成～	６８
	R5	自由	地域で取り組む国際理解・国際交流 ～外国にルーツを持つ子供達を核とする多文化共生の地域づくり～	９９
ひめじあかり実行委員会	R1	文化芸術	姫音祭（姫路ミュージック＆ダンスフェス）	３４
	R3	自由	第１回ストリートダンス＆バンドマンコラボレーション ―第４回姫音祭（姫路ミュージック＆ダンスフェス）―	６５
姫路駅西地区まちづくり協議会	R3	自由	姫路駅西エリアに火を灯そう！集まれなかま！！	７６
	R5	地域資源	姫路駅西空き資源活用プロジェクト	１１０
ひめじキッズスマイル	H30	自由	ママ防災士による乳幼児を子育て中のママのための減災セミナー～あなたの大切なご家族を守るために～	２１
	R1	自由	ママ防災士による『ファミリー減災クッキング教室』～ 地域のみんなで災害対策について考えよう～	３９
（特非）姫路コンベンションサポート	H30	自由	わがまち太市の未来予想図Ⅱ ～空から見ようわたしたちのまち	２２
	R1	市民共治	太市　まちの担い手づくり事業	３５
	R4	SDGs	女子高校生 SDGs サミット 2022(仮)	８９
ひめじ Sub かるフェスティバル実行委員会	R7	AMR	えーえむあーる　ｉｎ　ぷちフェス	１３７
姫路市大津まちづくり協議会	R1	文化芸術	第３回　大津ふれあい音楽祭	３３
姫路市香寺文化協会	R6	地域資源	「香寺文化語り部 QR」活動	１１６
姫路ジャコウアゲハ倶楽部	H30	自由	姫路市蝶ジャコウアゲハプロジェクト	２５
（公社）姫路青年会議所	R4	SDGs	SMILE　FESTA～地球も姫路も笑顔に～	９５
姫路ティラノレース実行委員会	R7	自由	ボランティア活動等での施設利用ハンドブックの作成・配布	１４１
#ひめじでごみひろい	R4	孤独・孤立	Keep Smile Project	９４
姫路獨協大学医療保健学部　子育て・発達障がいサポート運営委員会	R3	自由	子育て・発達障がい児者支援「のびのびセミナー・プレイルームわくわく」	７５
ひめじ西里山サポート倶楽部	R7	ﾌﾞﾗﾝﾄﾞﾒｯｾｰｼﾞ	クリーンアップ・コミュニティ ～“好き”をみつけよう～	１３５
姫路マザーハーブの会	R4	孤独・孤立	不登校・ひきこもりの子供を持つ親たちへの「適切な対応と援助」を支援する事業～親の会を中心とした共生・協働による温かみのある地域社会づくりに向けて～	８４
姫路・町家再生塾	R5	町家・古民家	町家等調査（姫路城下町西部地区）	１０７
BeautyPlus+	R4	新規	Himeji　BeautyPlus+　Fes	９７
ほのぼのさん	H30	音楽	生演奏でつくるおんがくのまち 「ほのぼのさんと音楽劇でわくわく！」	１９
	R2	文化芸術	子供達、高齢者、市民で作ろうおんがくのまち「ほのぼのさんと歌で繋がろう！コロナに負けないぞ！」	６３
	R3	自由	みんなで作ろう！！「歌のサプリメント」コロナ編	７４
	R4	自由	「ものづくり参加型企画」 メイキング　ドリーム　オブ　ハーモニー みんなのステージをみんなで作ろう！	９６
	R5	自由	「和太鼓体験企画」第１回　集まれ！音ともだち 「ありがとう！歌のこころ、和のこころ」	１００
ピンクリボンひめじ	R4	自由	ブレストアウェアネス（乳房を意識する生活）啓発事業の実施	８７

団体名	年度	テーマ	事業名称	掲載頁
マザーリーフ	R7	自由	ＮＰＯ法人心魂プロジェクト　ミュージカル公演 in 姫路 ～命と心が響き合う瞬間をあなたに～	１３９
水上夢倶楽部	R1	地域 資源	姫路キッズ・ビッグアートプロジェクト	４４
Mr.moon	R3	新規	Music Meets　～Thank you!文化センター～	８０
見野古墳群保存会	R6	地域 資源	「手柄桜」普及プロジェクト	１２６
ライフスパイス	R2	自由	もっと知りたい　いろんな仕事	６０
	R3	自由	ジョブタネ２０２１　まちのシゴト、まちのオトナを ●●スル（仮称）	７２
	R6	観光 づくり	HIMEJI　Maniacs プロジェクト	１２５

テーマ別事業名　索引（テーマ順・事業名５０音順）

テーマ	事業名称	提案団体	年度	掲載頁
地域 資源	衣と食―ハレの日とケの日	香寺歴史研究会	R4	８１
地域 資源	（仮）冊子「船場川を美しくする会　活動の軌跡」刊行	船場川を美しくする会	R7	１３３
地域 資源	観光地の集団的孤立を防ぐエリアミュージアムネットワーキングプロジェクト	（特非）スローソサエティ協会	R6	１２４
地域 資源	旧市のきさき朝市	旧市のきさき朝市運営委員会	R5	１０９
地域 資源	「香寺文化語り部 QR」活動	姫路市香寺文化協会	R6	１１６
地域 資源	住まいと暮らし―その変化をたどる―	香寺歴史研究会	R3	７１
地域 資源	「スマホとコラボした「飾磨まち歩きマップ」製作・配布拡大事業」	飾磨ひろめ隊	R7	１３８
地域 資源	全市エリアミュージアム化構想Ⅰ「香寺まるごとエリアミュージアム」	（特非）スローソサエティ協会	R5	１０６
地域 資源	「千姫の小径」拡大ライトアップ事業	（特非）あかりの街ひめじ	R6	１１７
地域 資源	地域の歴史を伝える―中学校と連携して-	香寺歴史研究会	R1	４５
地域 資源	「手柄桜」普及プロジェクト	見野古墳群保存会	R6	１２６
地域 資源	島民自身が計画する、目指す島の将来像	家島空き家対策協議会	R3	６７
地域 資源	「2019 飾磨街道フェス～日本遺産 「播但貫く、銀の馬車道　鉱石の道」」	「銀の馬車道」飾磨街道活性化委員会	R1	４６
地域 資源	播磨の古道―増位山　随願寺―俳諧と姫路藩の道	（特非）おはなしくれよん	R3	７７
地域 資源	姫路駅西空き資源活用プロジェクト	姫路駅西地区まちづくり協議会	R5	１１０
地域 資源	姫路おでんといえば◯◯！実現プロジェクト	（特非）コムサロンニ十一	R1	４７
地域 資源	姫路キッズ・ビッグアートプロジェクト	水上夢倶楽部	R1	４４
地域 資源	姫路市産材活用・広域連携事業「杉活」	（一社）ひとネットワークひめじ	H30	３１
地域 資源	姫路の民話の読み聞かせによる地元文化の伝承事業	認知症予防教室一輪会	R4	９３
地域 資源	姫路歴史偉人伝・制作伝承プロジェクト ～地域の歴史を彩った人物たち～	（一社）Social Eight	R6	１１４
地域 資源	「ふるさとの道」調査事業	香寺歴史研究会	R5	１０４
地域 資源	ふるさとマップを描く－昭和の記憶を残す－	香寺歴史研究会	R2	６２
地域 資源	漫画「姫路ゆかりの偉人たち」伝承プロジェクト	（一社）Social Eight	R7	１４２
地域 資源	「ムラに残る民具と暮らし」の調査事業	香寺歴史研究会	R7	１３６
地域 資源	『村の記憶』を書き継ぐ	香寺歴史研究会	H30	３０

テーマ	事業名称	提案団体	年度	掲載頁
地域 資源	元料理割烹「丸安」の飾磨まち歩き拠点化事業	飾磨ひろめ隊	R6	１２３
地域 資源	歴史の道を歩く	香寺歴史研究会	R6	１１９
音楽	生演奏でつくるおんがくのまち 「ほのぼのさんと音楽劇でわくわく！」	ほのぼのさん	H30	１９
市民 共治	太市　まちの担い手づくり事業	（特非）姫路コンベンションサポート	R1	３５
市民 共治	地域活動拠点の充実をめざした地域協働組織づくり事業「城の西みらい構想プロジェクト」	城の西エリアマネジメント準備会	H30	２０
市民 共治	３つのエコシステムによる「城の西　みらい構想」実践事業	城の西エリアマネジメント準備会	R1	３６
文化 芸術	子供達、高齢者、市民で作ろうおんがくのまち 「ほのぼのさんと歌で繋がろう！コロナに負けないぞ！」	ほのぼのさん	R2	６３
文化 芸術	第３回　大津ふれあい音楽祭	姫路市大津まちづくり協議会	R1	３３
文化 芸術	姫音祭（姫路ミュージック＆ダンスフェス）	ひめじあかり実行委員会	R1	３４
観光	姫路城　中曲輪バタフライガーデン創造事業	中曲輪バタフライガーデン創造実行委員会	R2	４８
観光 づくり	家島フォトクエスト	家島観光まちづくり協議会	R6	１２１
観光 づくり	姫路城築城石持道の情報発信による観光地域づくり事業	築城石持道研究会	R6	１２０
観光 づくり	HIMEJI　Maniacs プロジェクト	ライフスパイス	R6	１２５
福祉	居場所と相談マルシェ事業	（特非）コムサロンニ十一	R2	５４
SDGs	ＳＤＧｓで育む＜城の西＞シビックプライド	城の西エリアマネジメント準備会	R4	９２
SDGs	SDGs2022 Himeji 城育 SHIRO-IKU ～姫路城下のもと　うまれる未来教育～	（一社）Social Eight	R4	８２
SDGs	女子高校生 SDGs サミット 2022(仮)	（特非）姫路コンベンションサポート	R4	８９
SDGs	SMILE　FESTA～地球も姫路も笑顔に～	（公社）姫路青年会議所	R4	９５
孤独・ 孤立	オリヒメジプロジェクト ～次のパイロットはきみだ～	障害者差別解消法ネットワーク	R4	９１
孤独・ 孤立	Keep Smile Project	＃ひめじでごみひろい	R4	９４
孤独・ 孤立	「こころが繋がるこの１冊」事業	（特非）コムサロンニ十一	R4	８５
孤独・ 孤立	不登校・ひきこもりの子供を持つ親たちへの「適切な対応と援助」を支援する事業 ～親の会を中心とした共生・協働による温かみのある地域社会づくりに向けて～	姫路マザーハーブの会	R4	８４
世界 遺産	「千姫の小径」ライトアップ事業	（特非）あかりの街ひめじ	R5	１０３
世界 遺産	姫路城世界遺産登録 30 周年記念事業「ワクワクは、天・空・奏・想（そら）にある」～SDGs2023　温故知新　learning new from the past ～	（一社）Social Eight	R5	９８
世界 遺産	町家・古民家で感じる姫路の歴史、楽しむ姫路の食文化プロジェクト ～姫路の生きた歴史・文化・魅力を城周辺の町家・古民家再生で体感しよう～	シェフネットひめじ	R5	１０５
町家・ 古民家	町家等調査（姫路城下町西部地区）	姫路・町家再生塾	R5	１０７
ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ ﾒｯｾｰｼﾞ	「男山、あかりの魅力アップ事業」	（特非）あかりの街ひめじ	R7	１３４
ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ ﾒｯｾｰｼﾞ	クリーンアップ・コミュニティ ～“好き”をみつけよう～	ひめじ西里山サポート倶楽部	R7	１３５
AMR	えーえむあーる　ｉｎ　ぷちフェス	ひめじ Sub かるフェスティバル実行委員会	R7	１３７
新規	アクティブ系スポーツ　普及事業 ～オリンピック新競技　NEW スポーツとは～	播州アクティブスポーツ協会	R3	７９
新規	ぐるりお譲り広場・地域交流の輪	ぐるりお譲り広場・地域交流の輪	R7	１４７
新規	こどもの ASOBIBA ひめじ基地	旧モノレールあそび場制作委員会	R5	１１２

テーマ	事業名称	提案団体	年度	掲載頁
新規	こどもまんなか子育て推進事業	子育てサロン　KonoKono	R5	１１３
新規	はなまる元気塾～楽しく健康寿命を延ばそう～	はなまる元気塾	R5	１１１
新規	Himeji　BeautyPlus+　Fes	BeautyPlus+	R4	９７
新規	Music Meets　～Thank you!文化センター～	Mr.moon	R3	８０
自由	頭と体を同時に使う「コグニサイズ」を活かした「ふれあいサロン」の活性化	認知症予防教室一輪会	R6	１１８
自由	移動こども食堂	（特非）菜の花企画	R6	１２８
自由	駅西まち歩きで地域と親子のふれ合い創出	旧モノレールあそび場制作委員会	R6	１２７
自由	ＮＰＯ法人心魂プロジェクト　ミュージカル公演 in 姫路 ～命と心が響き合う瞬間をあなたに～	マザーリーフ	R7	１３９
自由	お互いさまのまちづくり（地域共生社会）	青山 1000 人会	R2	５２
自由	オリヒメジプロジェクト ～ノーマライゼーションな姫路を目指して～	オリヒメジプロジェクト実行委員会	R5	１０８
自由	音楽で楽しく健康のつどい（地域社会のための音楽）	comodo 姫	R3	６４
自由	紙芝居を活かした消費者被害防止による安心安全まちづくり	認知症予防教室　一輪会	R1	４１
自由	国際女性フェスタ 2020	国際女性フェスタ実行委員会	R1	４０
自由	国際女性フェスタはりま 2021「災害と女性・子ども」	国際女性フェスタはりま実行委員会	R2	５３
自由	国際女性フェスタはりま 2022	国際女性フェスタはりま実行委員会	R3	６９
自由	子育て・発達障がい児者支援「のびのびセミナー・プレイルームわくわく」	姫路獨協大学医療保健学部　子育て・発達障がいサポート運営委員会	R3	７５
自由	子育て真っ最中のママ達による『エクスチェンジ』プロジェクト	はこミュニティ	R2	５８
自由	sounds kitchen 姫アニ DISCO	sounds kitchen universal 実行委員会	R7	１３０
自由	シェフたちのオーケストラ ～食と市民の交響曲～	（一社）日本医食促進協会	R2	５６
自由	「実験で知る光と音の性質」体験事業	（特非）あかりの街ひめじ	R3	７８
自由	ジョブタネ２０２１　まちのシゴト、まちのオトナを●●スル（仮称）	ライフスパイス	R3	７２
自由	STAY LOCAL～地域のレジリエンスを高める「城の西　みらい構想」実現事業	城の西エリアマネジメント準備会	R2	６１
自由	第１回ストリートダンス&バンドマンコラボレーション ―第４回姫音祭（姫路ミュージック&ダンスフェス）―	ひめじあかり実行委員会	R3	６５
自由	地域で取り組む国際交流・国際理解～共に生きるこころ豊かなふるさとをつくる力の醸成～	姫コアネット５	R2	５１
自由	地域で取り組む国際理解・国際交流 ～外国にルーツを持つ子供達を核とする多文化共生の地域づくり～	姫コアネット５	R5	９９
自由	地域で取り組む国際理解と多文化共生 ～共に生きる「ふるさと姫路」を創る力の醸成～	姫コアネット５	R3	６８
自由	地域の誰もが安心して暮らせる姫路市づくり	（特非）はなのいえ	R1	４２
自由	地産地消ひめじバル	赤ちょうちん屋台の会	R1	３７
自由	地産地消ひめじバル復活祭	赤ちょうちん屋台の会	R5	１０１
自由	通信制・定時制高校　学校説明会事業	（特非）コムサロンニ十一	R7	１４４
自由	「日本一～認知症高齢者にやさしいまちづくり姫路～宣言事業」	青山１０００人会	R1	３８
自由	「認知症高齢者にやさしいまちづくり～認知症になっても集える居場所、魅力ある認知症サロンにむけて　推進事業」	青山１０００人会	H30	２４
自由	認知症になっても安心して暮らせるまちづくり	（特非）はなのいえ	H30	２９
自由	パラスポーツフェスはりま　２０２０	パラスポーツフェスはりま実行委員会	R2	５７

テーマ	事業名称	提案団体	年度	掲載頁
自由	hello!「みらい」へ project	子育てサロンKonoKono	R7	１４６
自由	はろべび project	子育てサロンKonoKono	R6	１２９
自由	「ひきこもり支援ハンドブック勉強会・交流会」	（特非）テンペラーレ	R7	１４５
自由	姫路駅西エリアに火を灯そう！集まれなかま！！	姫路駅西地区まちづくり協議会	R3	７６
自由	姫路市蝶ジャコウアゲハプロジェクト	姫路ジャコウアゲハ倶楽部	H30	２５
自由	非薬物療法を活かした「ストップ・ザ軽度認知障害」プロジェクト	認知症予防教室一輪会	R2	４９
自由	不登校・ひきこもり・若年無業者等支援機関が繋がるプロジェクト	（特非）コムサロン二十一	H30	２６
自由	ブレストアウェアネス（乳房を意識する生活）啓発事業の実施	ピンクリボンひめじ	R4	８７
自由	ボランティア活動等での施設利用ハンドブックの作成・配布	姫路ティラノレース実行委員会	R7	１４１
自由	「また訪れたくなる姫路城」を発信するガイド事業	言葉でつながっていこう会	H30	２８
自由	ママ防災士による乳幼児を子育て中のママのための減災セミナー～あなたの大切なご家族を守るために～	ひめじキッズスマイル	H30	２１
自由	ママ防災士による『ファミリー減災クッキング教室』～地域のみんなで災害対策について考えよう～	ひめじキッズスマイル	R1	３９
自由	みんなで作ろう！！「歌のサプリメント」コロナ編	ほのぼのさん	R3	７４
自由	めざそう健康寿命「認知症予防で元気な高齢者」	認知症予防教室　一輪会	H30	２３
自由	もっと知りたい　いろんな仕事	ライフスパイス	R2	６０
自由	「ものづくり参加型企画」 メイキング　ドリーム　オブ　ハーモニー みんなのステージをみんなで作ろう！	ほのぼのさん	R4	９６
自由	わがまち太市の未来予想図Ⅱ ～空から見ようわたしたちのまち	（特非）姫路コンベンションサポート	H30	２２
自由	「和太鼓体験企画」第１回　集まれ！音ともだち 「ありがとう！歌のこころ、和のこころ」	ほのぼのさん	R5	１００
自由	ワンあぼしプロジェクト	（特非）あぼしまちコミュニケーション	R2	５０
自由	ONE DANCE in 姫音祭	キミレバ・ワン	R7	１３１